Niche
ニッチな描き方シリーズ

おっぱいの描き方

How to draw the Oppai



一迅社



おっぱいの描き方
How to draw the Oppai

一迅社

はじめに

おっぱいの世界へようこそ！　おっぱいというのは不思議なもので、本来は子どもに乳を与えるためのものですが、その形は美しく、サイズも様々。その美に関しては絵画の世界でも昔から描かれ続けていることが証明しています。本誌ではその構造、形状、描き方の解説をすることで読者のみなさんにより魅力的なおっぱいを描くためのポイントを解説します。特に男性読者のフックになるおっぱい作画を極めていきましょう。

CONTENTS





Part_1

P.4 **おっぱいの成り立ち**

P.6 男女の身体の違い

P.8 おっぱいのつき方

Part_2

P.20 **おっぱいを描く**

P.22 小さくプリッとしたおっぱいを描く

P.24 大きくやわらかなおっぱいを描く

P.26 乳輪の作画の違い

P.27 乳輪の大きさ

P.28 乳首の形

P.30 つややかな乳首を描く

P.31 乳首と乳輪の色の違い

P.32 おっぱいの形いろいろ

Part_3

P.34 **おっぱいと服**

P.36 ブラとおっぱい

P.39 その他の下着のバリエーション

P.40 水着とおっぱいの大きさ

P.42 薄手の服を着ている場合

P.44 厚手の服を着ている場合

P.46 硬い生地の服を着た場合

P.47 水に濡れた服

P.48 ブラなしの着衣

P.49 ブラ透け、乳首透け

Part_4

P.50 **おっぱいの動き方とポージング**

P.52 おっぱいを揉む

P.56 水中でのおっぱい

P.58 おっぱいの動き

P.62 腕とおっぱいの動き

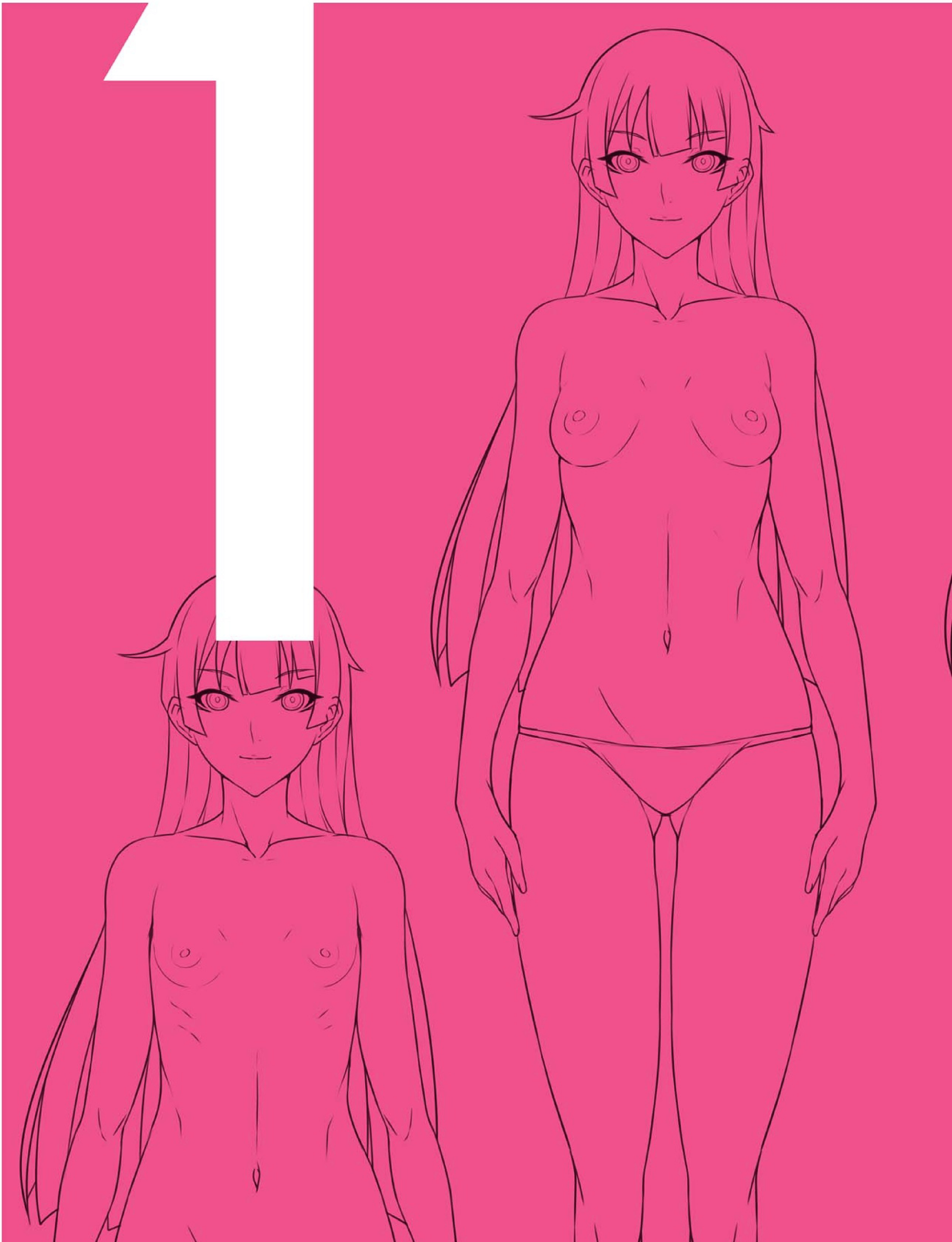
P.68 おっぱいとポーズ

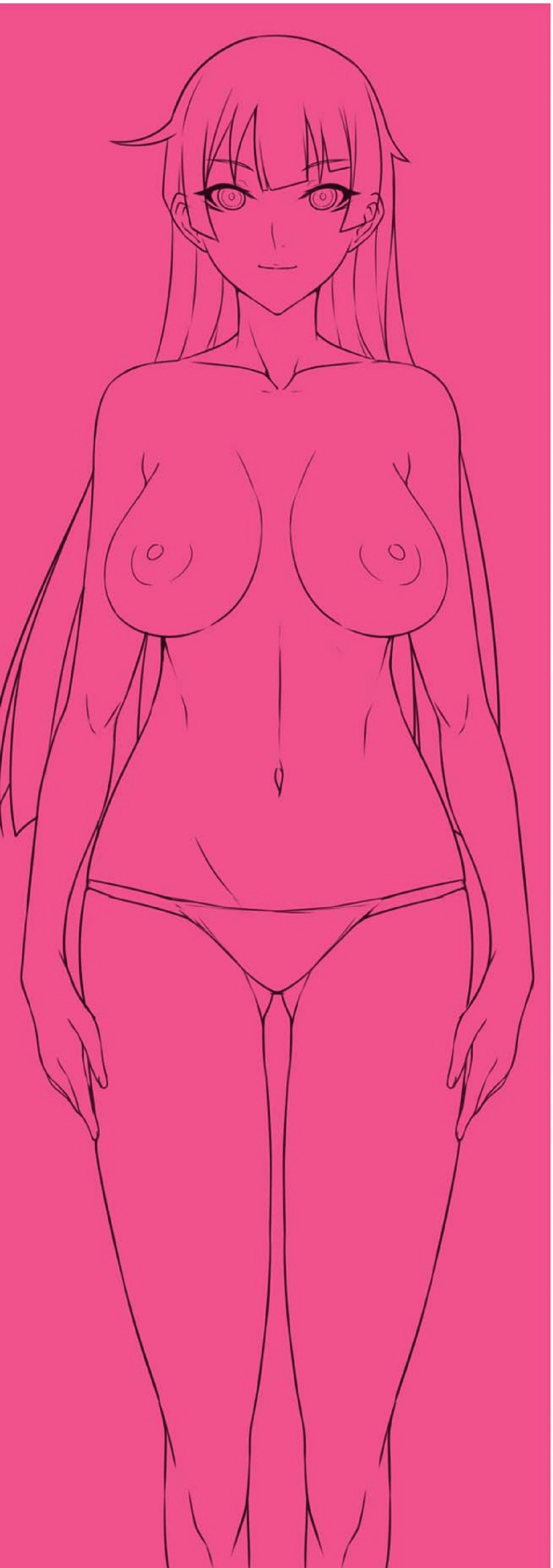
Part_5

P.72 **表紙イラストメイキング**

P.78 最後のまとめ




1

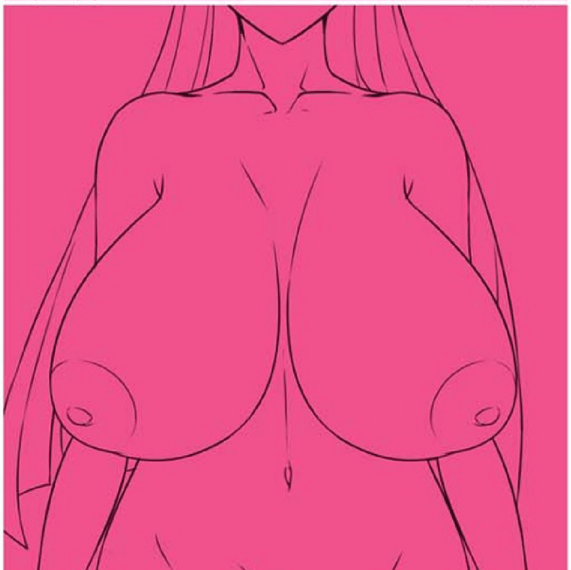


Part_1

おっぱいの成り立ち

では、おっぱいの描き方研究を始めましょう。最初は「おっぱいとは何か？」ということから。機能的、哲学的話ではなく、解剖学的にどこにどういうふうについている器官かを知ることでどう描くかがわかってくるはずです。



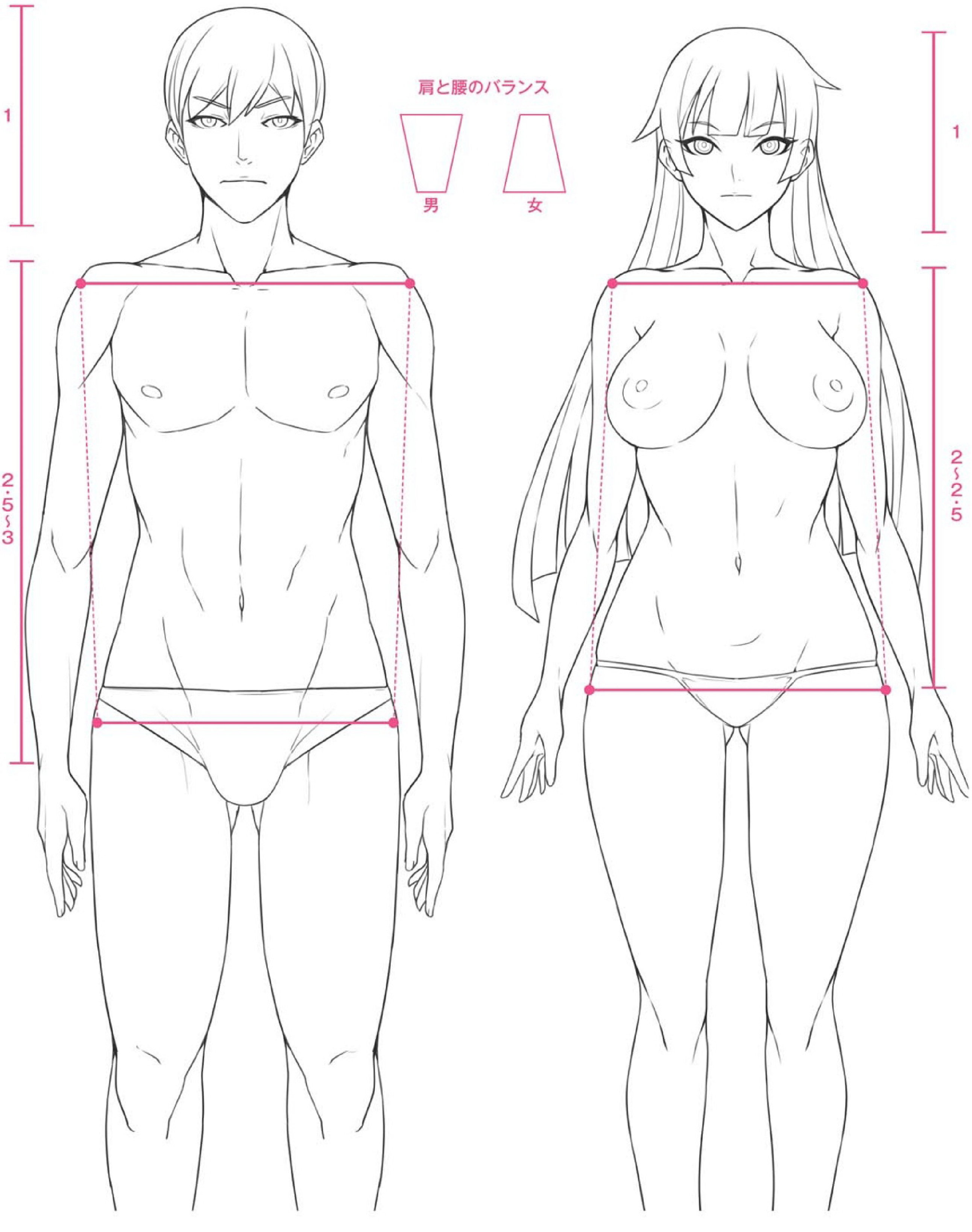


男女の身体の違い

まず男女の身体の構造の違いから見ていきましょう。
身体の差異を意識することで作画がしやすくなります。

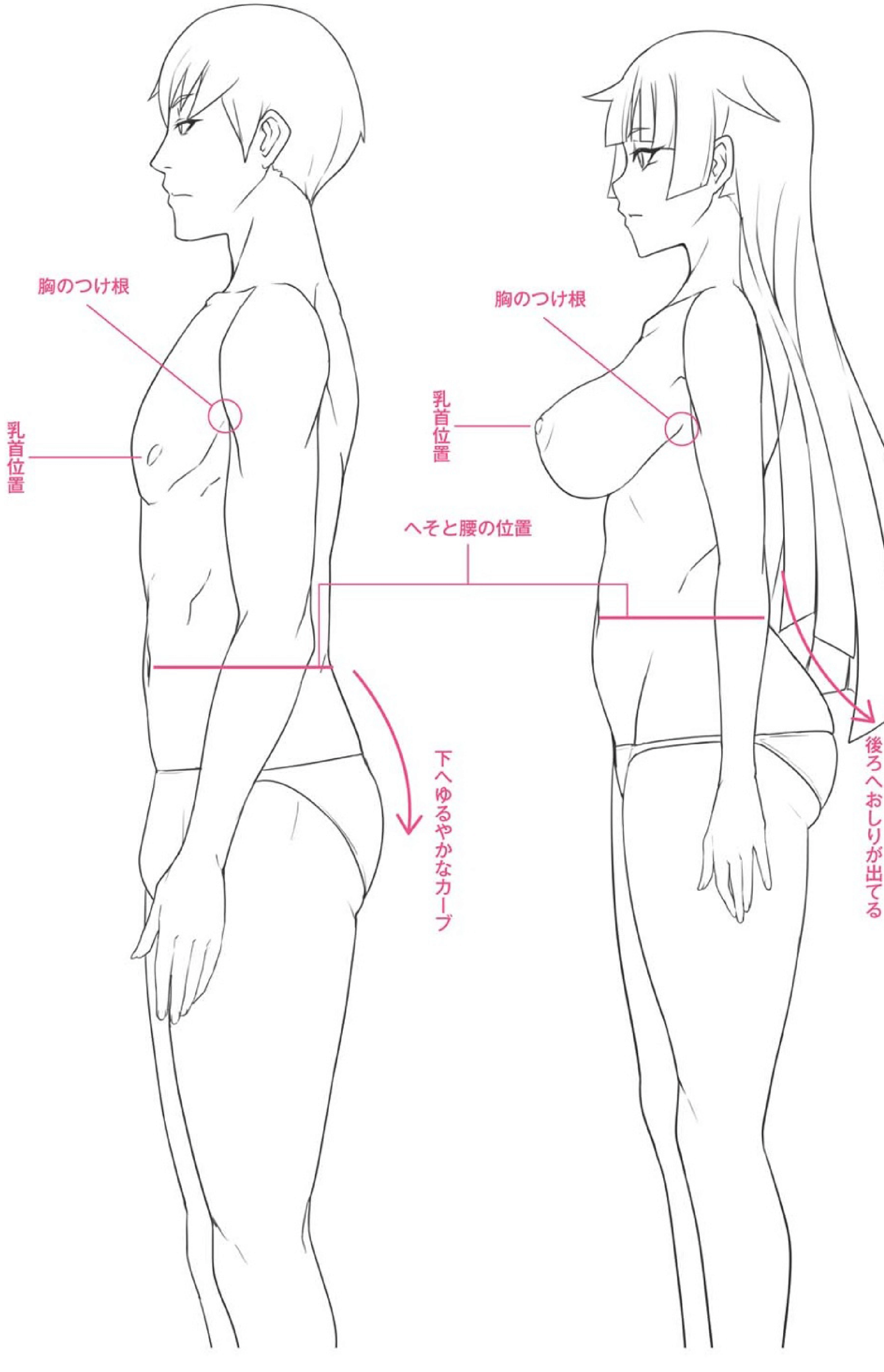
男性の肩は角張った感じで、腰のほうへ行くと細くなります。

女性は逆に肩よりも腰のほうが広くなる傾向が多いです。



男性の身体は脂肪がつきにくいため(残念ながらおなか以外です)、おしりは薄くなります。

逆に女性は皮下脂肪が多いため、おしりの部分は大きめに描くほうがより女性らしくなります。



おっぱいのつき方

では、身体の構造と特徴を踏まえた上でおっぱいを作画していきましょう。
ボディラインを意識して身体につけていくイメージです。

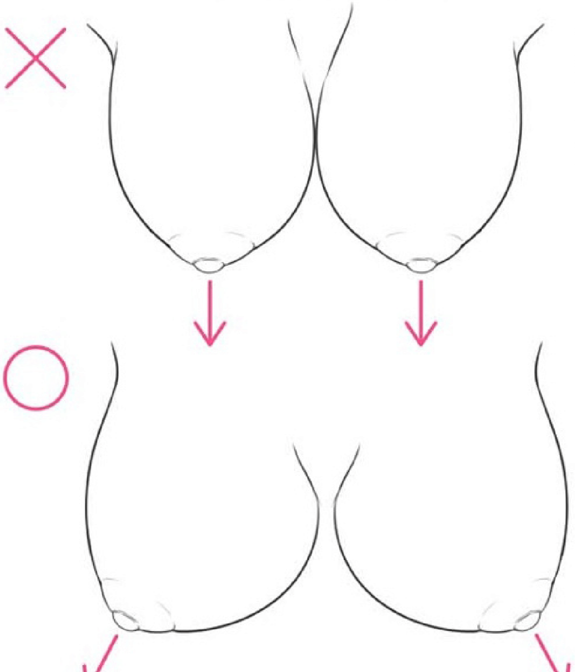
［基本ボディ］





年齢や個人差もありますが、胸は基本左右に離れています。ωのように起点をくっつけないようにしましょう。

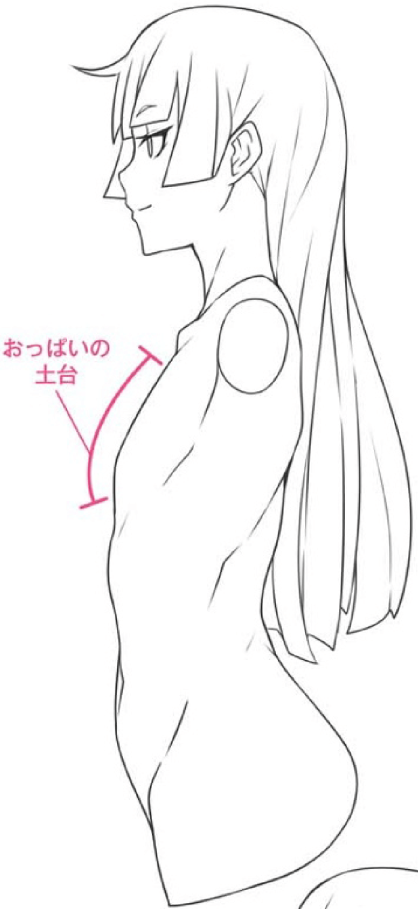
［上から見たおっぱい］

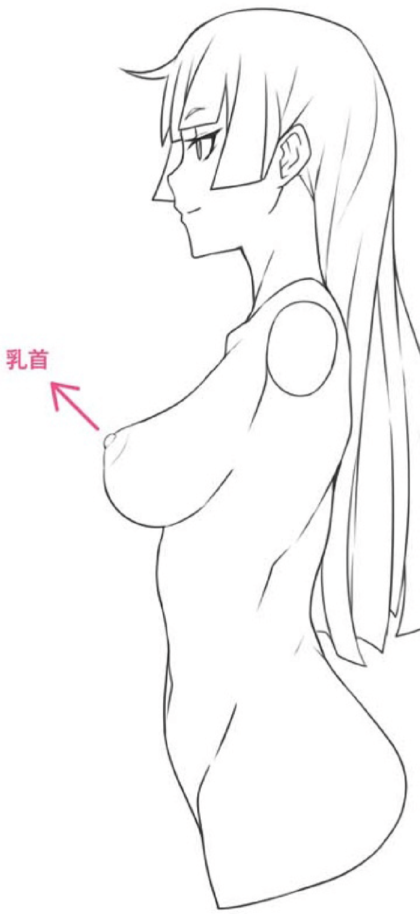


ついている方向も多少広がっています。完全に前向きにならないように注意。



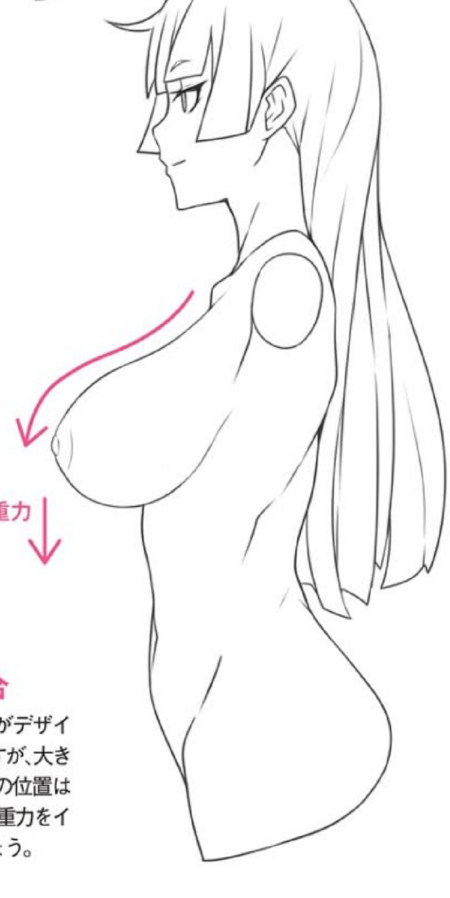
［基本ボディ横］





普乳の場合

乳首はサイズと形、作風によって位置も変わります。普乳の場合、やや上向きになります。



巨乳の場合

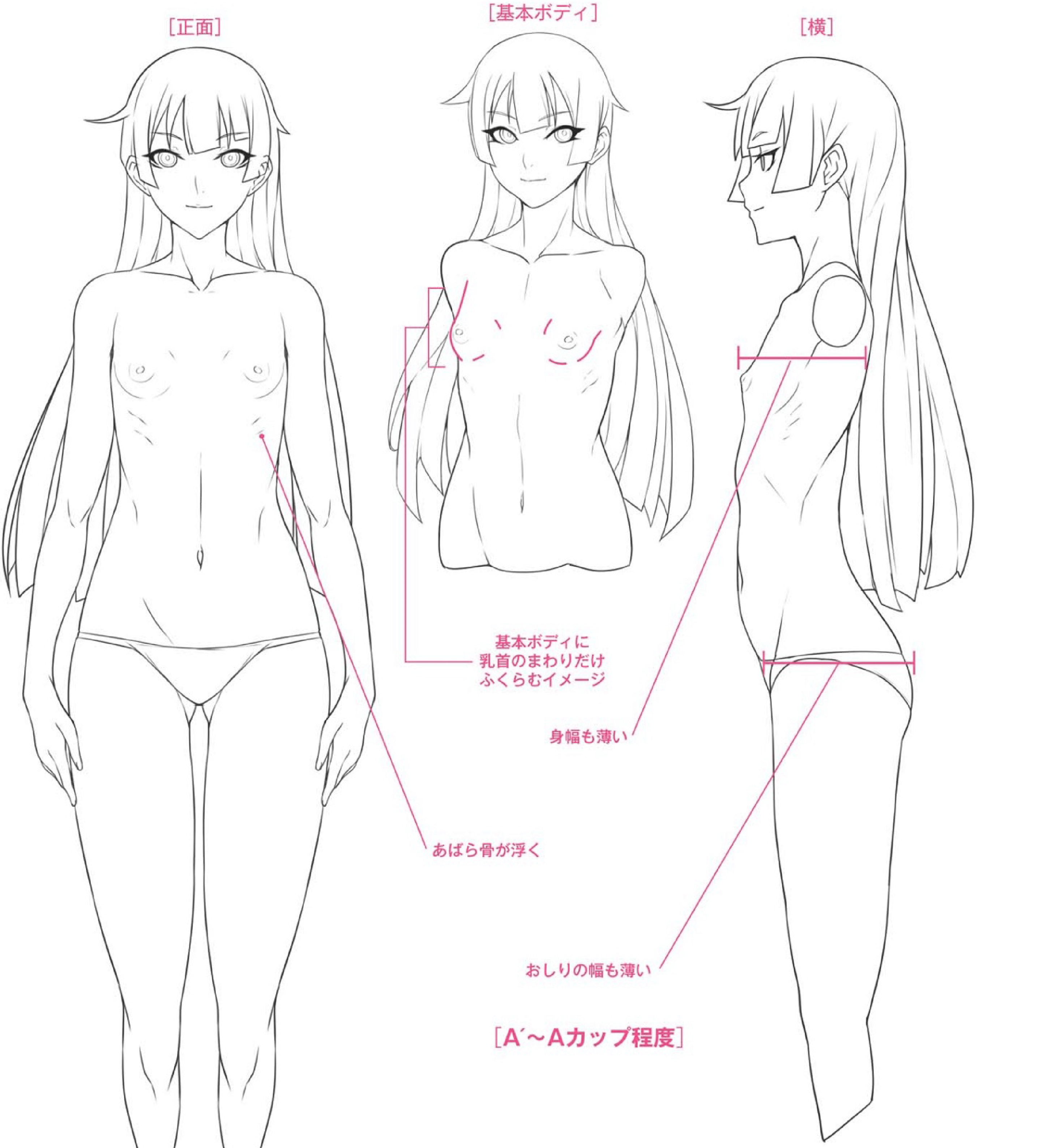
上向きのほうがデザイン的に映えますが、大きくなると乳首の位置は下になります。重力をイメージしましょう。



おっぱいはボール状ではなく、常に重力を受けている水入り風船と同じです。そのため下の方にボリュームがあると物理法則を無視したおっぱいになってしまいます。

大きさ別おっぱいのつき方・微乳

おっぱいが小さいということは脂肪が少ないということで当然体も薄くなります。
脂肪が少ない分、筋肉や骨格の存在感が必要です。



［下からのあおり］

胸が薄いので、ほぼ起伏がない作画になります。中心部は構造的に少し盛り上がります。



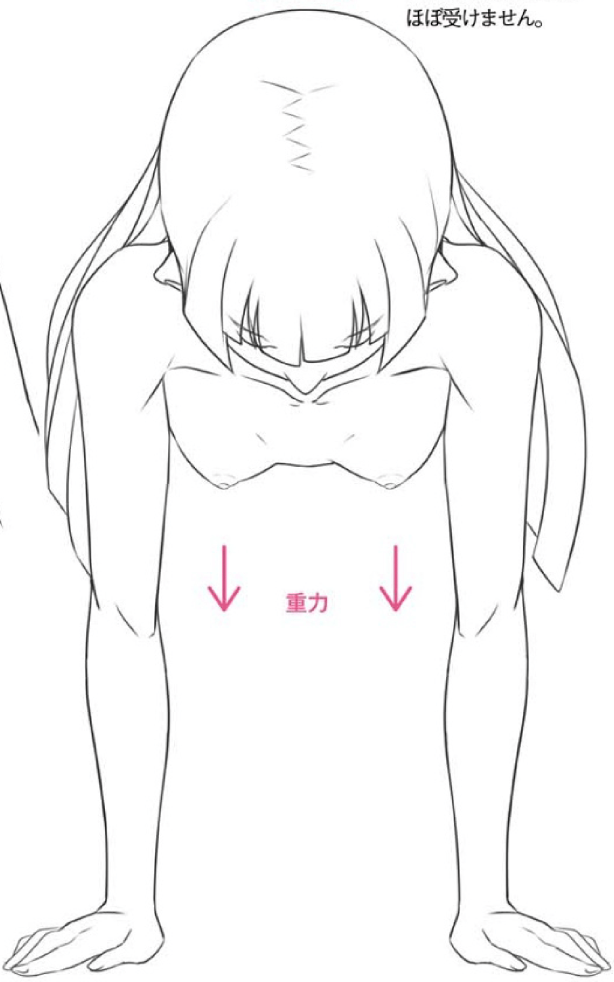
［真上から］

上から見た際も、少しだけ膨らみがあるような感じで処理しましょう。



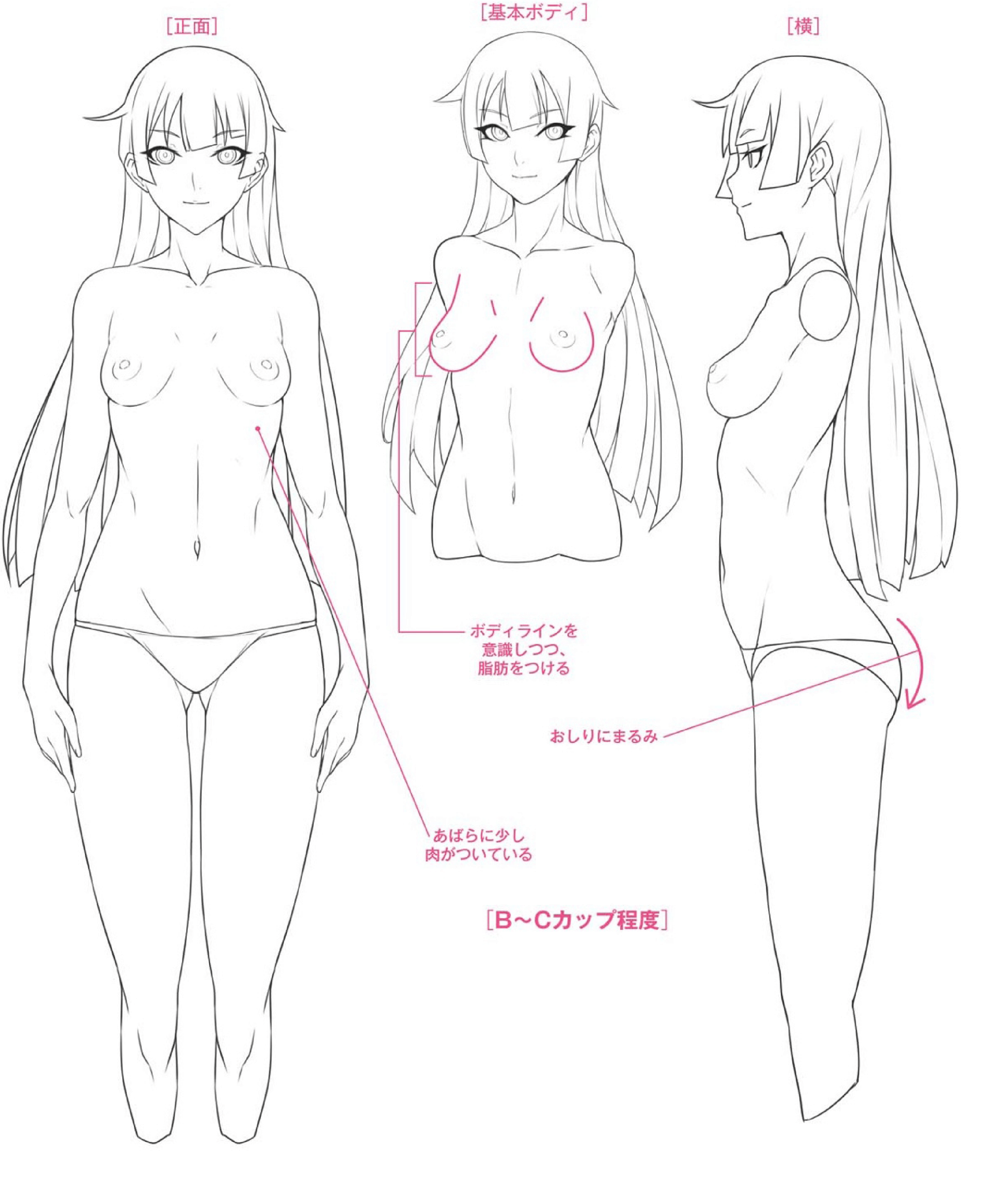
［下向き］

下を向いたときなども、脂肪がほとんどないため、重力の影響をほぼ受けません。



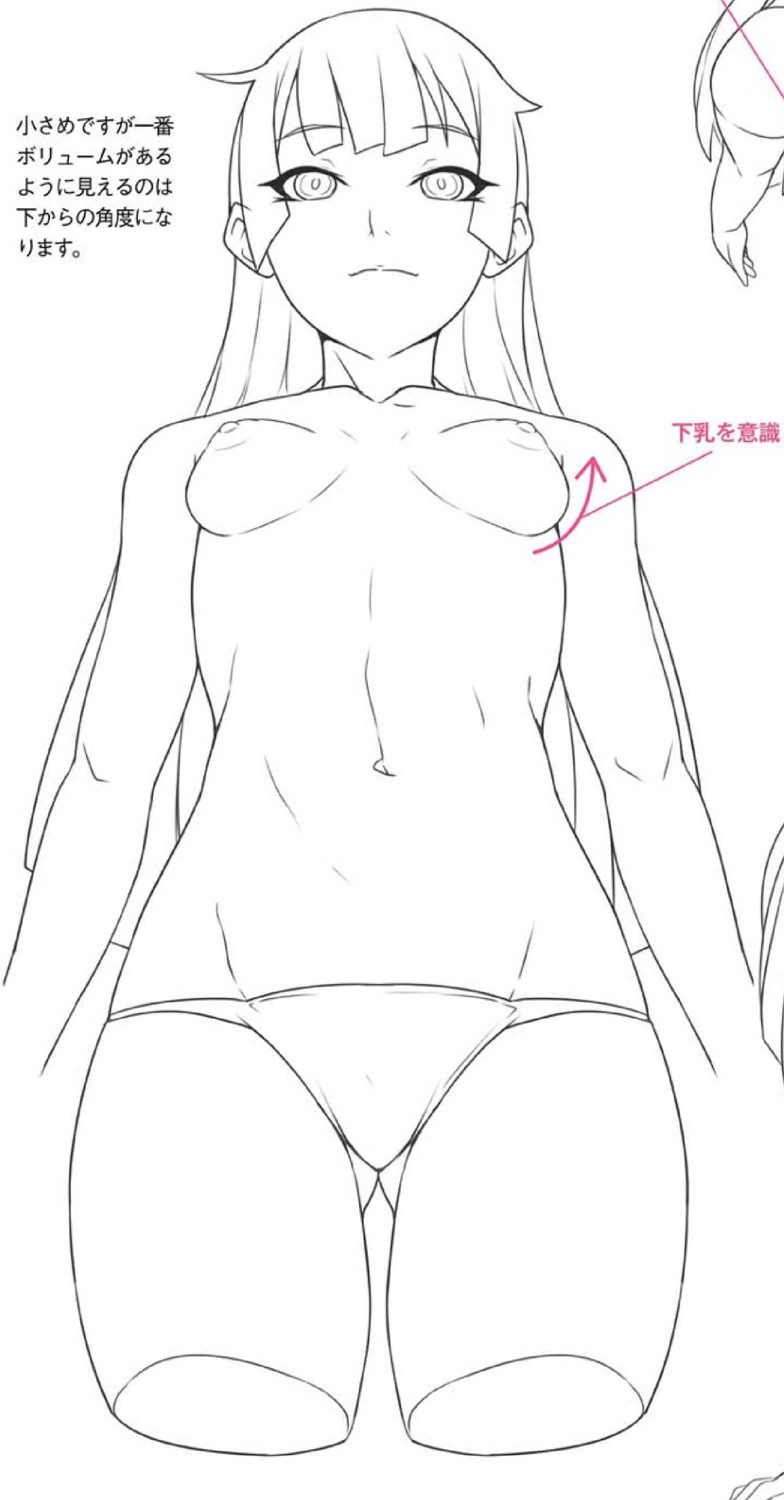
大きさ別おっぱいのつき方・小乳

小乳は平均的なボディで肉付きも普通。好みの形で作画しましょう。
横からの角度のときはおっぱいの脂肪の存在感を常に意識するように。

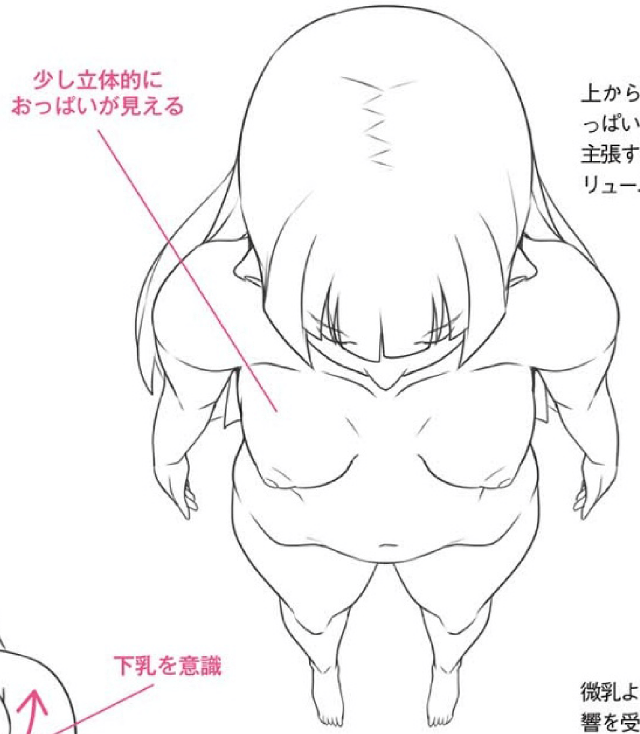


［下からのあおり］

小さめですが一番ボリュームがあるように見えるのは下からの角度になります。



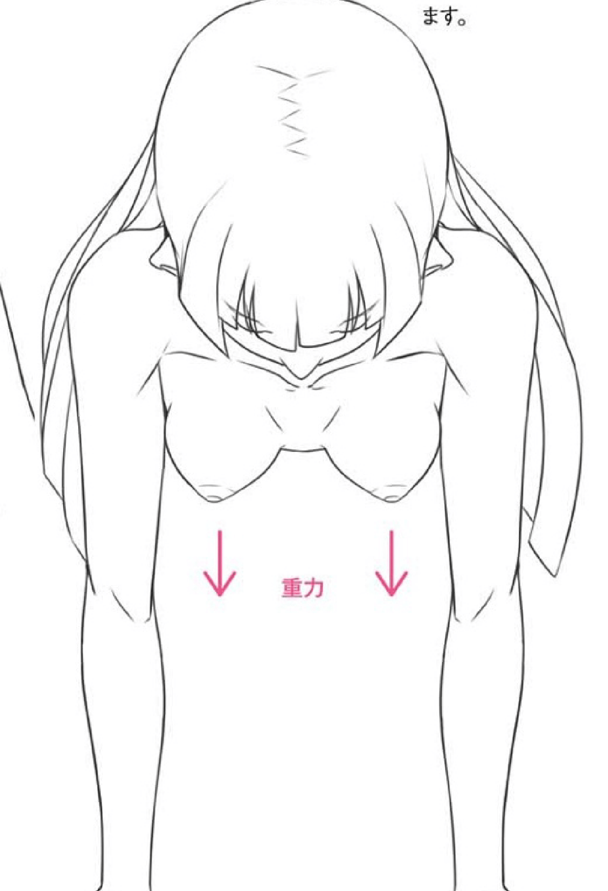
［真上から］



上から見ても、おっぱいがちゃんと主張する程度のボリュームを。

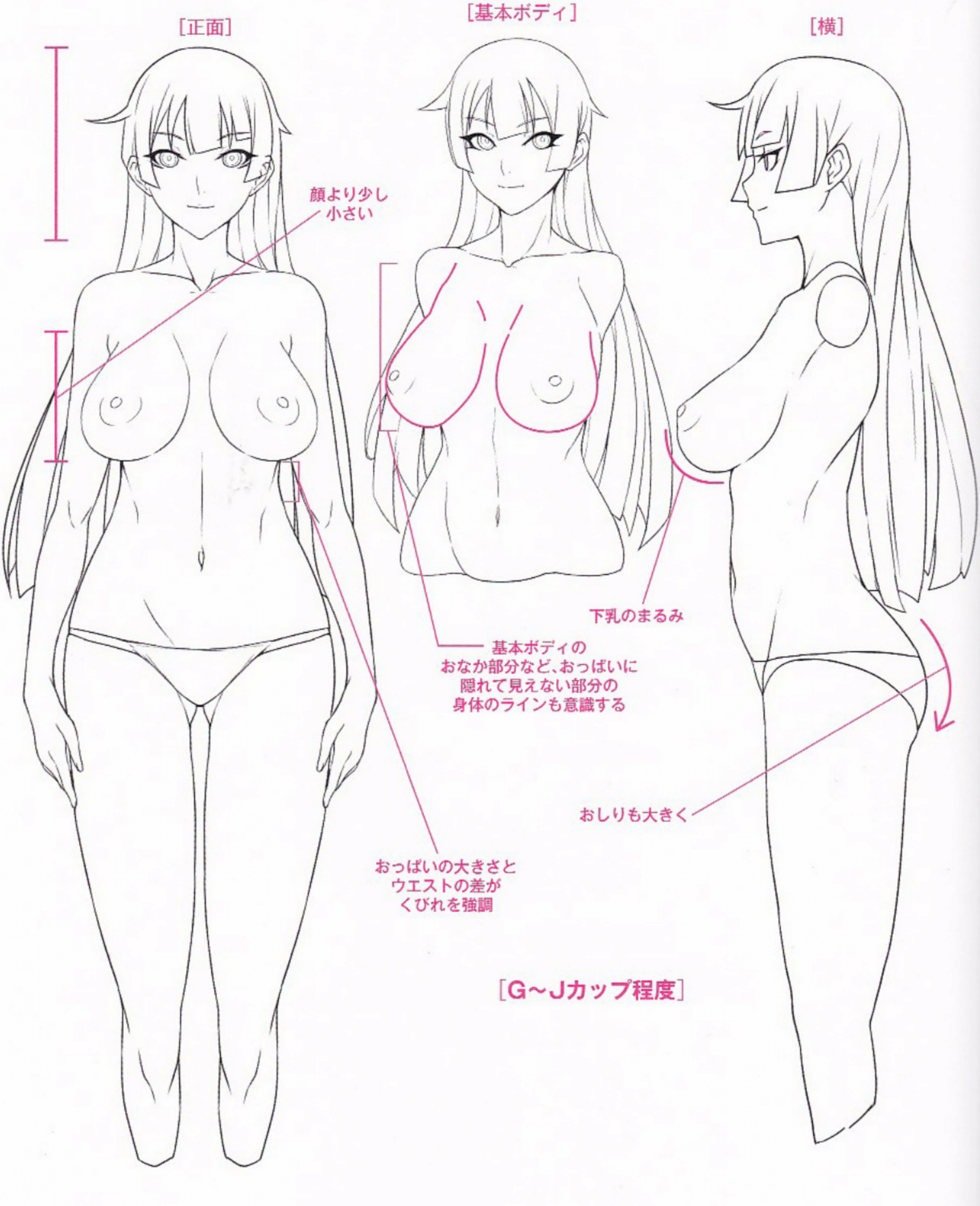
微乳より重力の影響を受けているので、下向きにすると形もやや変化します。

［下向き］



大きさ別おっぱいのつき方・巨乳

形が大きく崩れない程度の大きめなおっぱいです。形の描き方には個人差がありますが、正面だけではなく下乳のほうのボリュームも意識しましょう。



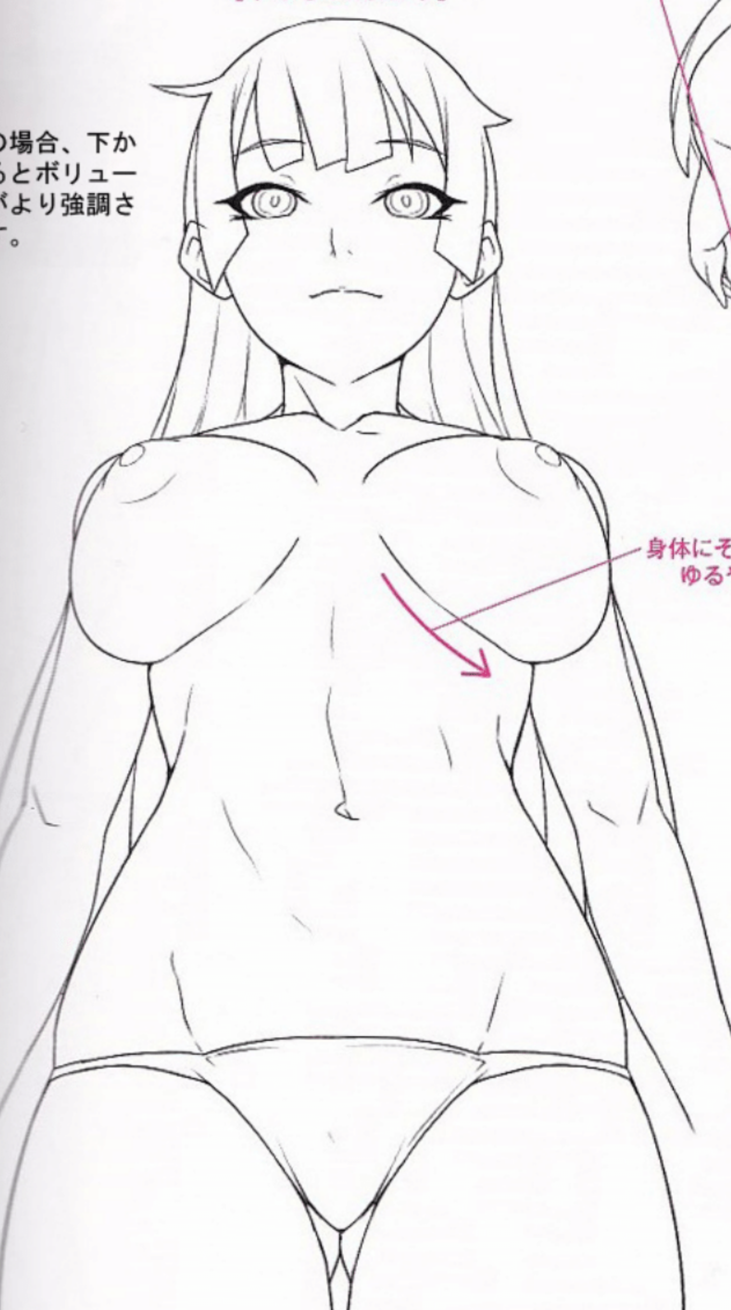
[真上から]



乳首の位置と向きで張り感を表現しましょう。

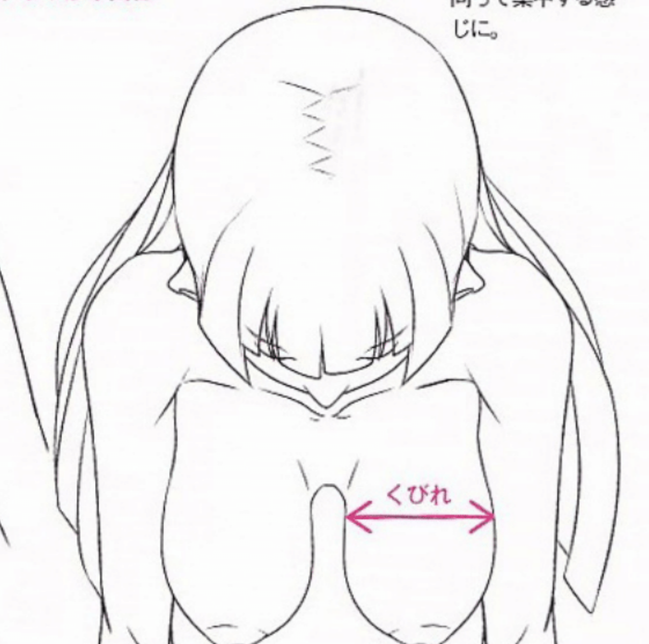
[下からのあおり]

巨乳の場合、下から見るとボリューム感がより強調されます。



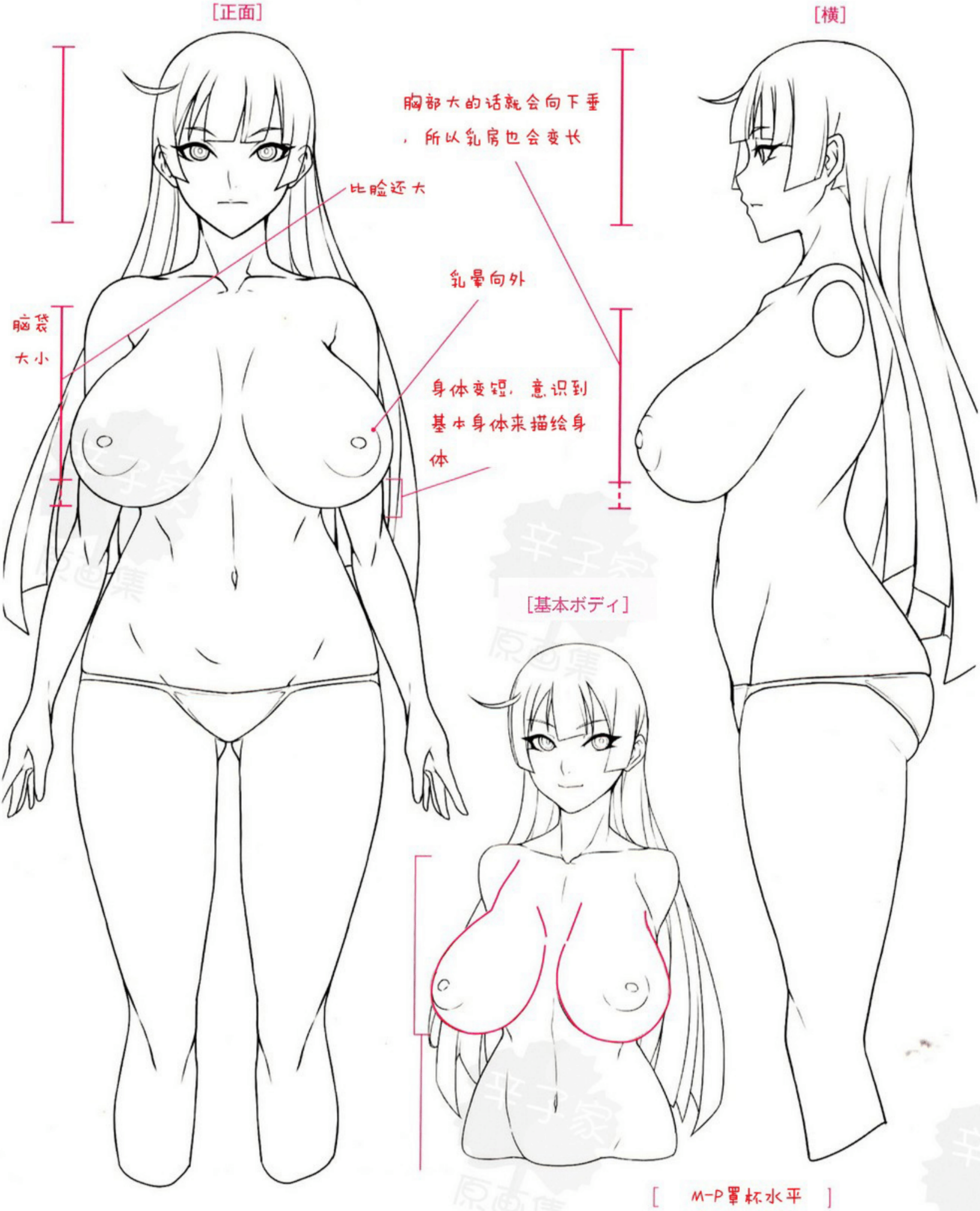
[下向き]

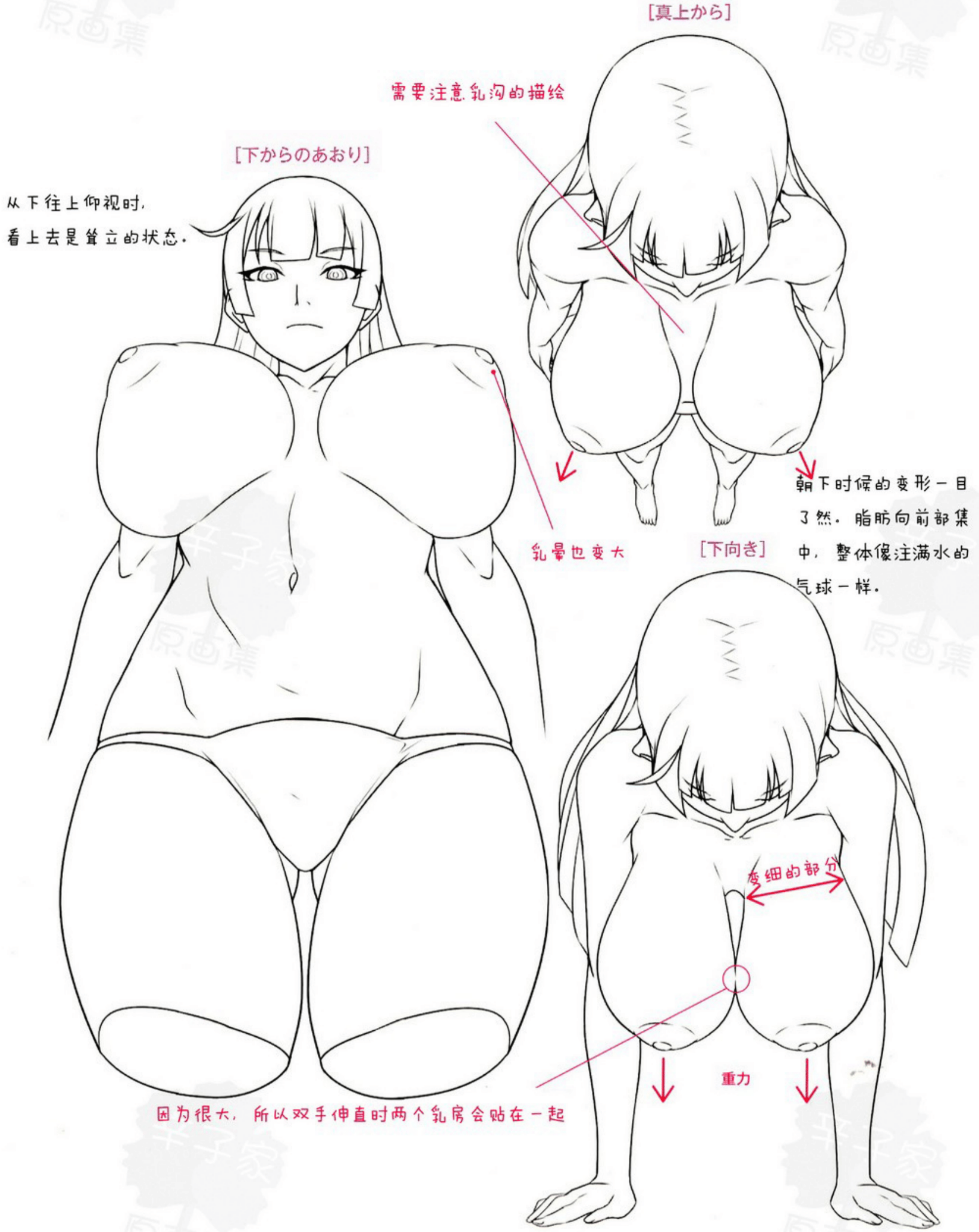
下向きのときは胸全体が変形します。脂肪の重量が下に向って集中する感じに。



大きさ別おっぱいのつき方・爆乳

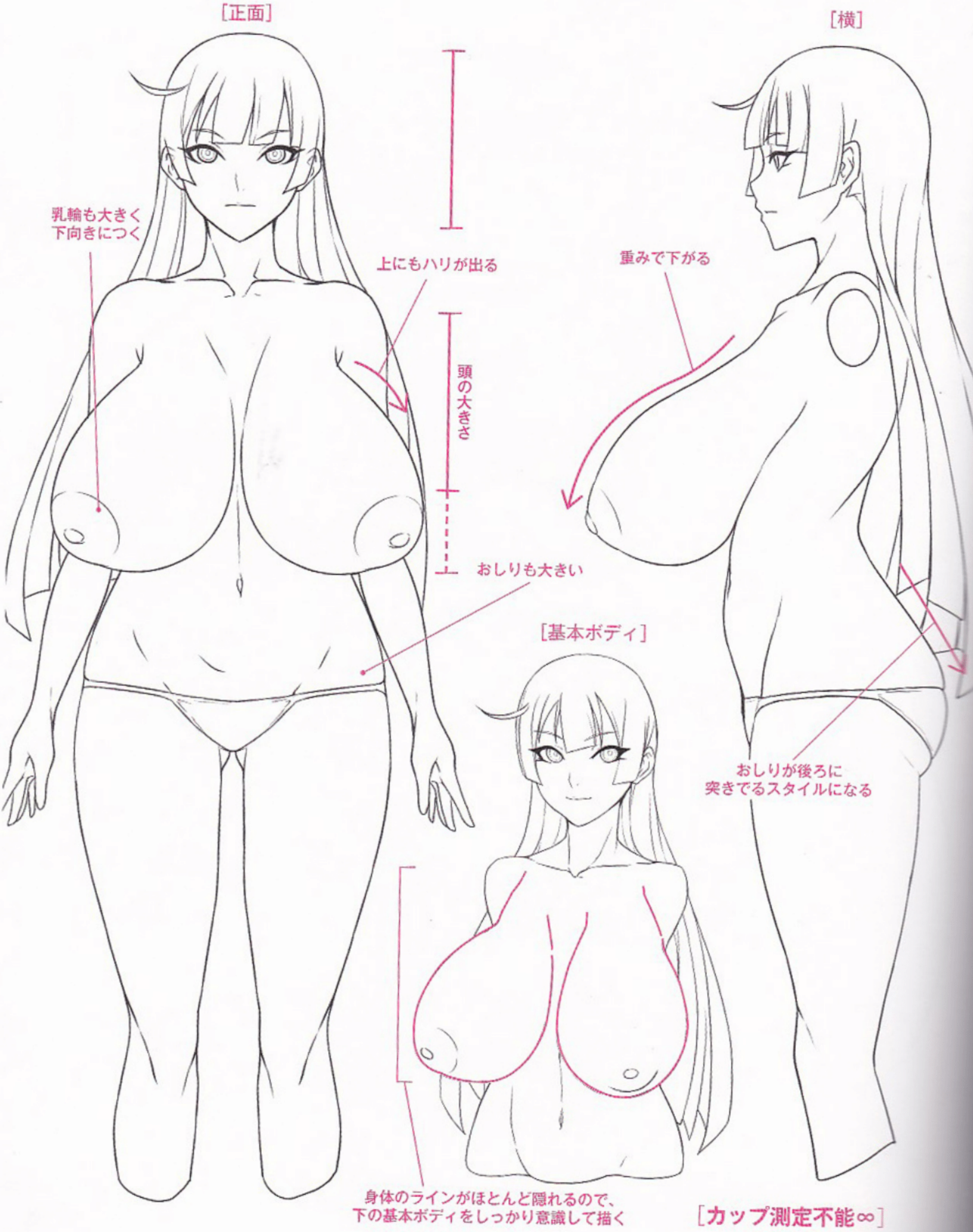
比巨乳更大的爆乳根据不同的画风也会有形状的不同。
从侧面看的话，画出来的是从身侧胸部被拉伸的感觉。

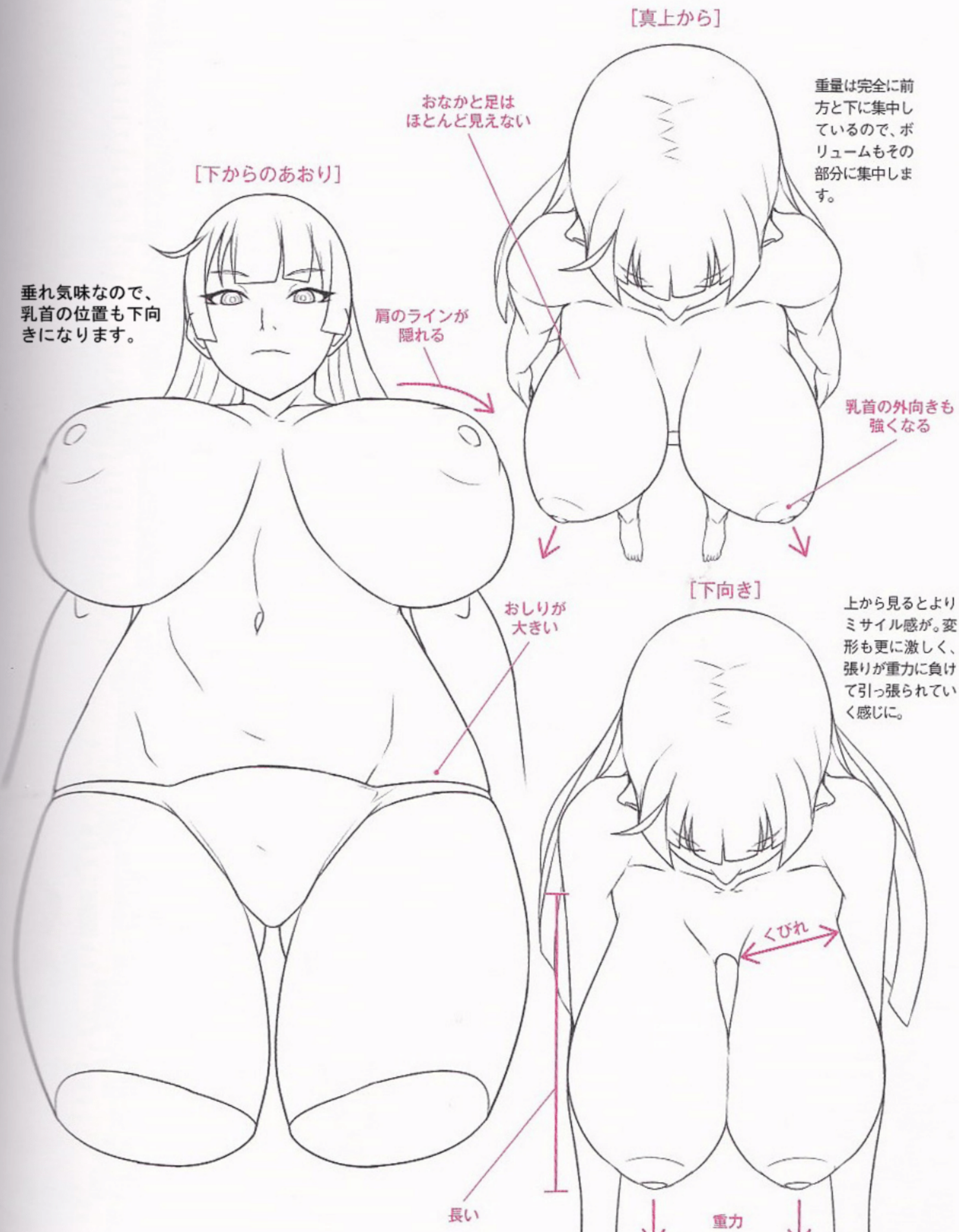



[真上から]
需要注意乳沟的描绘
[下からのあおり]
从下往上仰视时，
看上去是耸立的状态。
乳晕也变大
朝下时候的变形一目
了然。脂肪向前部集
中，整体像注满水的
气球一样。
[下向き]
变细的部分
重力
因为很大，所以双手伸直时两个乳房会贴在一起

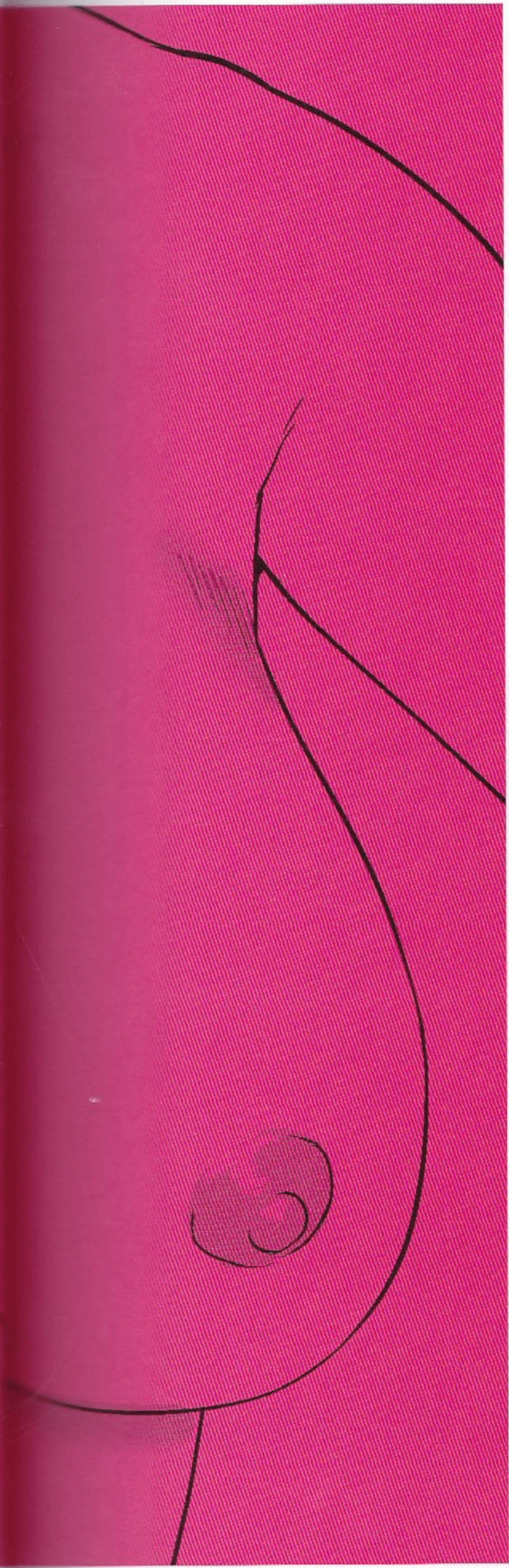
大きさ別おっぱいのつき方・超乳

頭よりサイズが大きい超乳。ほぼ二次元でしか見かけませんが、熱狂的なファンを持ちます。
横の形も下向きのミサイルのような感じで作画しましょう。




[真上から]
おなかと足は
ほとんど見えない
重量は完全に前方と下に集中しているので、ボリュームもその部分に集中します。
乳首の外向きも
強くなる
[下からのあおり]
垂れ気味なので、乳首の位置も下向きになります。
肩のラインが
隠れる
おしりが
大きい
[下向き]
上から見るとよりミサイル感が。変形も更に激しく、張りが重力に負けて引っ張られていく感じに。
くびれ
長い
重力

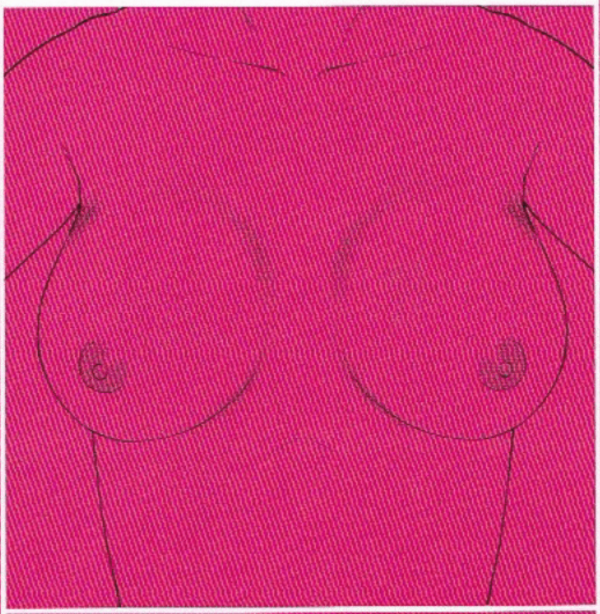

2

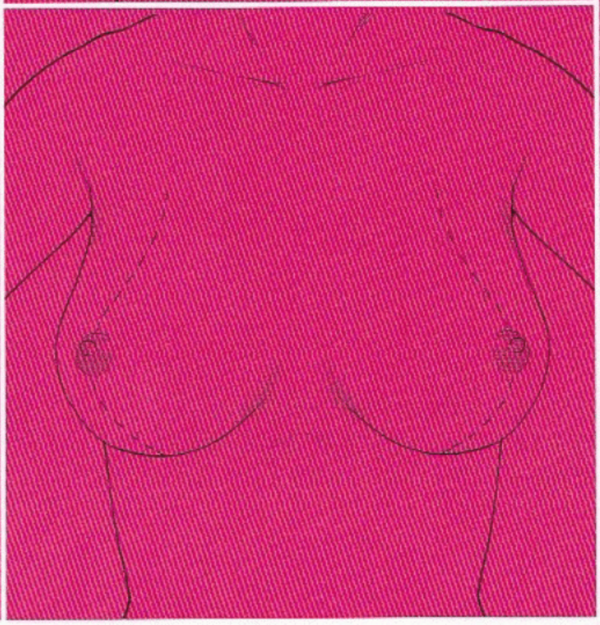


Part_2

おっぱいを描く

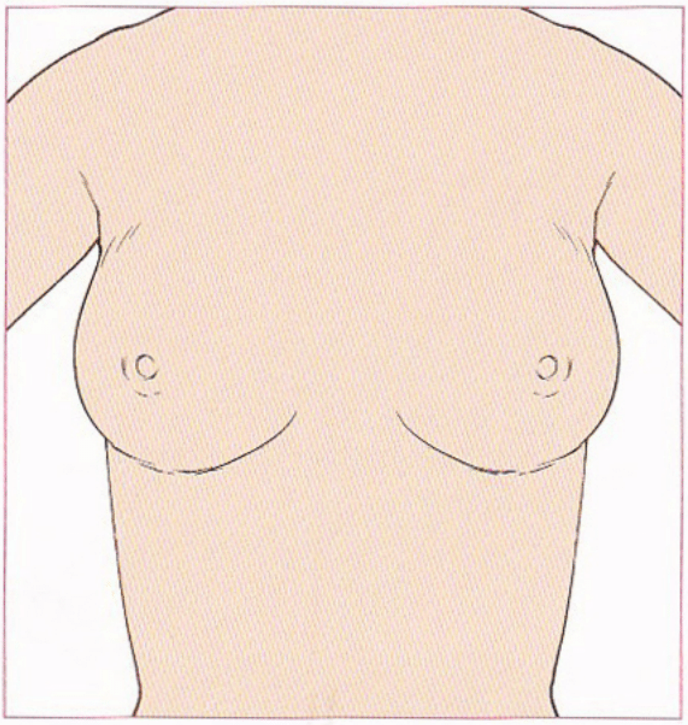
前章は身体についているおっぱいに関しての話でしたが、この章ではおっぱい単体部分にスポットを当て、作画テクニックを解説していきます。サイズではなく、質感の描き分けを意識して描きましょう。



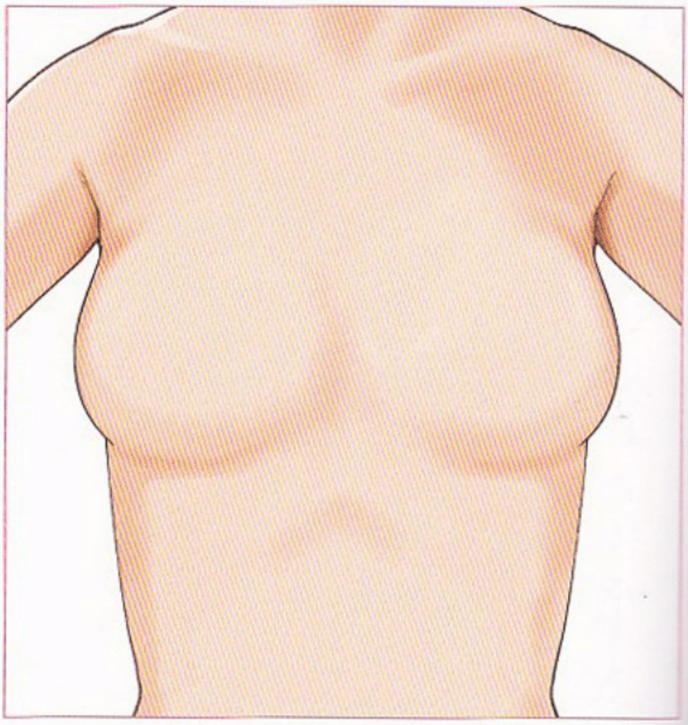


小さくプリッとしたおっぱいを描く

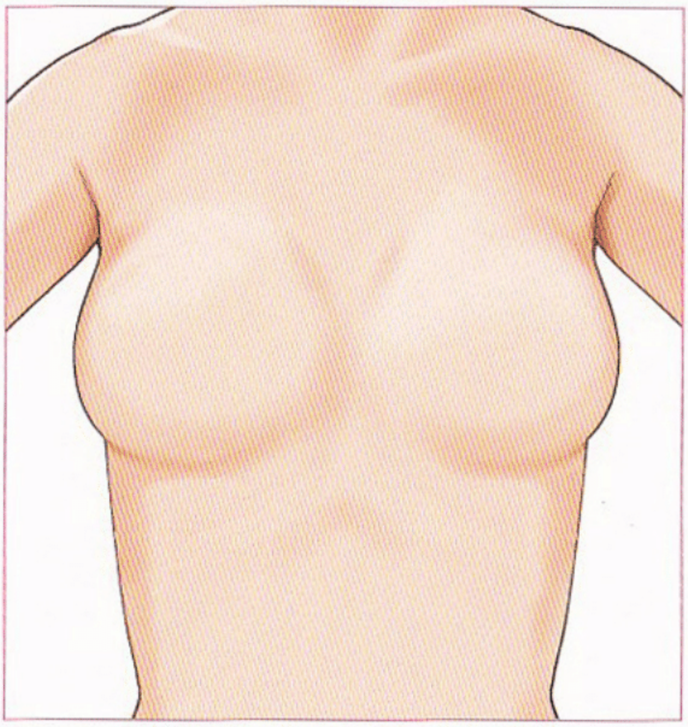
小さめおっぱいのデジタルでの作画方法です。
おっぱいの張りを意識して作画するようにしましょう。



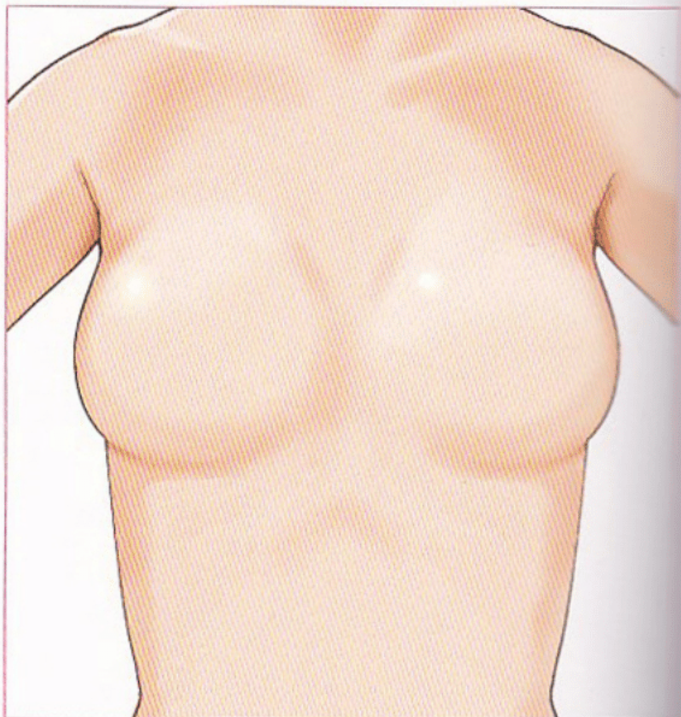
1 まずは線画段階です。つけ根や乳首の場所は、あらかじめあたりをつけておきましょう。この線はあとで消す線になります。



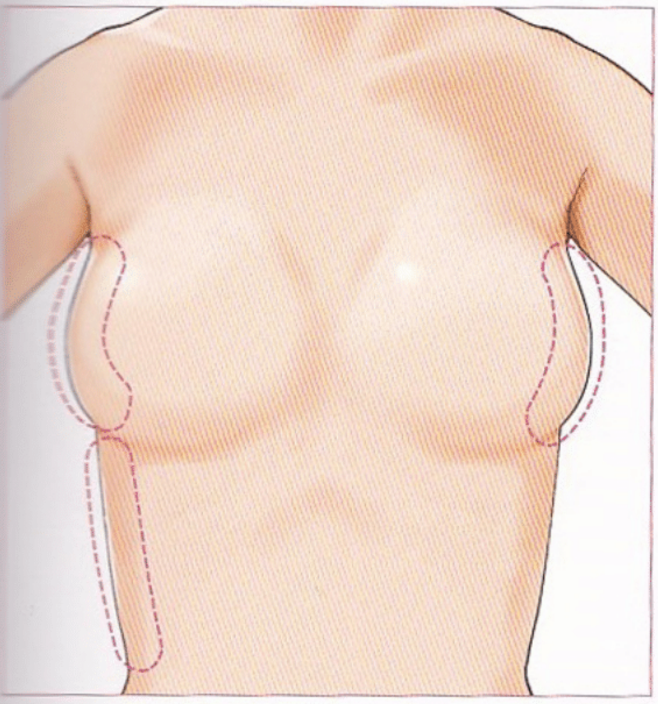
2 次に肌全体におおまかな陰影をつけていきます。このとき、あたりにそって、おっぱいの下側にもサイズに合わせた影をつけていきます。

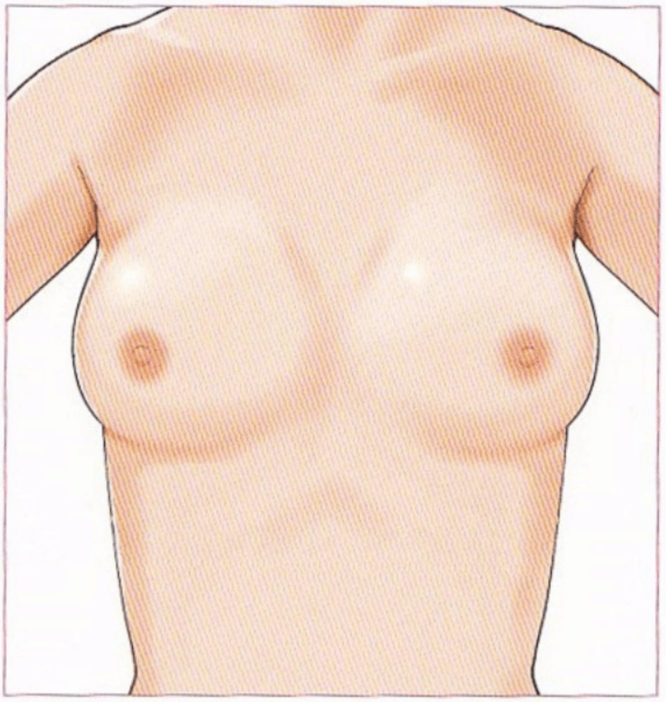


3 さらに陰影をつけます。やや極端ですが、下のつけ根部分の影は薄めにすると小ぶりな感じになります。必要なら線画の色を調整しましょう。



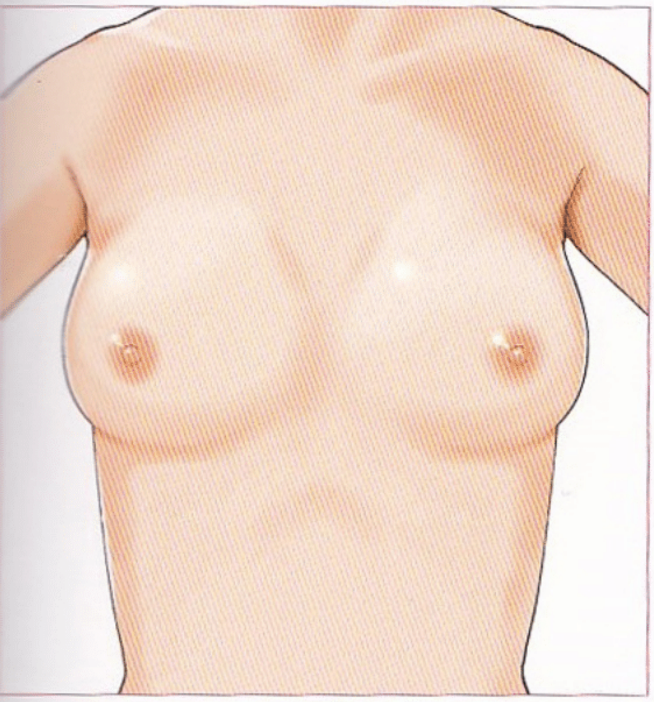
4 ハイライトを乗せていきます。これでプリッとしたハリやツヤ感が出るようになります。このときは加算レイヤーなどを使うと便利です。

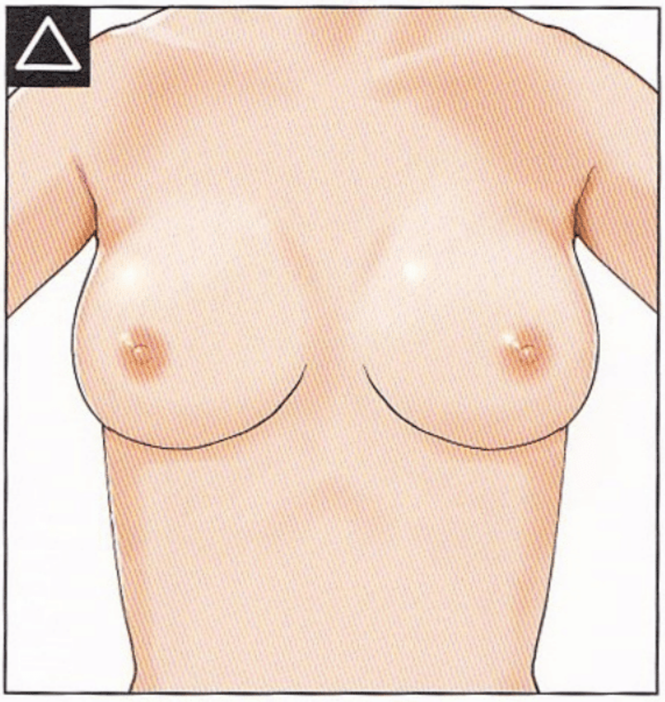




5 今回は線画にそって明るい色を置いていきます。必要なら線画の色も色調に合わせて濃さを調整しましょう。

6 次は乳首を描きます。あたりの位置を目安に作画してから、あたりを消します。乳首はおっぱい全体の立体感に影響を与えるので場所や角度等は前章を参考にしてください。



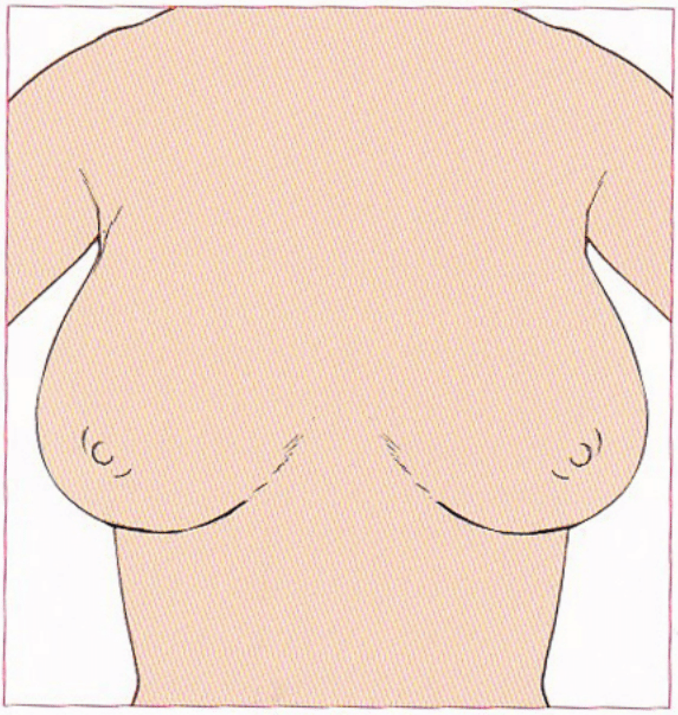


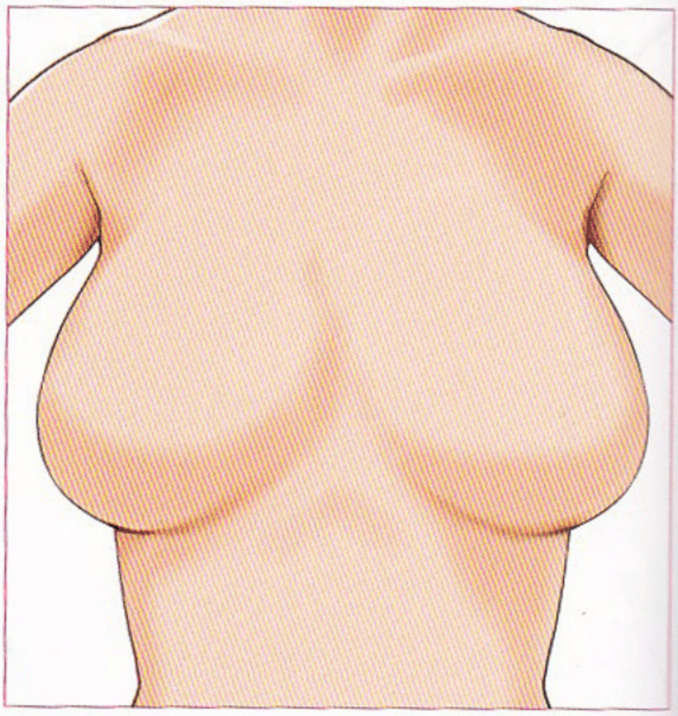
7 最後にハイライトを加えて完成となります。ハイライトをいれすぎるとテカテカになりますので、特殊な場合(日焼けやボディビル)を除いてほどほどにしましょう。

△ 影となる部分を黒い線ではっきり残してしまうと、硬そうなおっぱいになってしまいます。線を残したい場合は色トレスをするなどして、色を和らげるようにしましょう。

大きくやわらかなおっぱいを描く

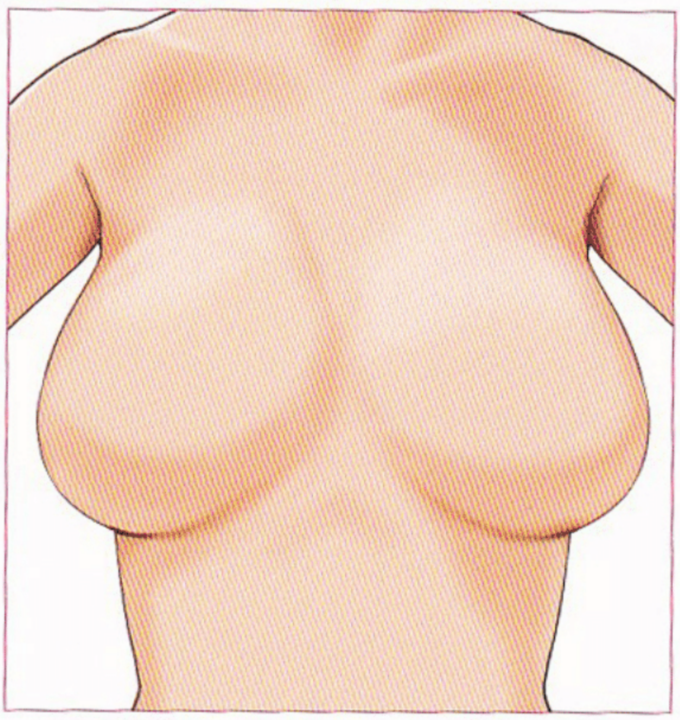
今度は大きいカテゴリーのおっぱい作画です。巨乳タイプのおっぱいは、この作画方法でフォローできるでしょう。

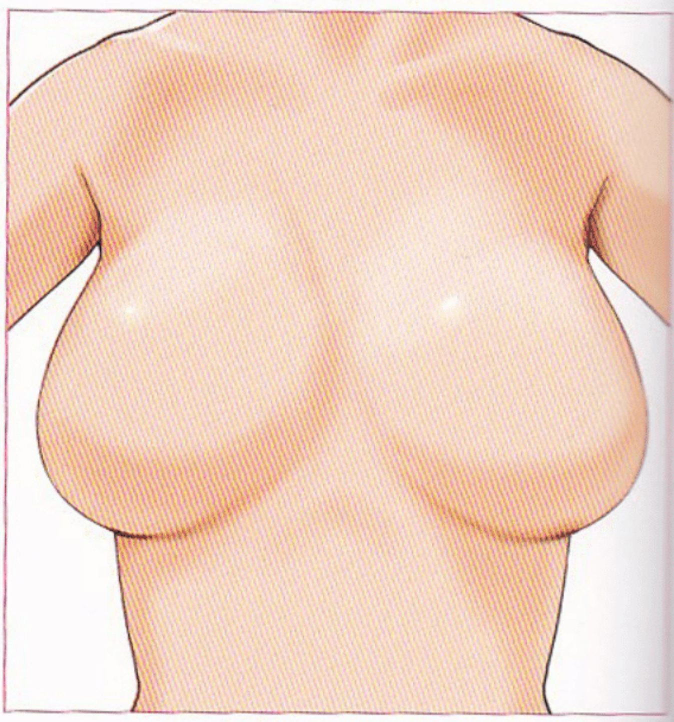




1 線画の段階。先のパターンと同じく、つけ根や乳首の場所は、別レイヤーであらかじめあたりをつけておきましょう。

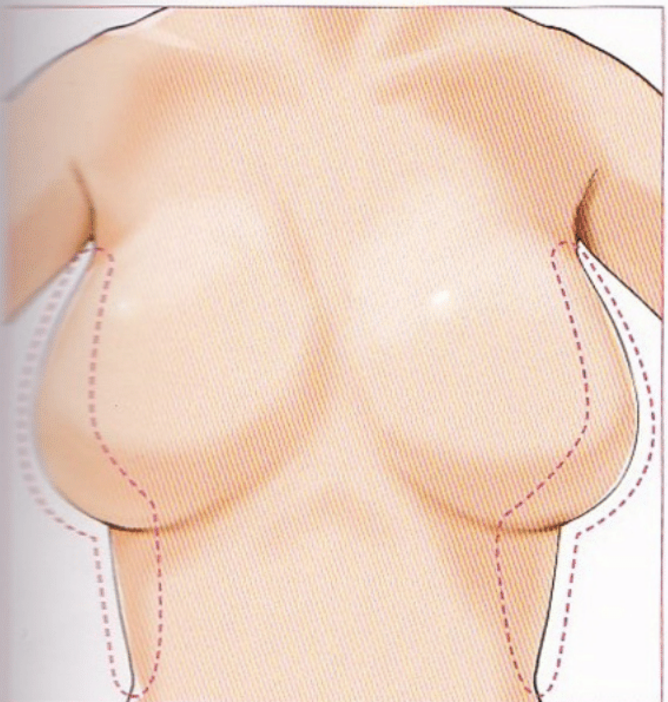
2 陰影をつけます。大きいおっぱいは光源の強さや向きに影響を受けます。下側のつけ根は色濃く。モノクロ画で表現する場合は陰影部分が黒一色になりすぎないように。



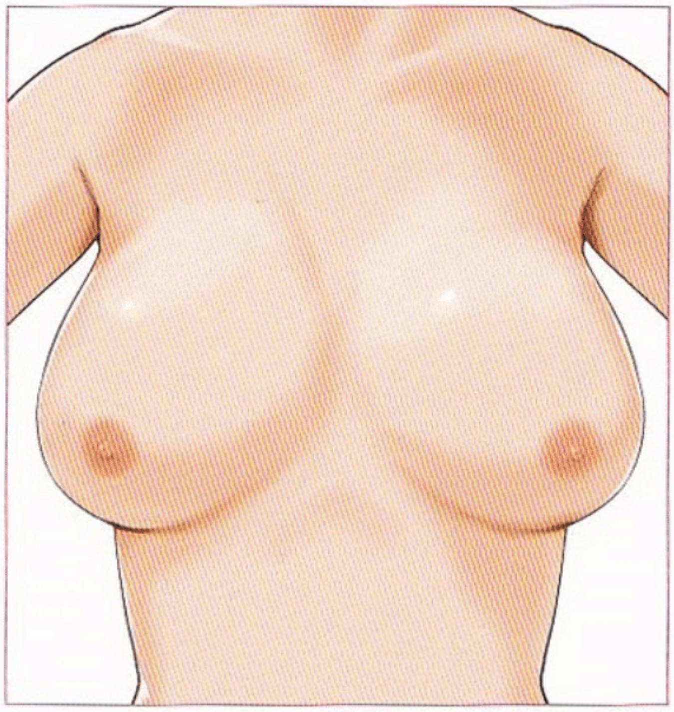


3 さらに陰影をつけます。光源にもよりますが、明るい場所ではおっぱいの上側(つけ根の部分)に反射光を表現することで立体感が出ます。

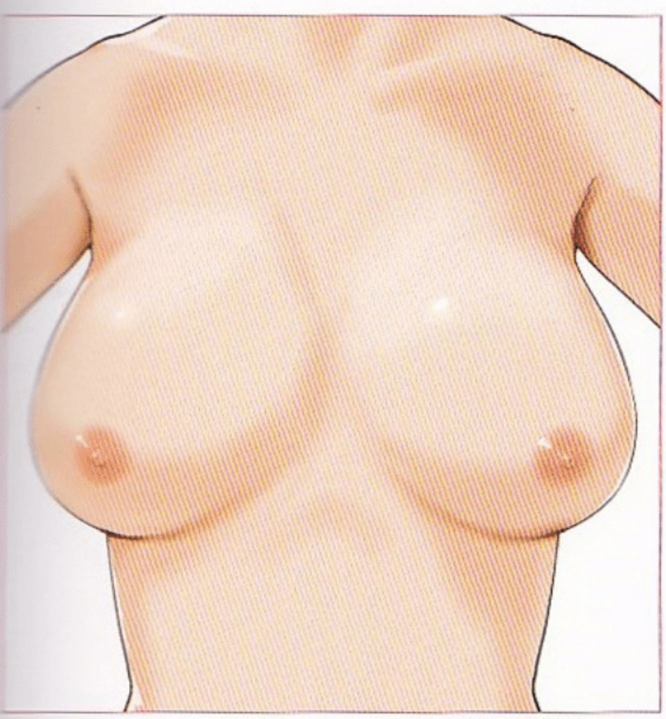
4 ハイライトを乗せていきます。ツヤ感を出しつつ、立体的な巨乳のシルエットが出るようにしましょう。このときは加算レイヤーなどを使うと便利です。



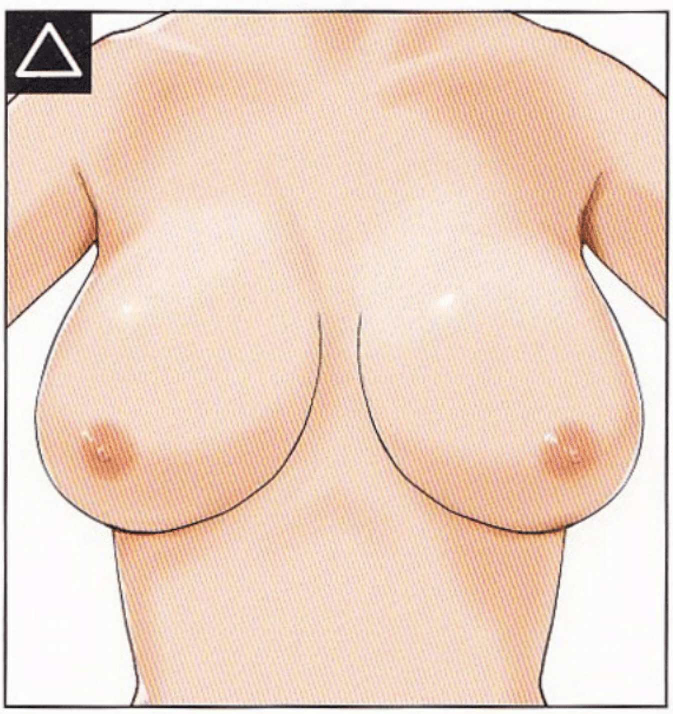
5 こちらも線画にそって明るい色を置いていきます。必要なら線画の色の濃さを調整するようにしましょう。



6 乳首を描きます。形に合わせて場所と角度を慎重に決定しましょう。垂れている感じを出す場合は下向きにするといいでしょう。



7 最後にハイライトを加えて完成です。ハイライトはやや多めの方が巨乳感が出やすくなります。

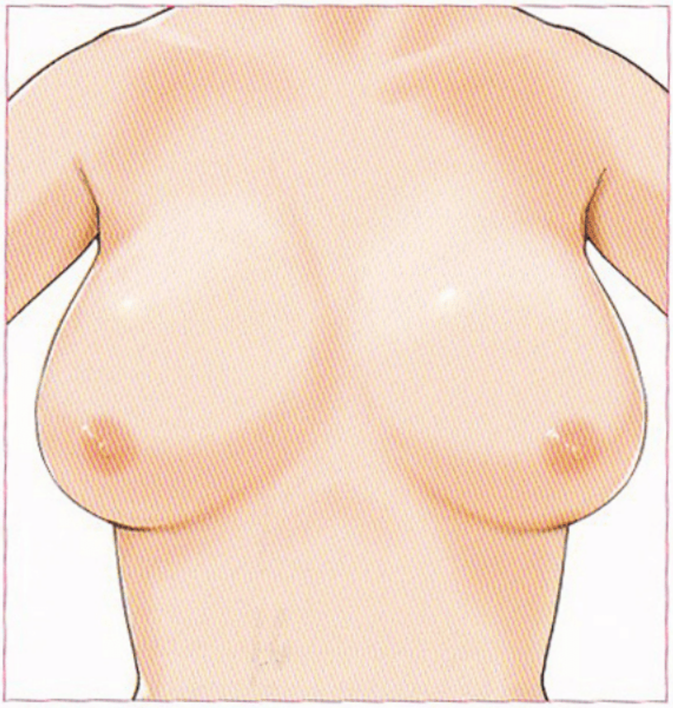


△ 先の例と同じく、線画をメインにしてしまうと柔らかさが失われてしまいます。線を残す場合は、線画を肌に馴染むようにすることで、ぷりんとしたおっぱいを表現することができます。

乳輪の作画の違い

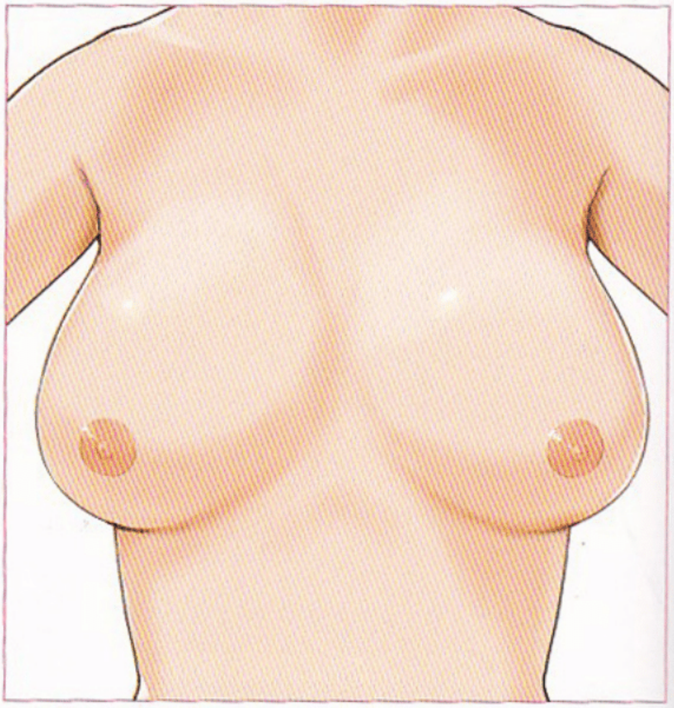
乳輪は作家によって描き方にいくつかのパターンがあります。
ここでは作画の違いを流派の違いという形で見てみましょう。

乳輪の流派



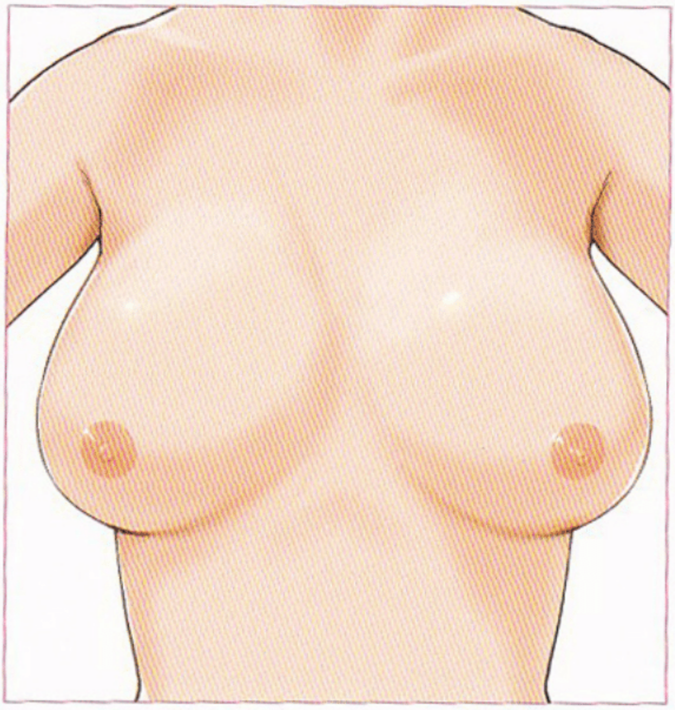
ぼかし派

乳輪の輪郭をぼかして描きます。印象が優しくなるのが特徴です。



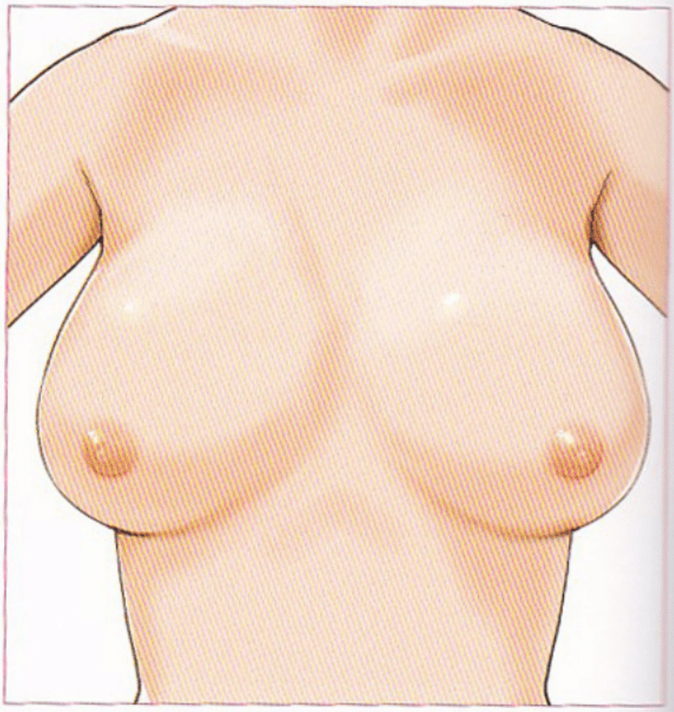
輪郭はっきり派

輪郭を線画で描きます。乳輪の存在感が出やすい作画です。



色味ではっきり派

ぼかし派よりぼかしをゆるくし、上記ふたつの中間くらいの印象で作画します。はっきりとさせつつ、色味が出やすくなります。

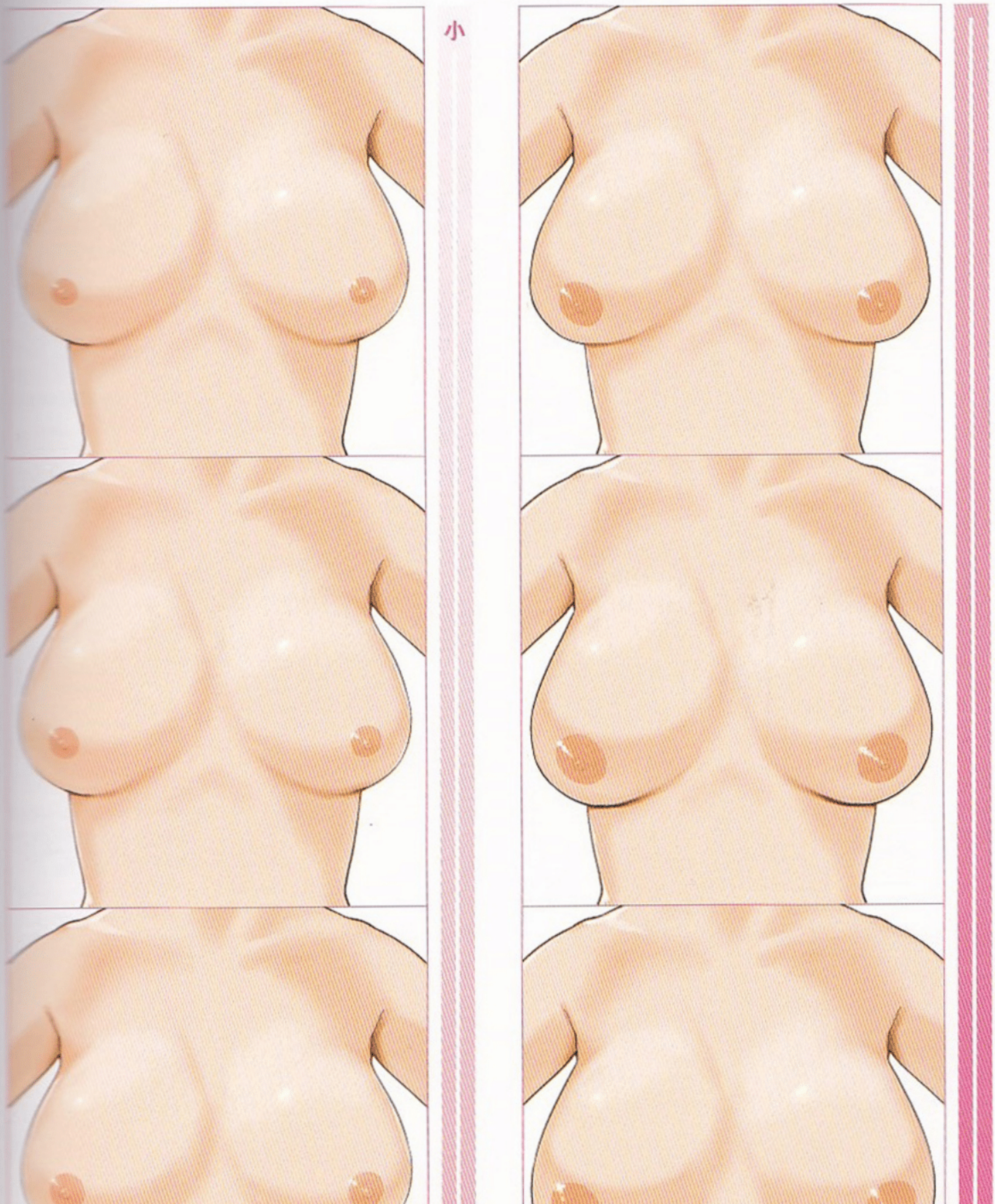


乳輪ぷっくり派

上部にハイライト、下部に影を入れることで、ぷっくりとした乳輪になります。膨らんだ感じで、やわらかさが出るのが特徴です。

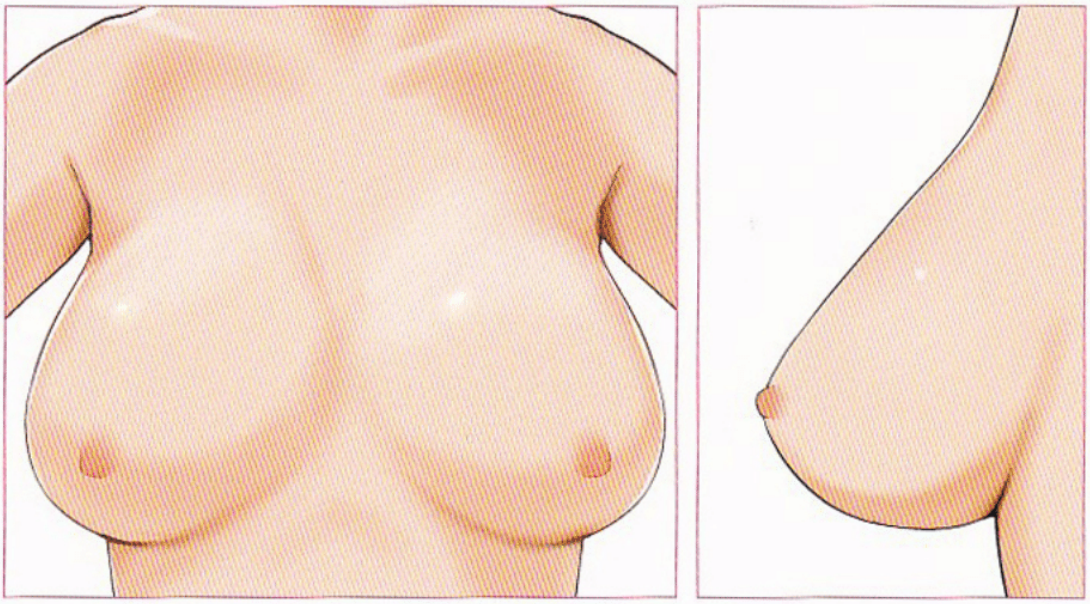
乳輪の大きさ

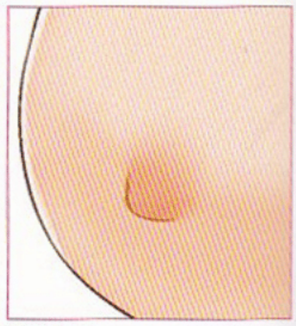
乳輪のサイズは人によって違います。ここでは、その大きさの差による印象の違いをご紹介します。
キャラのイメージを考えつつ、おっぱいの形にそって形を決めていきましょう。



乳首の形

乳首も人によっていくつかのタイプがあります。陥没タイプから隆起したものまで、
好みとキャラによって描き分け 、自分の理想の乳首を見つけていきましょう。

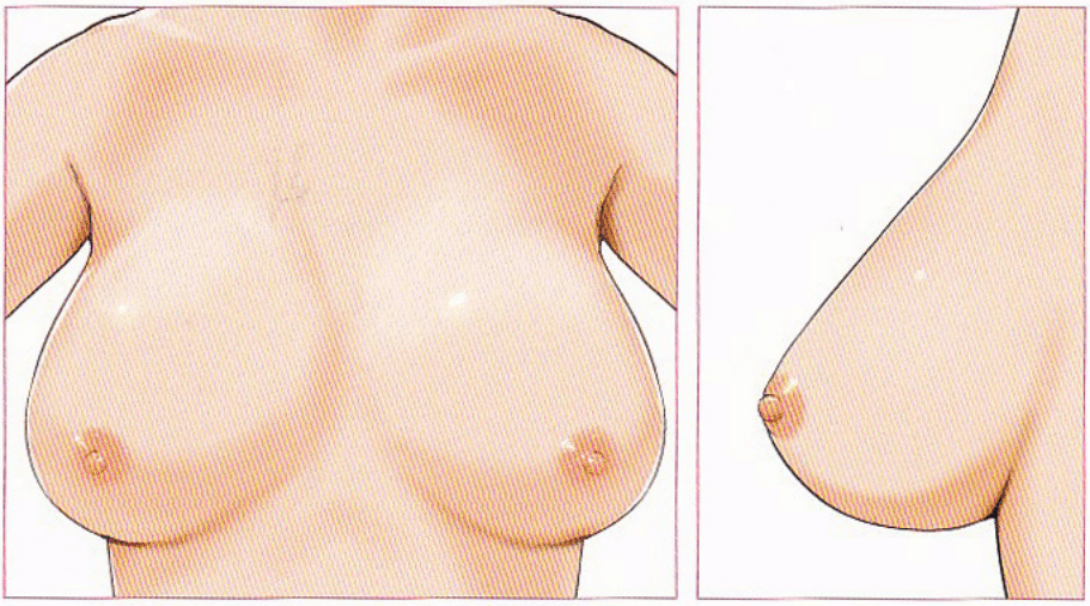


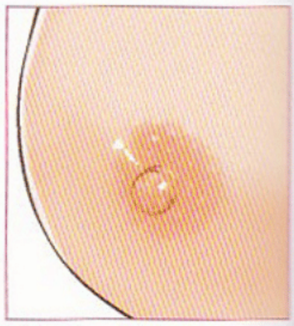


［拡大］

ちょっぴり突起タイプ

小さい乳首がちょんとついているタイプでデフォルメの強い漫画向け。乳輪は描かれません。

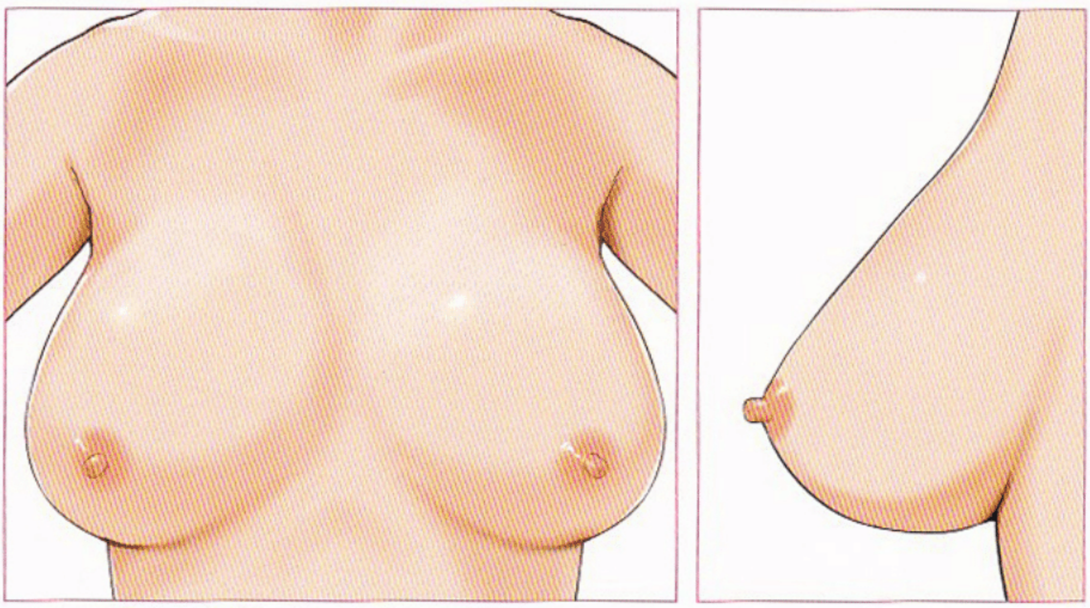




［拡大］

リアルタイプ

乳首のシワやイボ、乳首のつけ根のくびれなどが見える形。アダルトなイメージです。





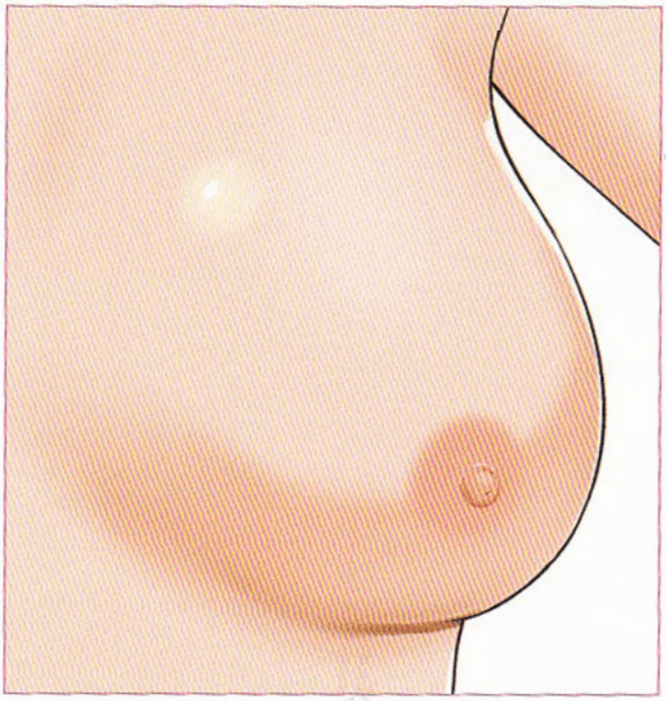
［拡大］

乳首はっきりタイプ

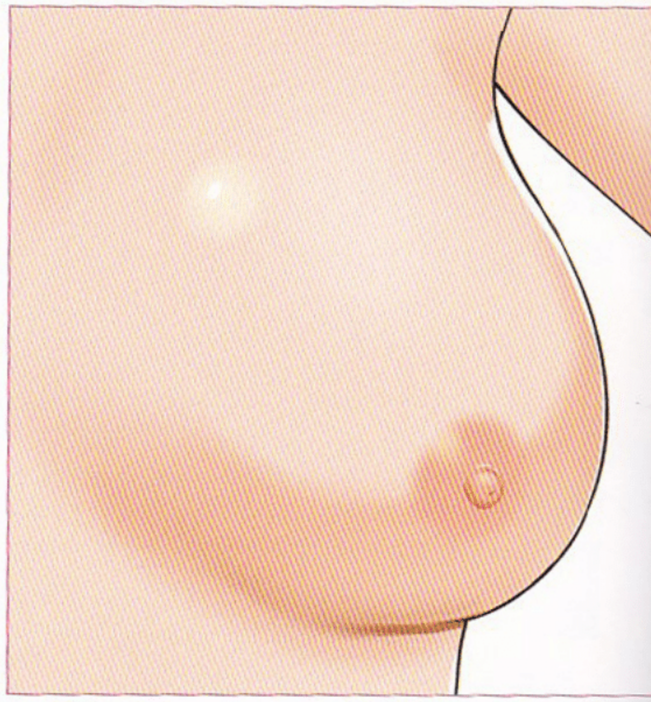
乳首を強調して円筒形にした形。乳首がピンとした際などの表現も同様になります。

つややかな乳首を描く

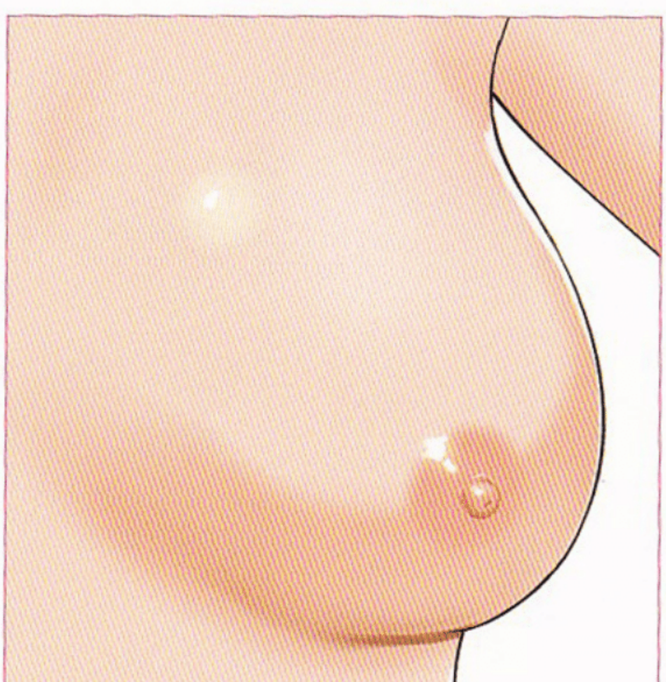
では実際に乳首を作画していきます。前項のどのタイプにするか決めて、
思いを馳せながら作画に入るようにしましょう。



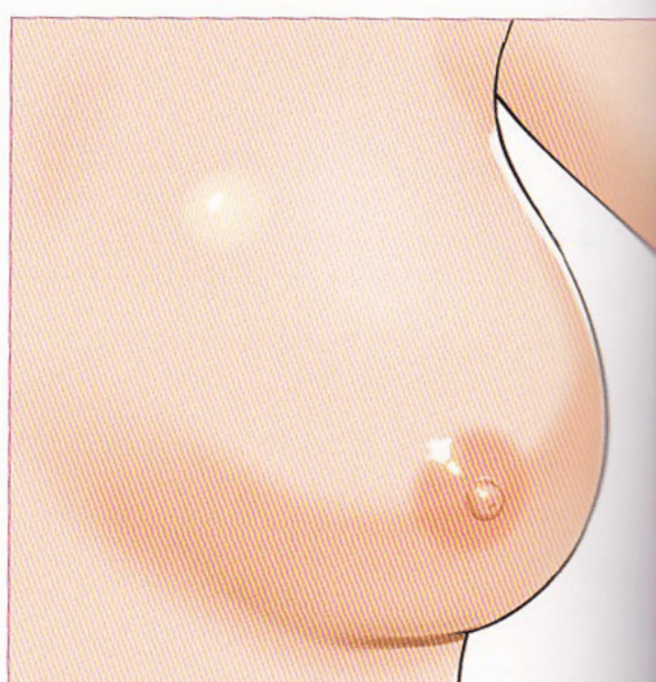
1 乳房の立体感を考えながら乳首の位置を決め、乳首と乳輪を描きます。リアルに描き込みたい場合はさらに立体的にしましょう。



2 光源と乳輪や乳首の形状を考えつつハイライトを加えていきます。加算系(発光系)のレイヤーを何枚か重ねると透明感が出て艶っぽくなります。



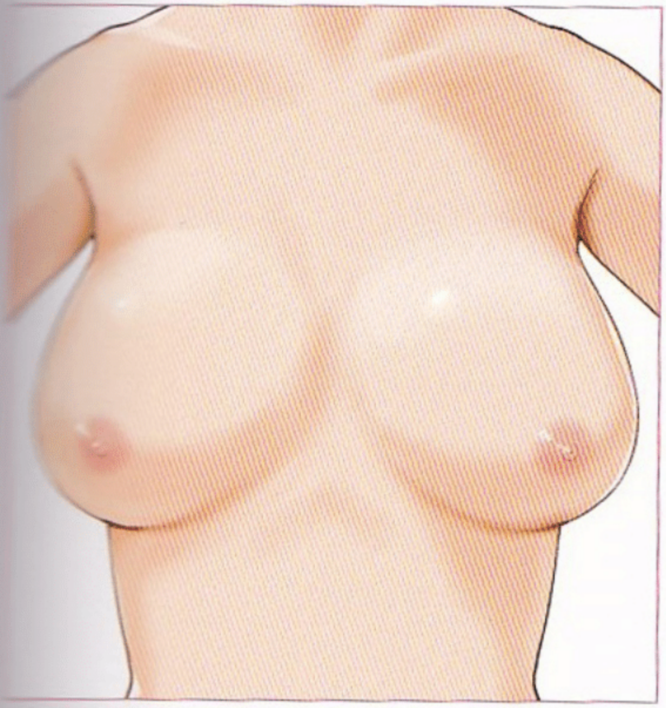
3 もう一枚レイヤーを重ねた状態です。枚数は好みでかぶせていきましょう。

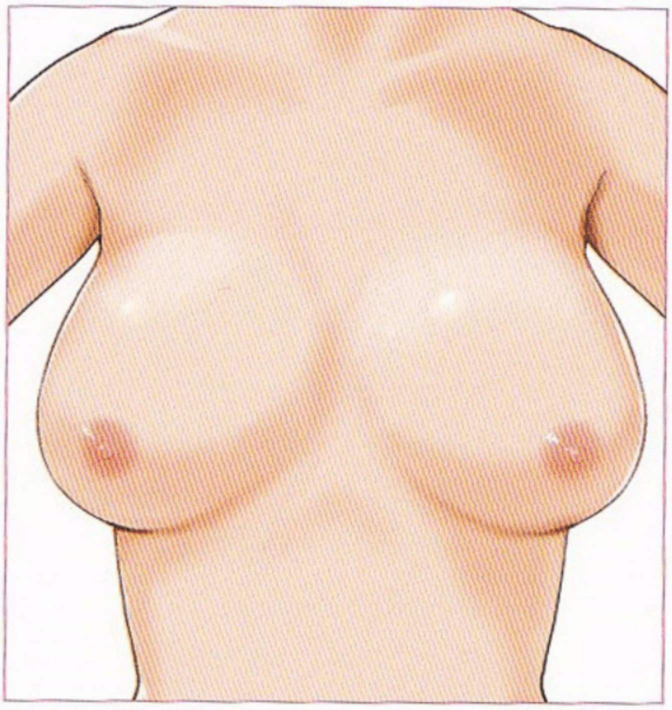


完成 最後に乗算レイヤーで軽く影をつけたら完成です。

乳首と乳輪の色の違い

乳首と乳輪の彩色の際のパターンです。あまりに黒すぎたり、彩度が高すぎて赤くなったりすると、
乳首の主張が強くなってしまうので、注意して彩色するようにしましょう



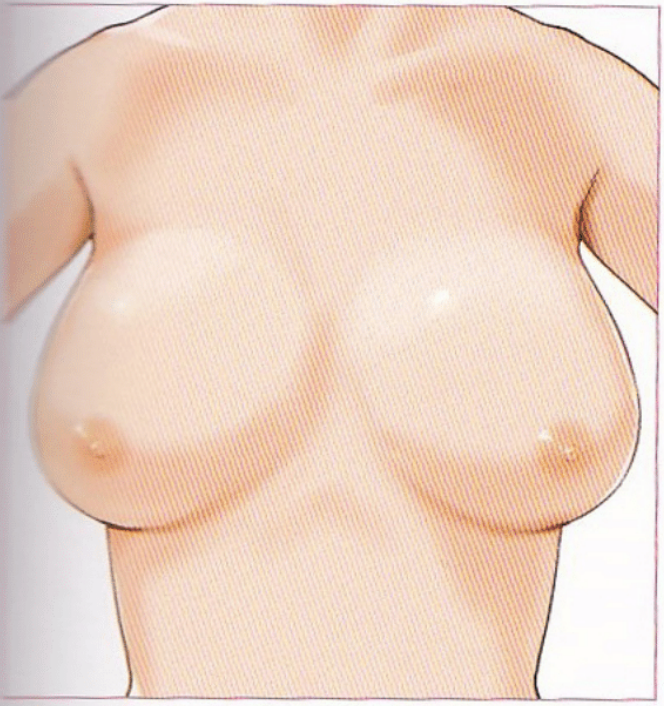


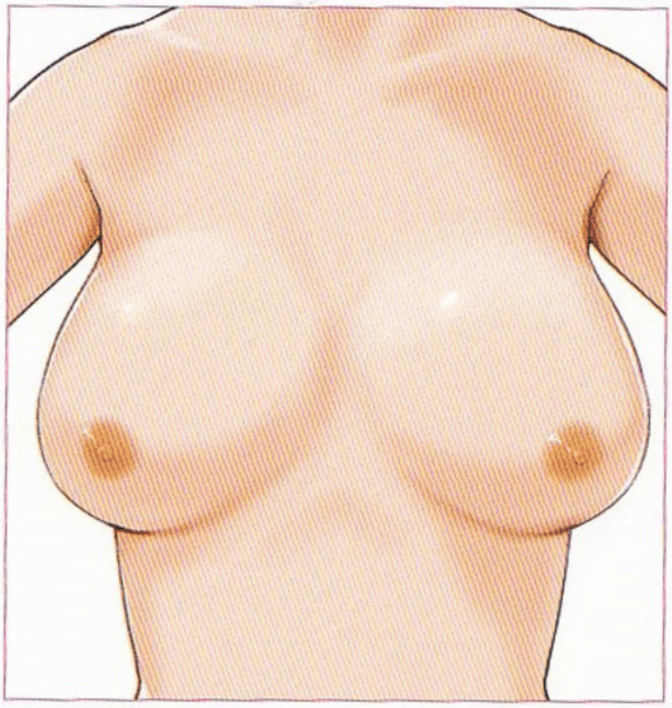
ピンク薄め

誰からも愛される魅力的な乳首カラーで、若い女性キャラに使われることが多い色です。控えめで桜のようなピンク色をセレクトすると、より魅力が増します。

ピンク濃いめ

乳首の存在感をアピールしたい場合は、色の濃さを上げるのも一手です。また、キャラが興奮した際の色としても有効です。





ベージュ薄め

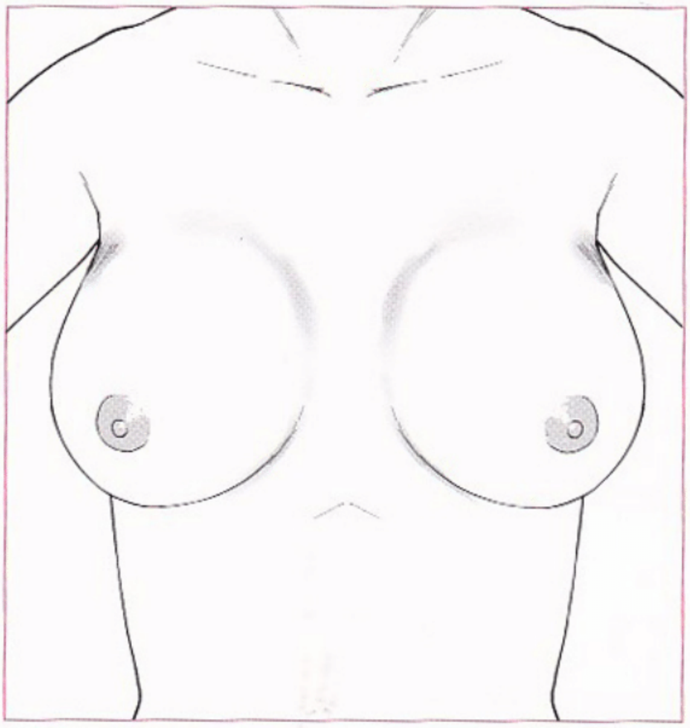
やや存在感が薄くなりますが、「ここにいるよ」と語りかけてくるようなカラー。落ち着いたシーンに最適です。

ベージュ濃いめ

高年齢だったり、出産経験があるキャラのときに使うとリアルな色味になります。また、日焼けしたキャラクターのときも肌の色と合わせてこの濃さにしてもいいでしょう。

おっぱいの形いろいろ

この項のまとめとしておっぱいの形のパターンと作画ポイントを紹介します。
乳首の種類と合わせることで可能性は無限大です。



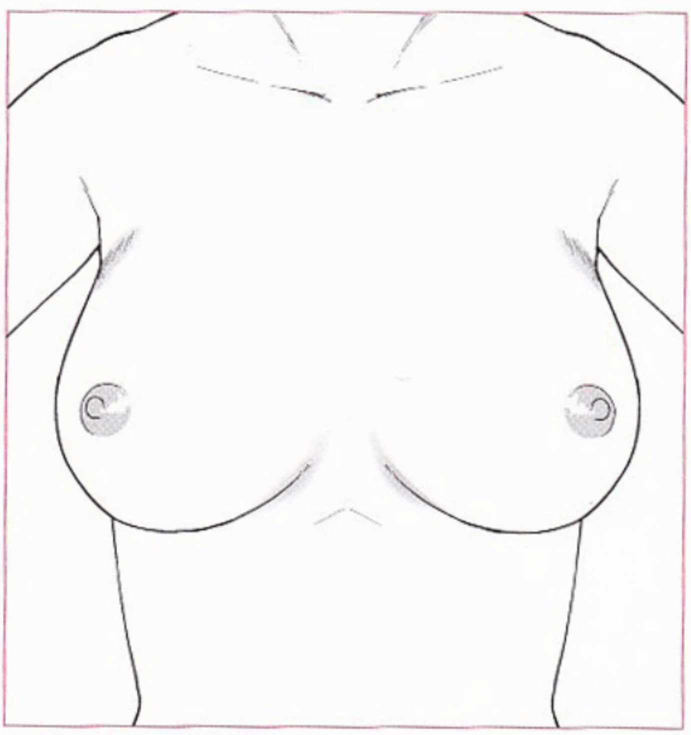
ゴムマリ型

乳腺質で硬いおっぱいです。上のつけ根付近に特徴的な影ができます。



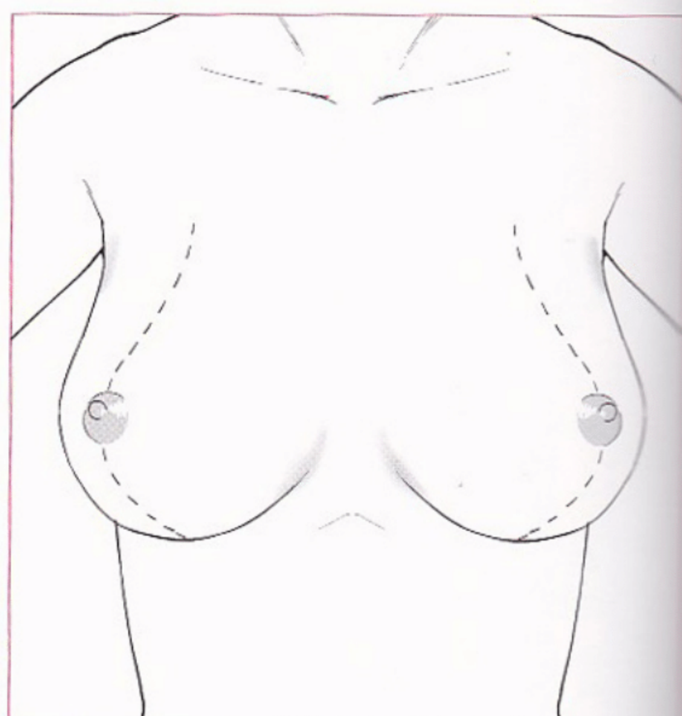
マシュマロ型

おっぱいのつけ根から乳首まで凸曲線を描いていきます。形としては丸に近いです。



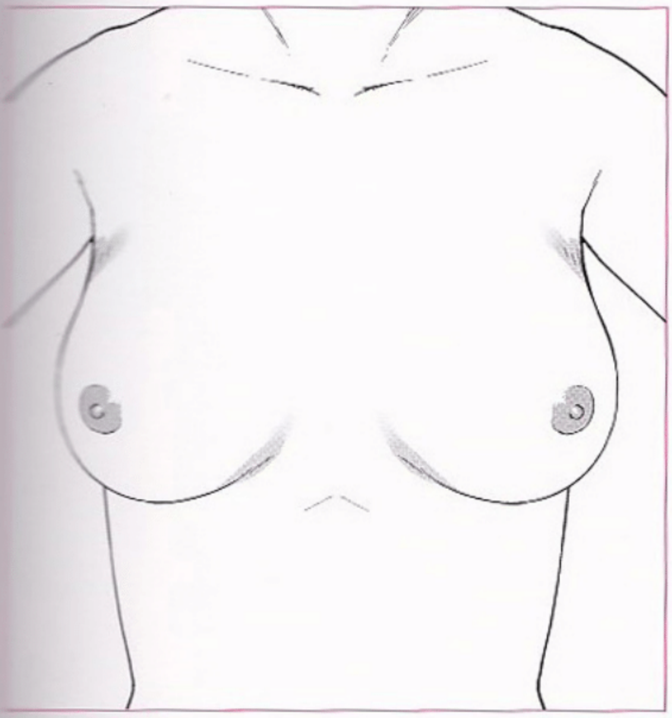
ちょっと上向き型

やや乳首が上に向いているおっぱいです。乳輪の影や乳首の角度で上向きを表現します。



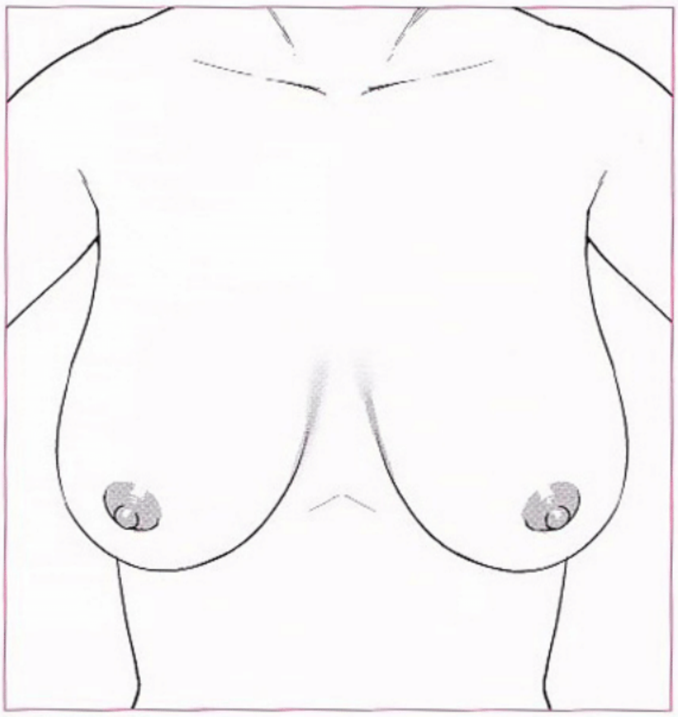
釣鐘型

おっぱいの下部分に行くと大きくなるので(点線を参考に)、胸のつけ根から凹むようなラインの曲線を描きます。



はなれ乳型

他よりも両おっぱいが離れている形です。乳首の位置・角度で表現します



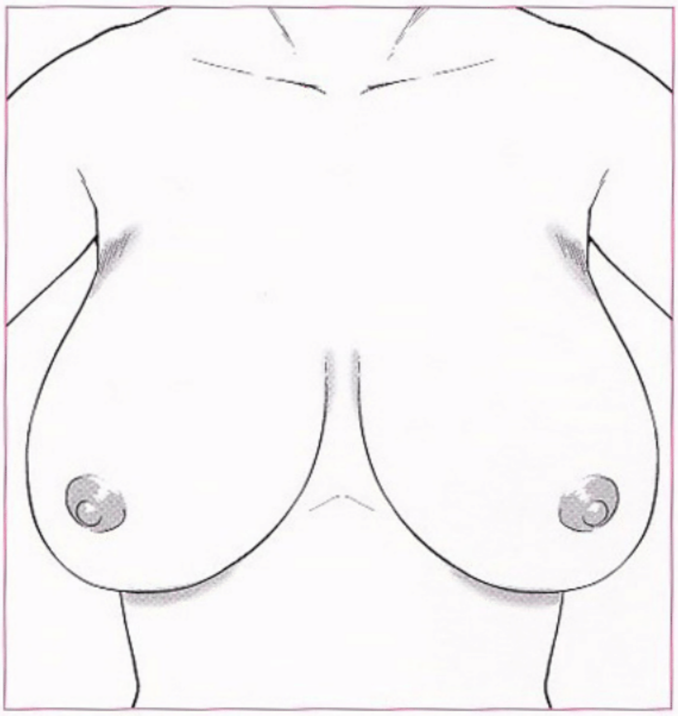
垂れ乳型

たれ気味の乳です。上側のつけ根からおっぱいが膨らみ始めるまでの距離が長くなります。



ロケット型

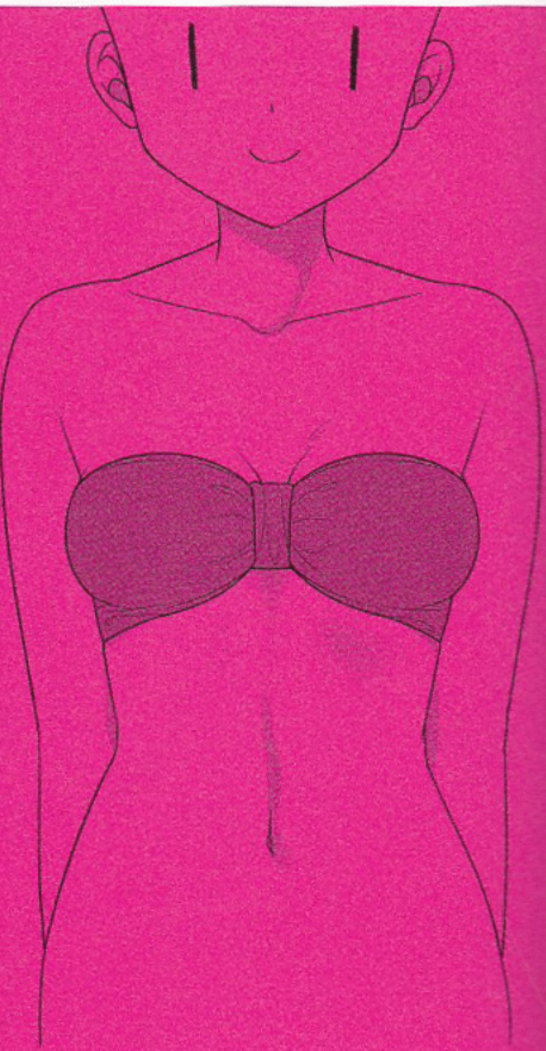
垂れ乳よりハリがあります。上のつけ根からの曲線がまるみを帯びます。乳首がもっと下にある場合もあります。

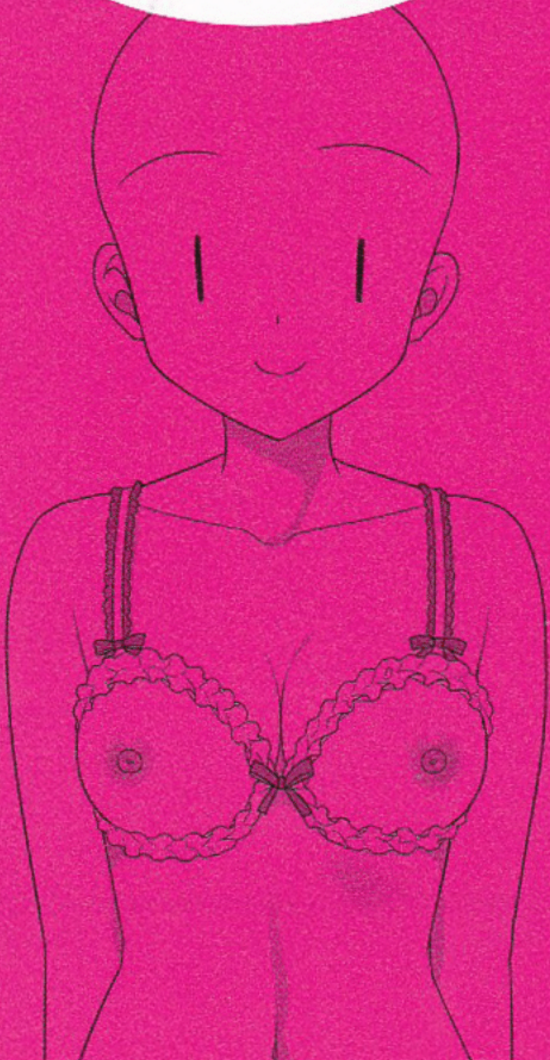


大ロケット型

巨乳のカテゴリーです。おっぱいの下側がみぞおちよりもかなり下にきます。

3



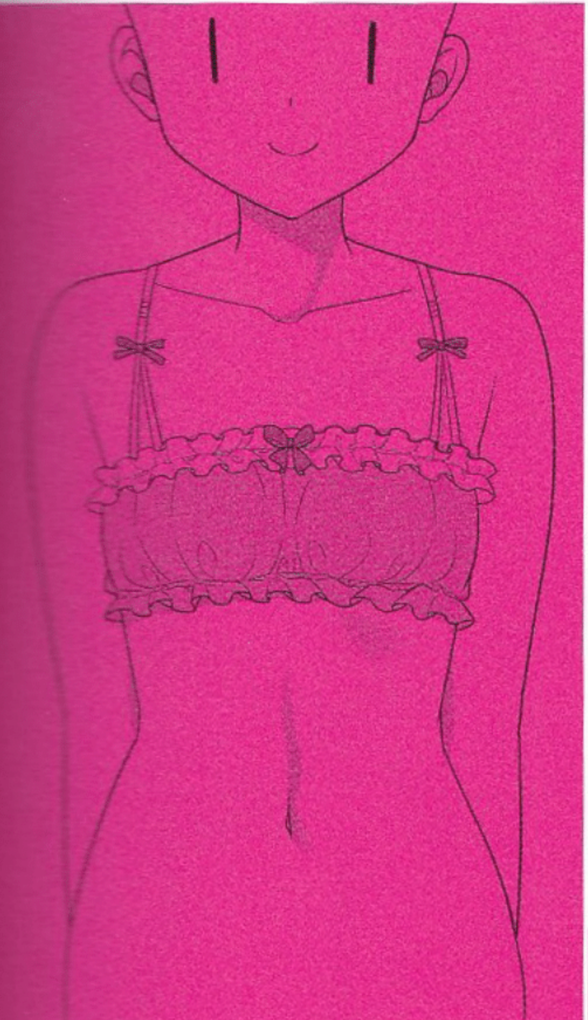


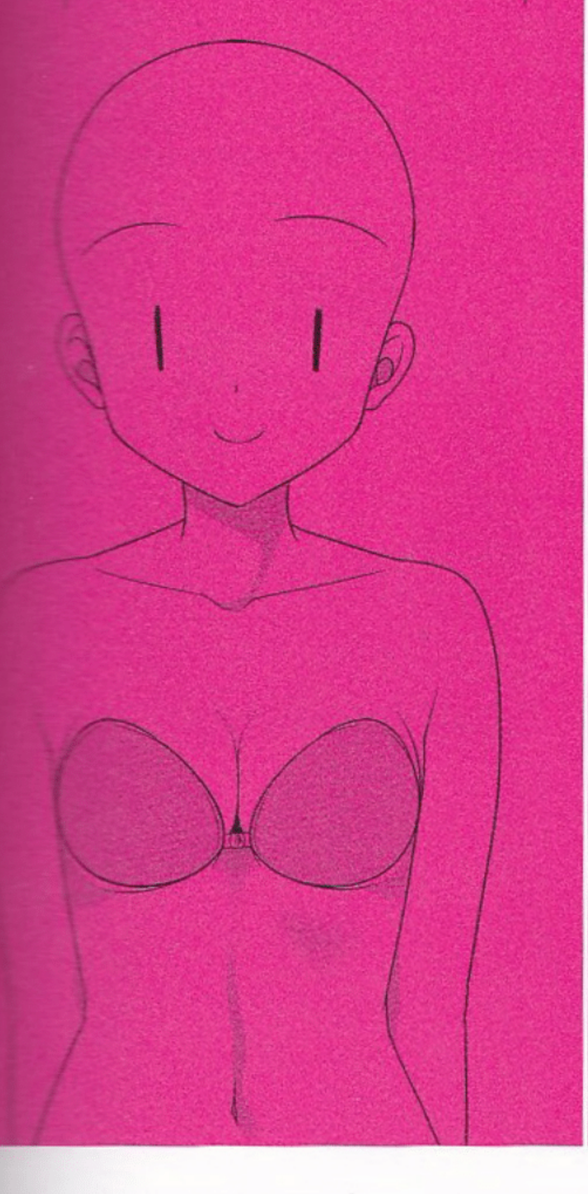


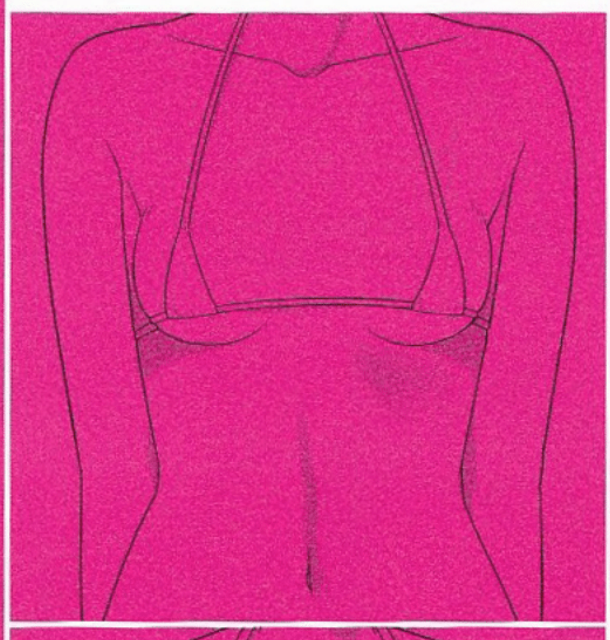
Part_3

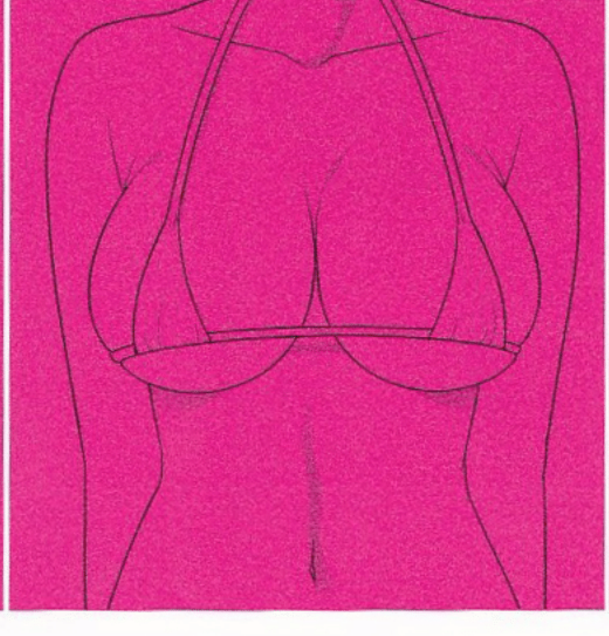
おっぱいと服

ここまでおっぱいのつき方と細かい部分の作画法を解説しました。実は着衣の状態でも、おっぱいは作画に大きく影響します。この章では下着や衣服との関係について解説していきます。





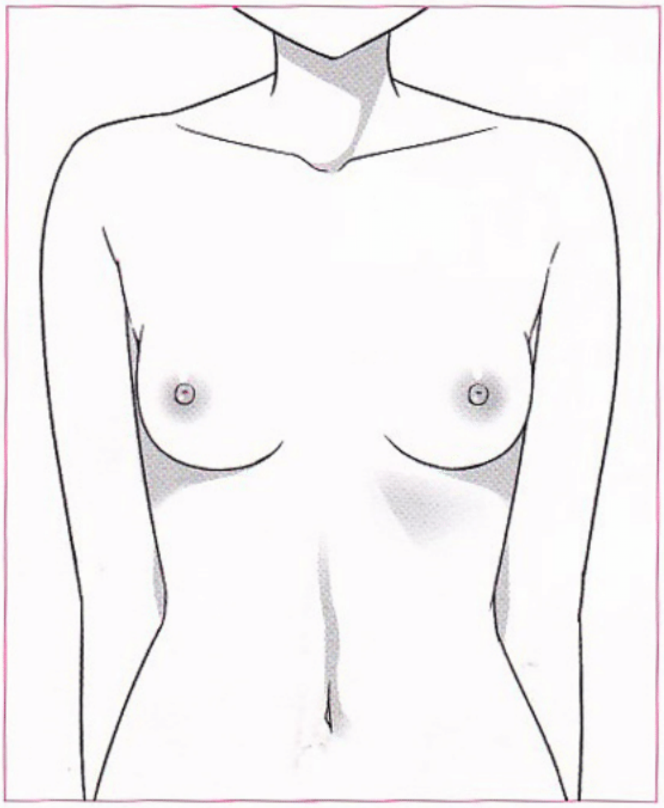




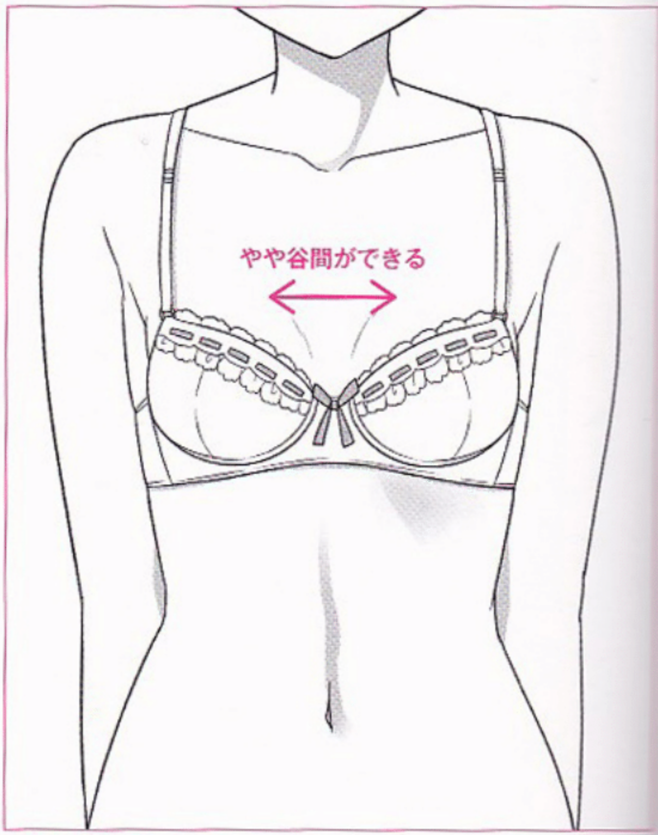
ブラとおっぱい

ブラジャーにも種類があり、おっぱいのサイズによって作画方法も変わります。
ここではその組み合わせによる差を解説していきます。

微乳



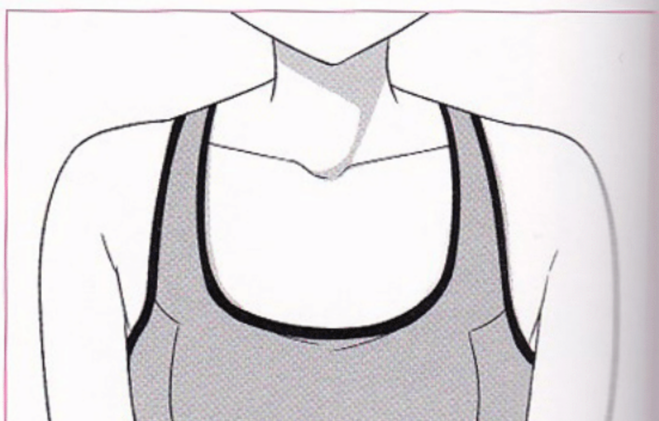
ノーブラの状態です。布の圧力がないので、おっぱいのラインは重力で下がります。またおっぱいとおっぱいの間はやや開き気味に。



普通のブラジャー

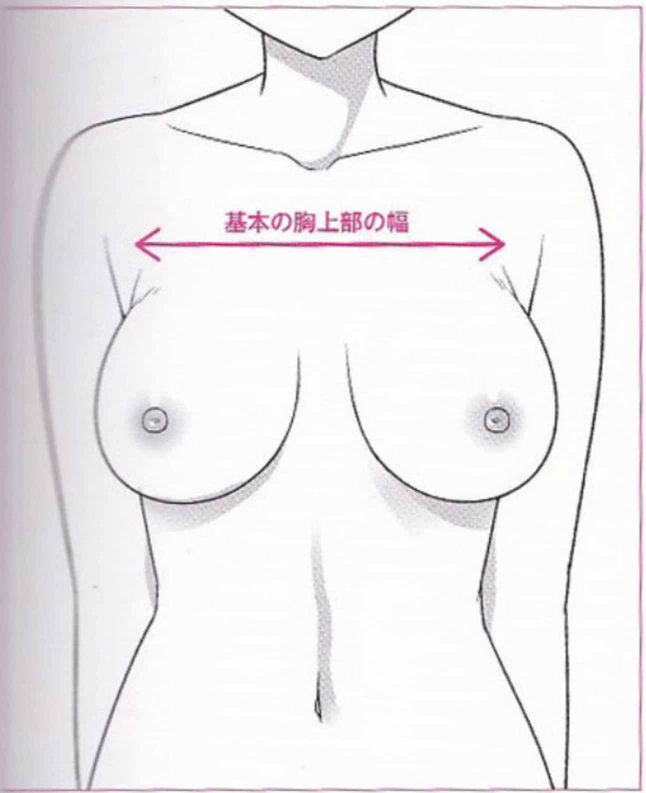


マイクロブラ

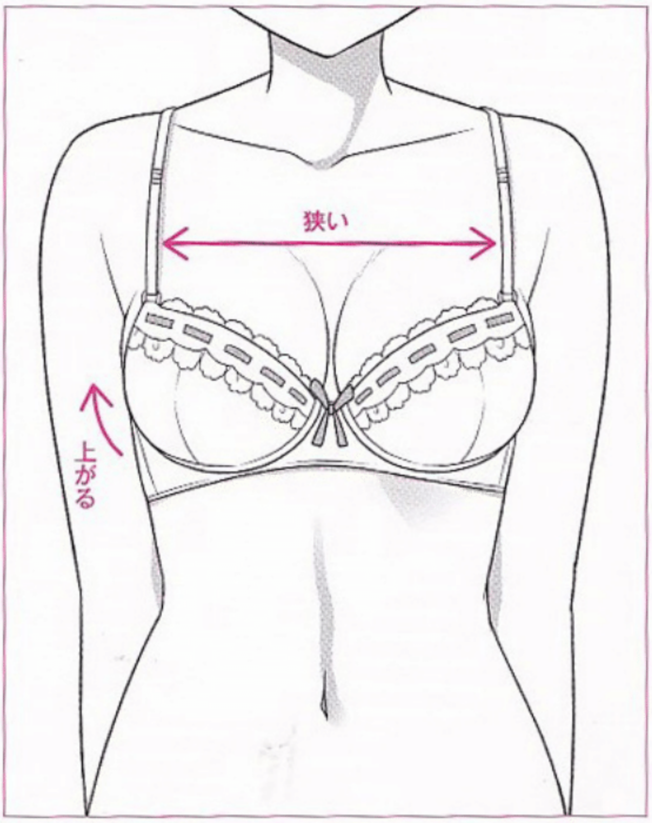


スポーツブラ

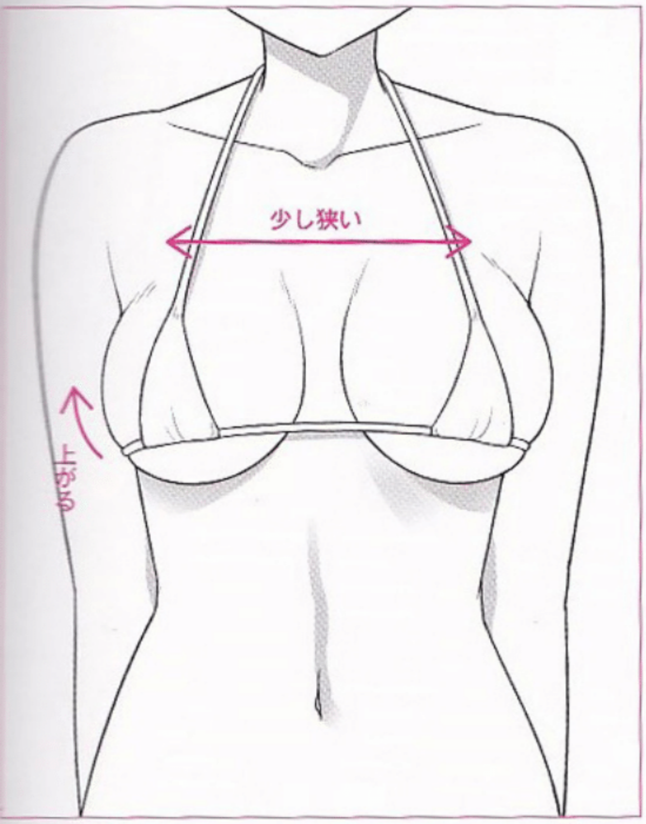
普乳



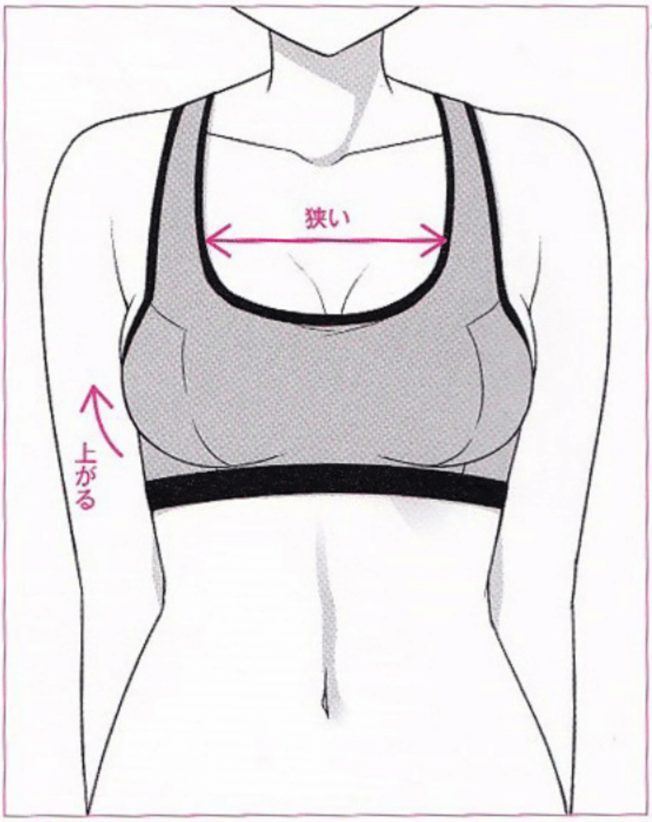
普通サイズのおっぱいです。微乳よりも下がりが大きくなり、間隔は広がるので気をつけましょう。下着に対する存在感も増やします。



普通のブラジャー

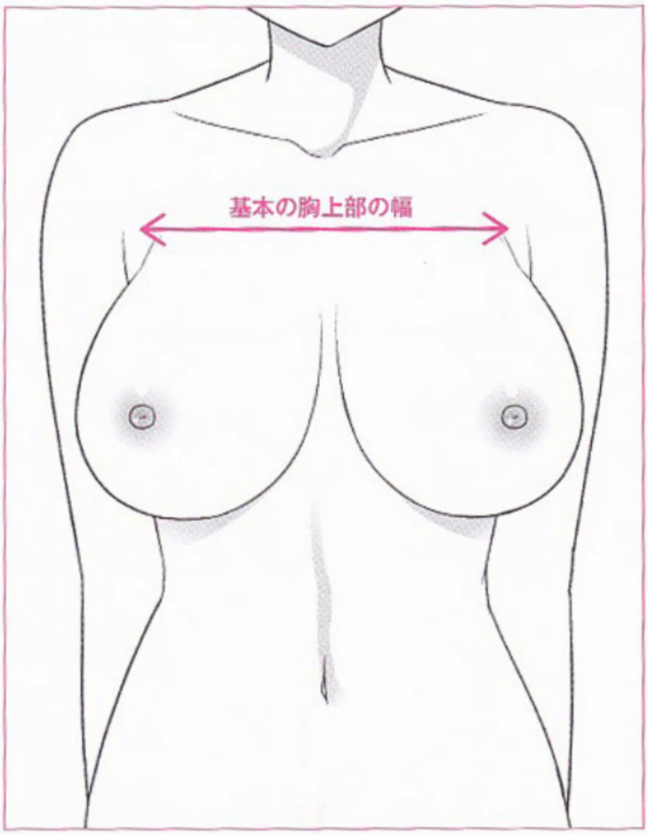


マイクロブラ

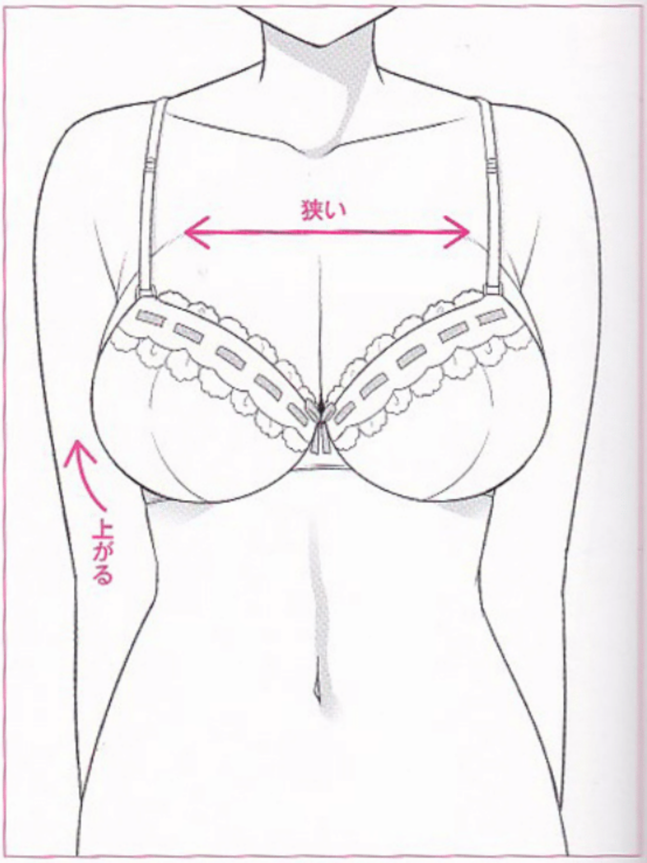


スポーツブラ

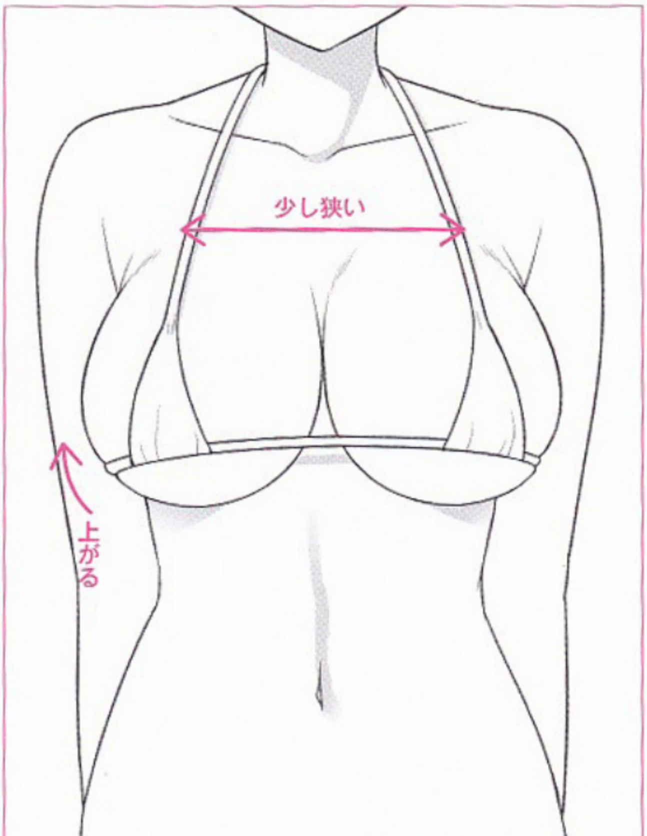
巨乳



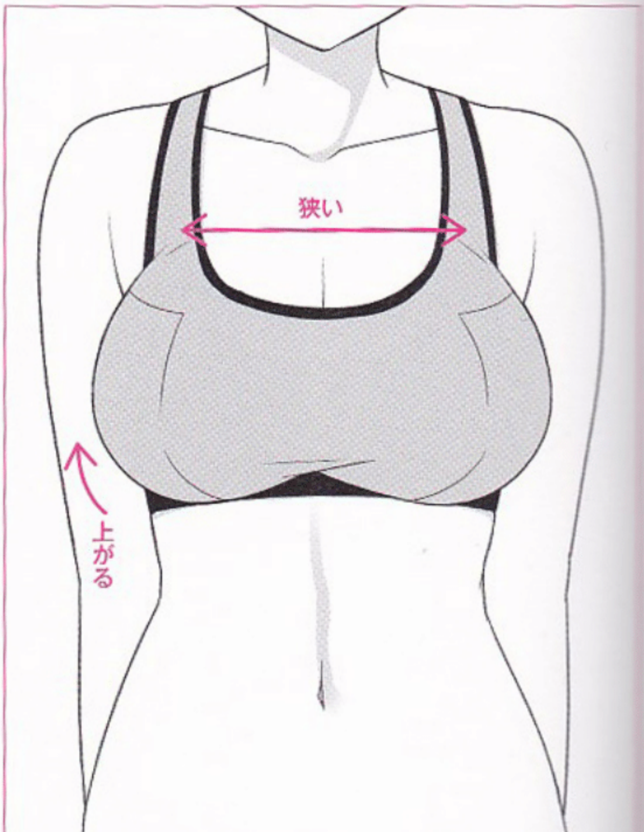
ノーブラ状態の巨乳。ボリュームがあるので下着に入りきらず、引っ張る力よりも重さが勝ちます。作画時に意識しましょう。



普通のブラジャー



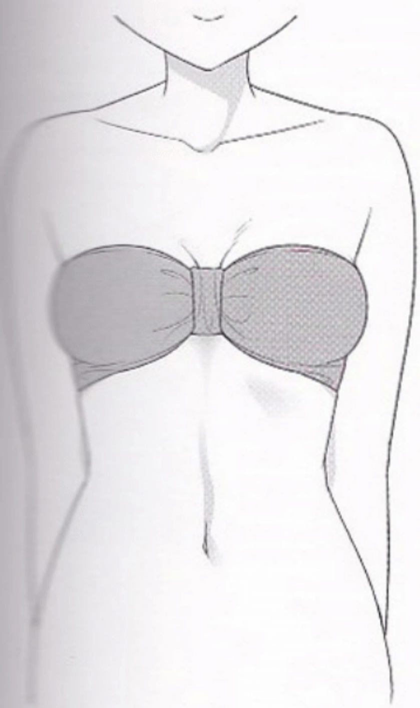
マイクロブラ



スポーツブラ

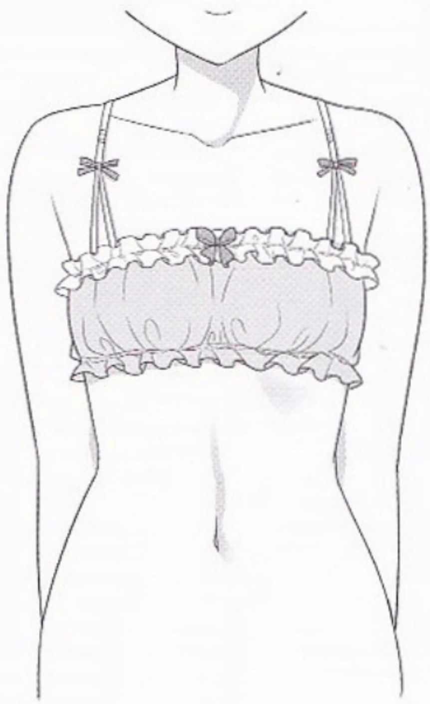
その他の下着のバリエーション

ここでは他のタイプの下着のポイントを解説します。
キャラやシチュエーションに合わせて下着を描きましょう。



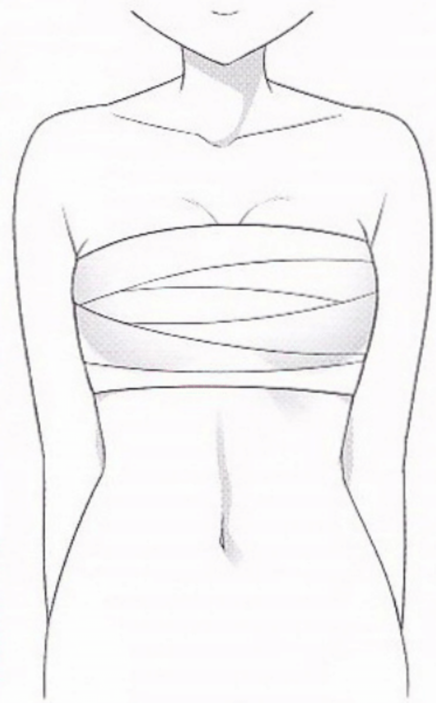
チューブトップ

おっぱいを抑えるというより、布で覆うタイプの下着です。身体の線を生かして作画しましょう。



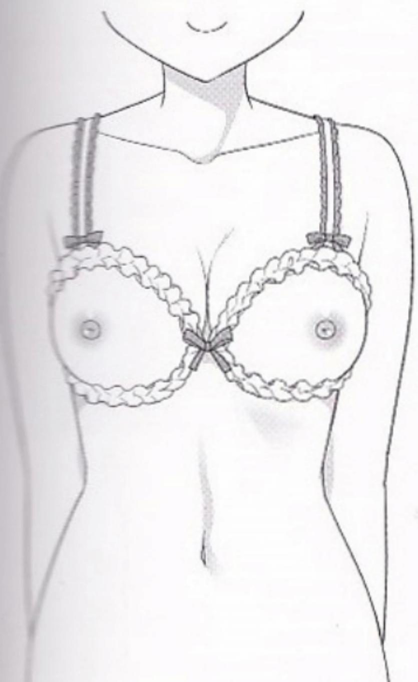
エンジェルバストブラ

ちょっと子どもっぽい飾りのついたブラ。可愛さ重視でシワやフリルをしっかり描きましょう。



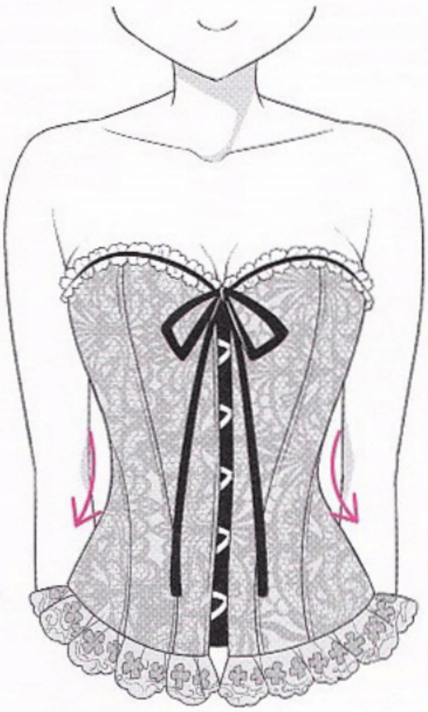
サラシ

本来は着物を着る際におっぱいをつぶすために巻く布です。包帯のようにおっぱいを隠す作画でもいいでしょう。



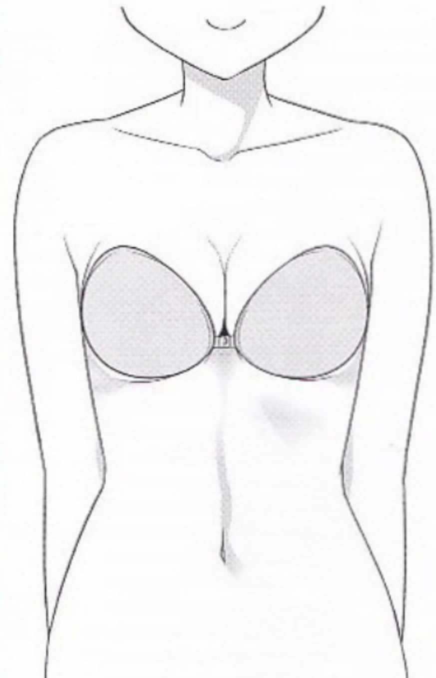
エロ下着

複数のタイプがありますが、透けてたり、乳首だけ出てるタイプは用途がわかりやすいです。



コルセット

腰で絞める下着です。おっぱいも内臓も上に上がるので、ウエスト細目、上が厚めになるように描きましょう。



ヌーブラ

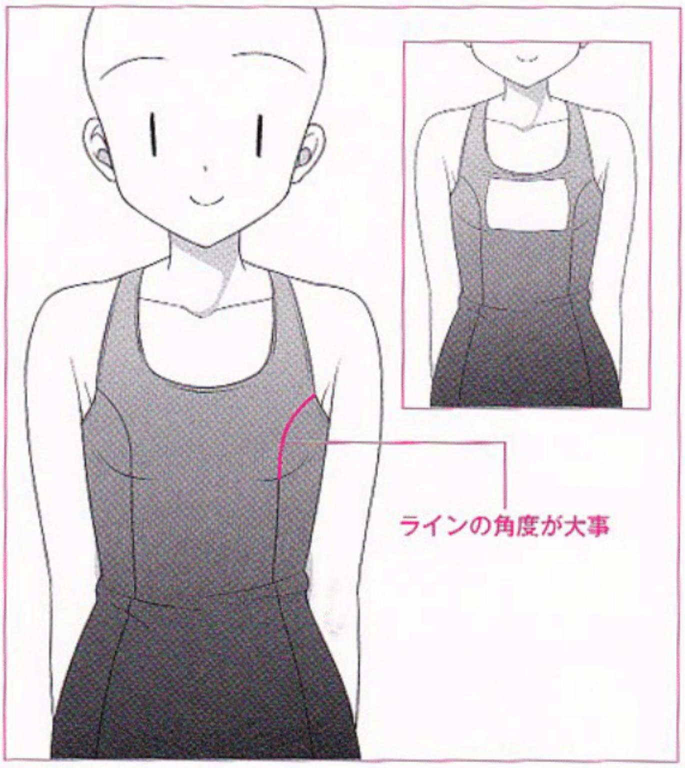
粘着力でおっぱいにくっつくブラ。肩ひもがないため、ドレスなどの肩のあいた服のシーンに最適。寄せ上げ力も一番高いです。

水着とおっぱいの大きさ

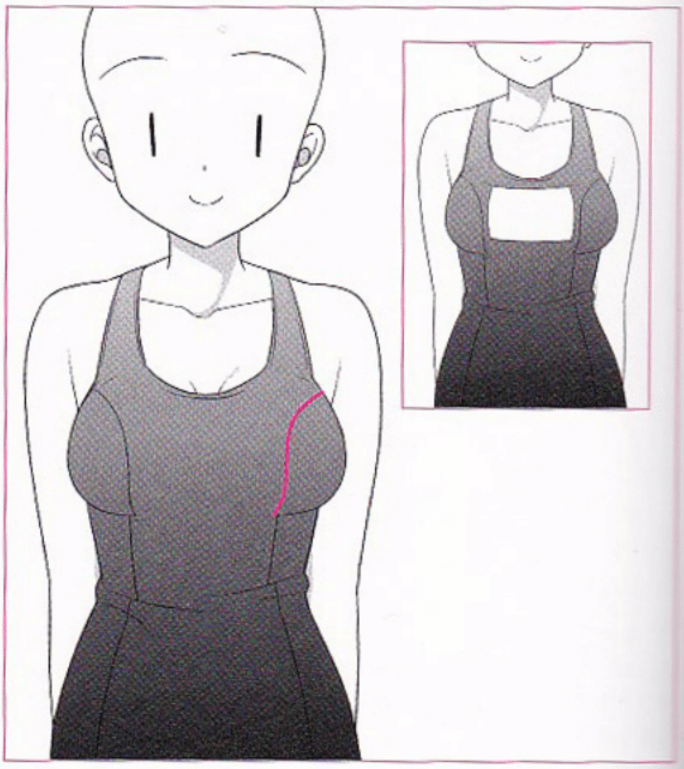
おっぱいを描く上で、外すことができないのが水着です。
ここでは定番のスクール水着とビキニについて解説します。

スクール水着の場合

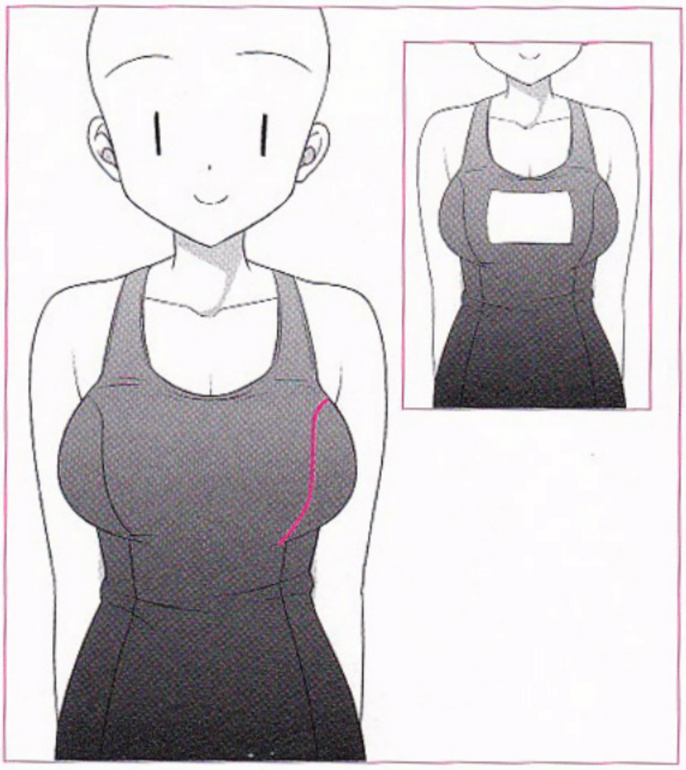
スクール水着は縫製のラインでおっぱいのまるみを表現します。
基本押さえられるので小ぶりになりますが、爆乳などの場合は、線が一度おっぱいの下に入るイメージです。



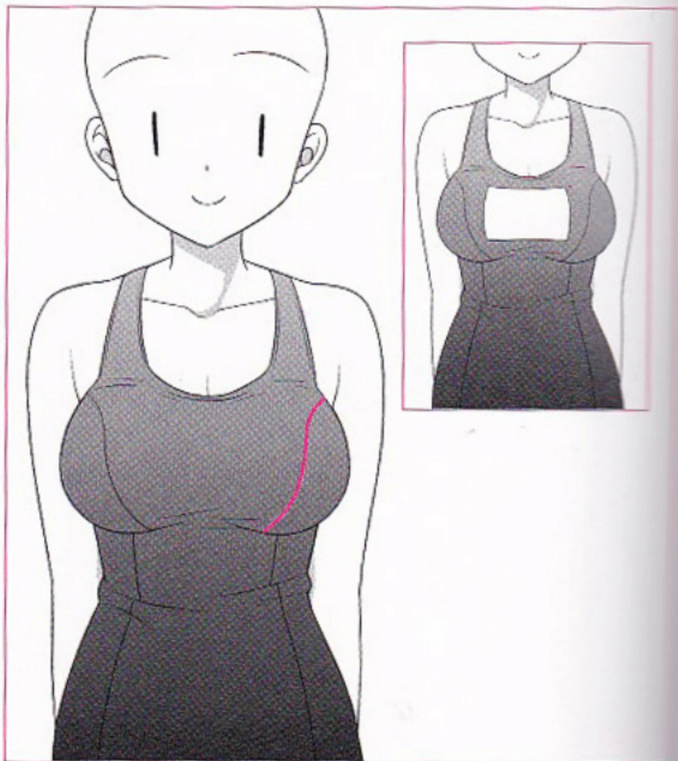
微乳



普乳



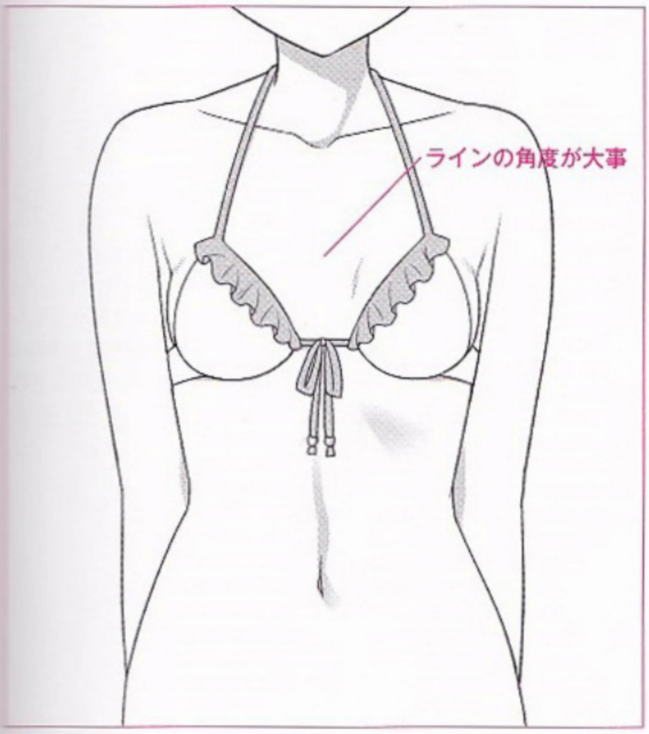
巨乳（乳袋ナシ）



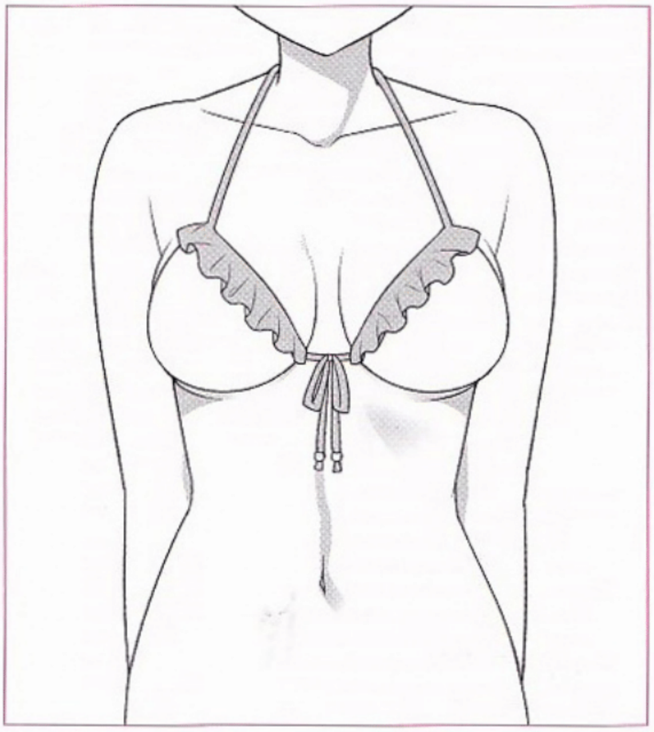
巨乳（乳袋アリ）

ビキニの場合(ブラジャーとの違い)

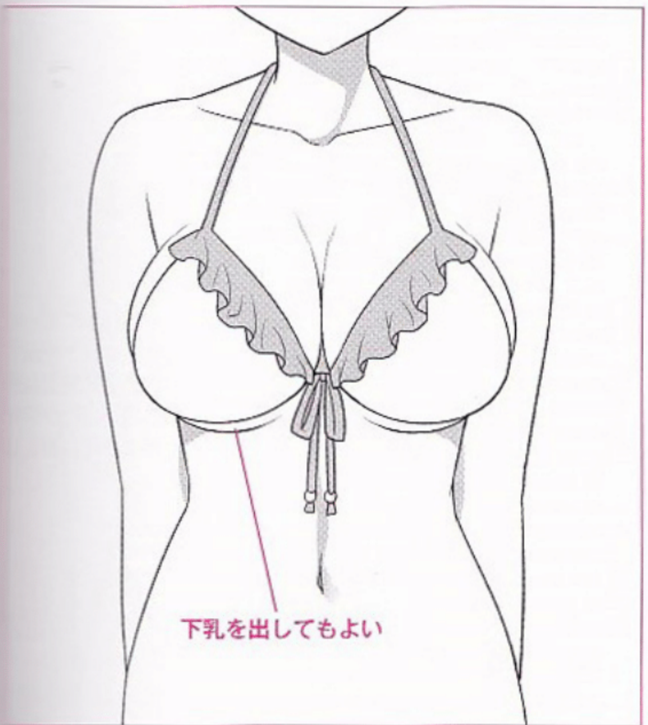
ビキニタイプはブラジャーと作画ポイントは同じです。おっぱいが小さい場合、
間隔が広がるので、フリルタイプにしたほうが映える場合があります。



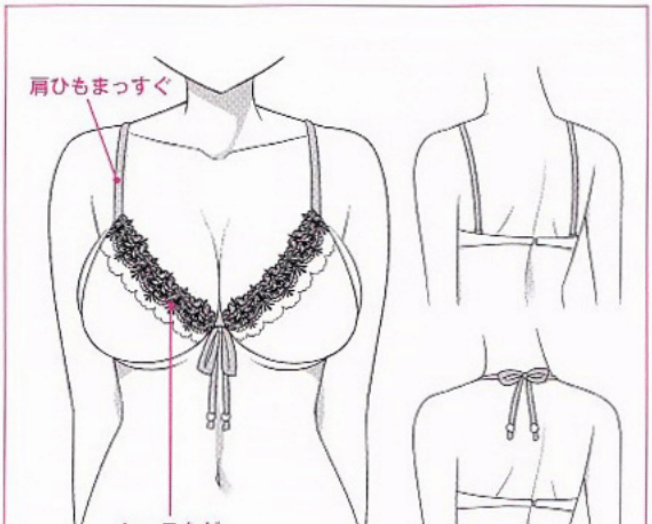
微乳



普乳



巨乳



ビキニNG例

レースにフリルなどの細かい装飾はどちらかというブラに多いので水着っぽさがなくなります。また背中のひもは肩でつるすのではなく、首の後ろで巻くのが水着には多いです。

薄手の服を着ている場合

薄い布の場合、おっぱいの大きさをシワで表現します。着衣の状態と服の中を比べて、
おっぱいと布の張り具合の関係を理解しましょう。なお、「服の中」はブラジャー有りのおっぱいを想定していますが、
わかりやすいようにブラジャーの中まで透視しています。

服を着た状態

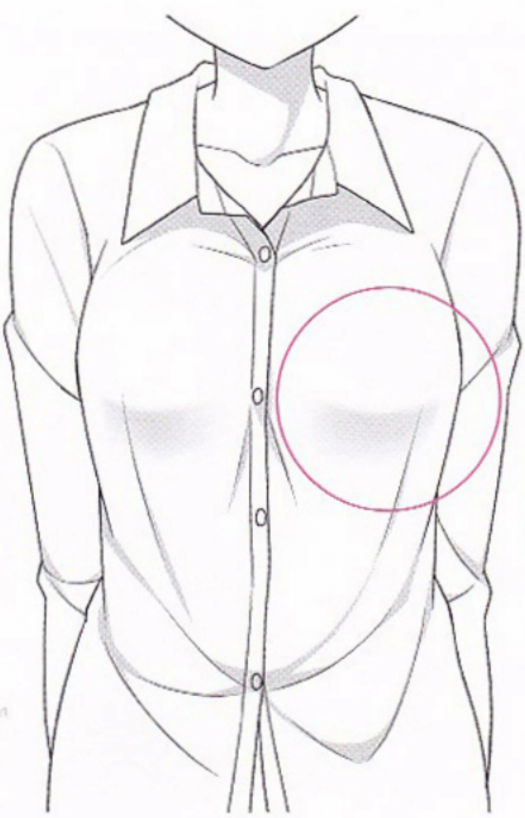
服の中

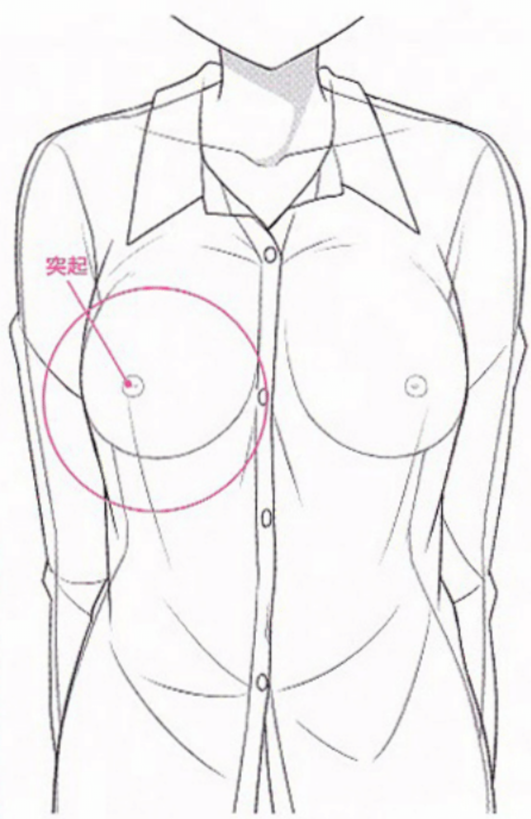




微乳

服に対しておっぱいのシルエットが出ることがほとんどありません。透ける場合は、乳首が見えるといった程度です。





普乳

シャツに対しておっぱいのシルエットが出てきます。乳首の突起位置をトップにして、シワを入れるようにしましょう。

服を着た状態

服の中





巨乳

おっぱいのシルエットがかなりしっかり出るので、上の部分が寄って、下も細くなります。また、胸の下半分に影を入れると迫力が出ます。





巨乳（乳袋有り）

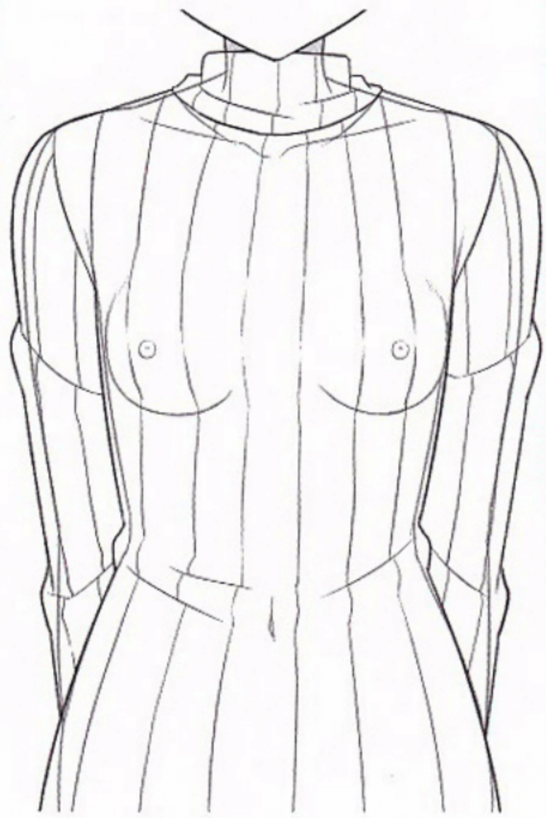
二次元でよく見かける乳袋は、服のラインは無視して、おっぱいの形をそのままラインとします。ウエストの部分は普通に狭まります。

厚手の服を着ている場合

厚手の場合は、シルエットによって布に包まれたおっぱいを表現します。ラインがあるニットは、大きさを表現しやすいので初心者の方には特におすすめです。

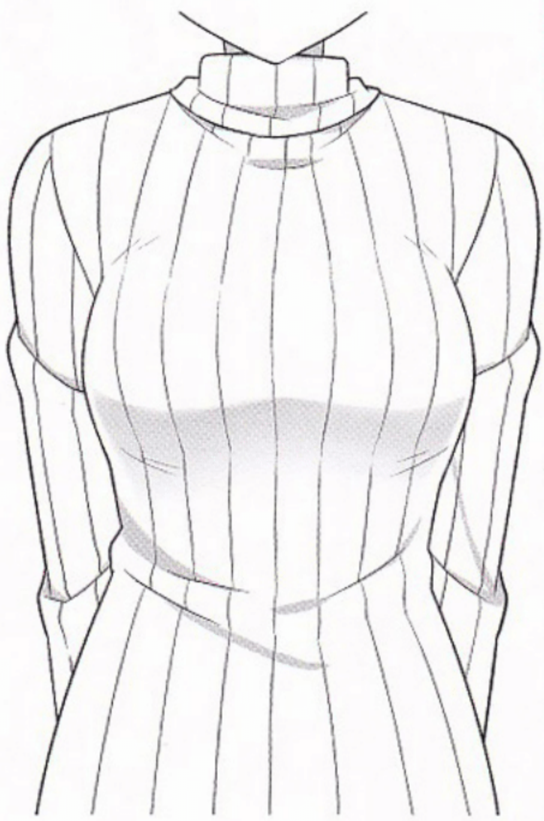
服を着た状態　　服の中

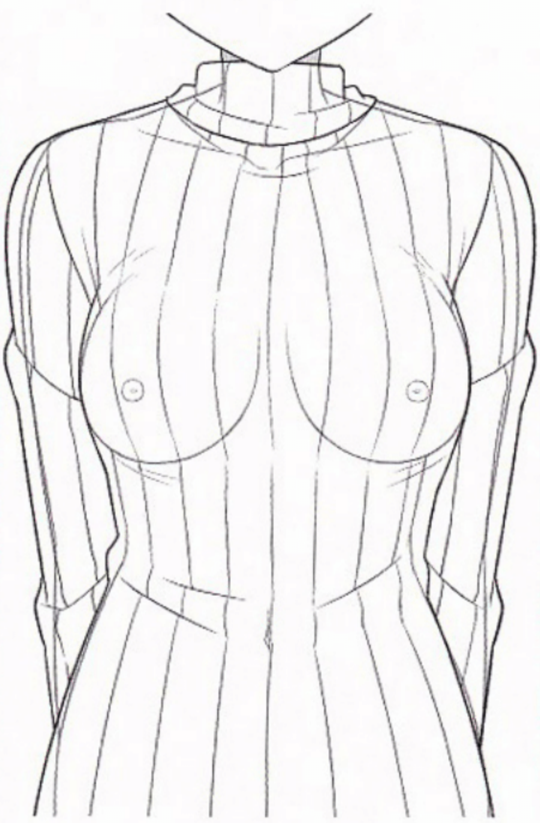




微乳

他のサイズでも共通ですが、縦のラインで体格を表現します。それ以外は特に影響しません。

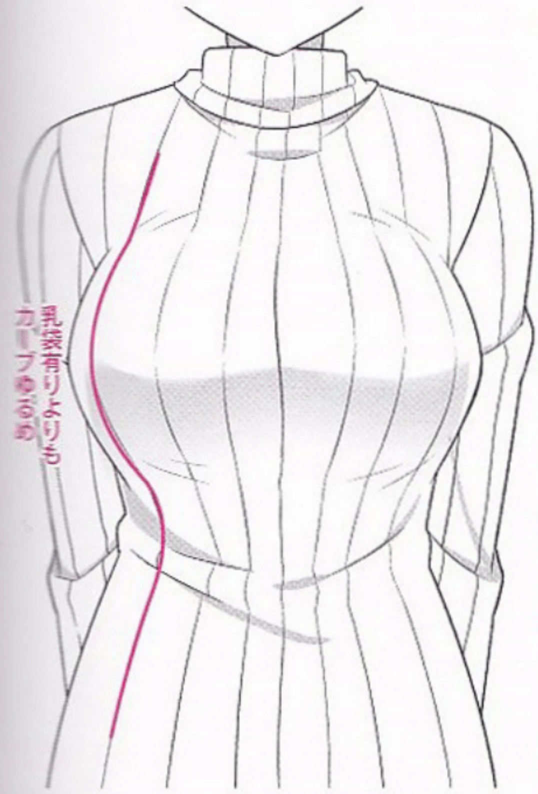


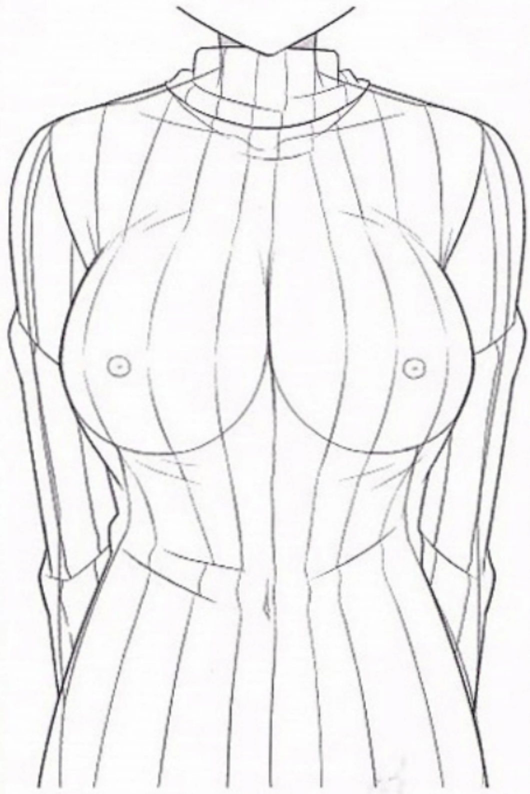


普乳

シルエットがラインにしっかりと出てきます。腰の絞りとおっぱい上部線の部分でサイズを描き分けます。

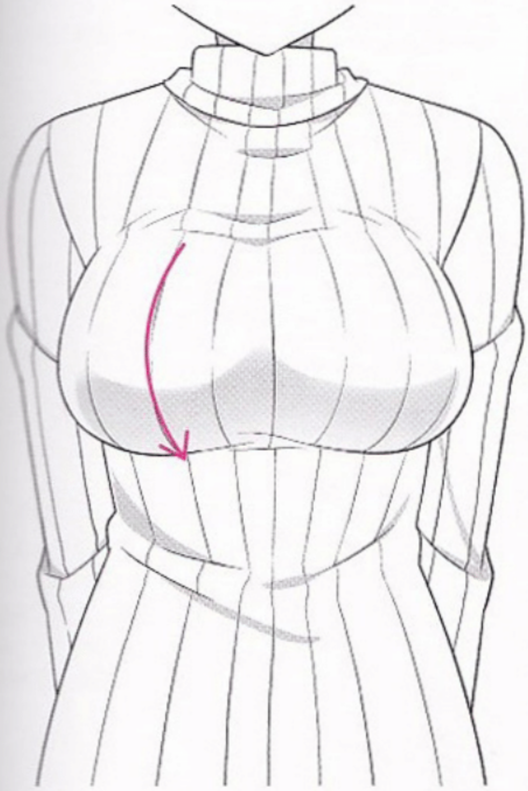
服を着た状態　　**服の中**

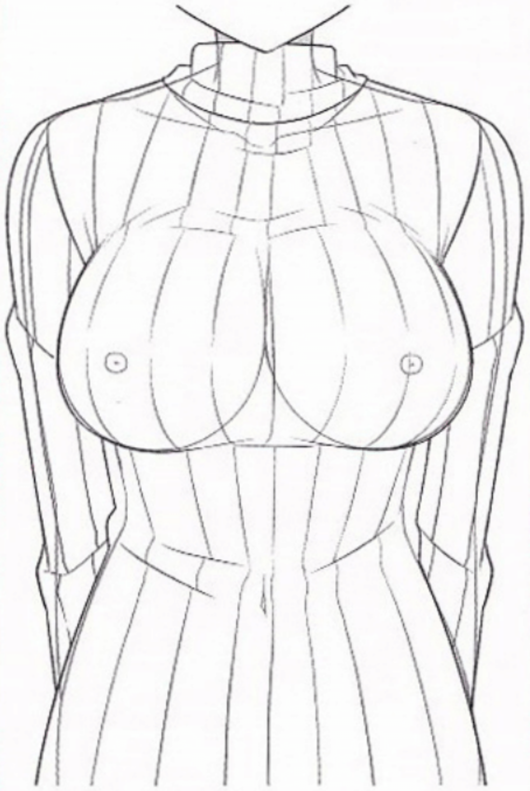




巨乳

おっぱいが大きくなり、縦ラインカーブは普乳よりはきつく、爆乳よりはゆるくなります。腰ラインの絞りはより強くなります。





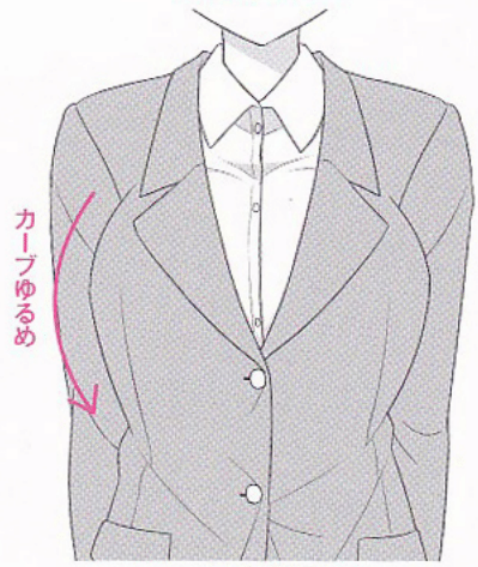
巨乳(乳袋有り)

乳袋はシャツなどと同様で、ラインを無視しておっぱいを描きます。腰のラインの絞りは強めで、下のほうは影になります。

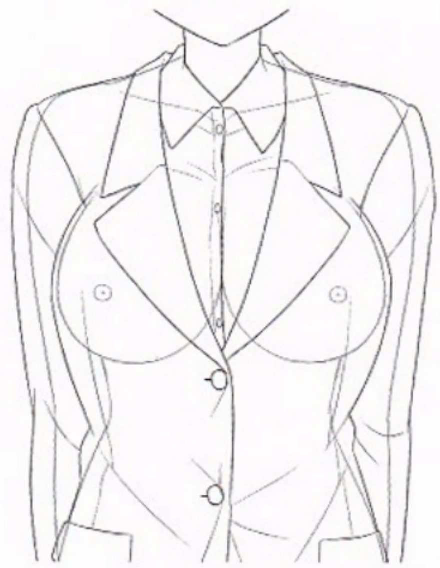
硬い生地の服を着た場合

ブレザーや和服などの硬い生地を着た場合のポイントです。生地の保持力が高いので、
普通のおっぱいや微乳の場合は男性と同様の作画になります。

服を着た状態

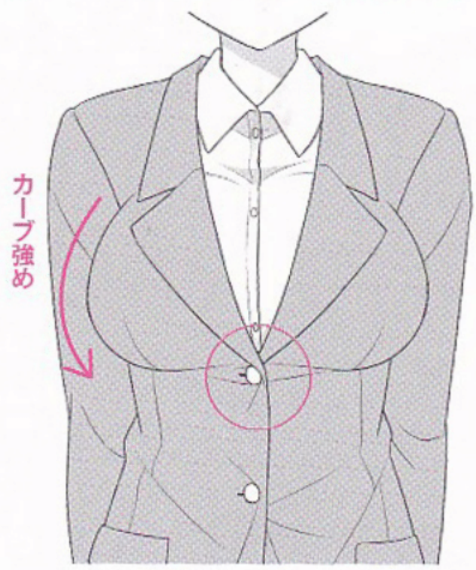


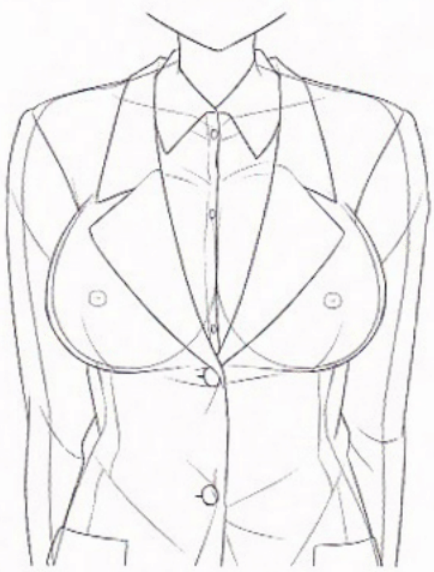
服の中



巨乳の場合

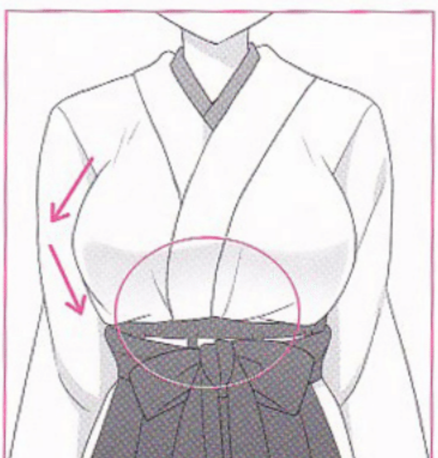
セーターなどと違い、縦ラインが少ない衣装は外側のラインでシルエットを出し、おっぱいの部分全体で縦ジワを意識しましょう。





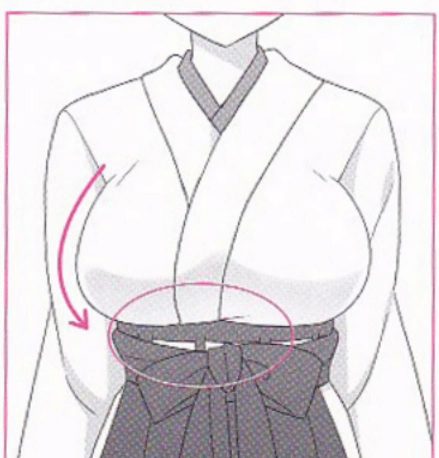
巨乳(乳袋有り)

乳袋はすべての物理法則を超越します。厚手の服でもおっぱいが手前に来るようなシルエットにしましょう。胸下の縦ジワも注意しましょう。



巫女(巨乳ver)

厚手の和装の例で巫女バージョンの巨乳です。やはり身体の横にある線でおっぱいのサイズを、帯の部分のシワでウエストの絞りを表現します。



巫女(乳袋ver)

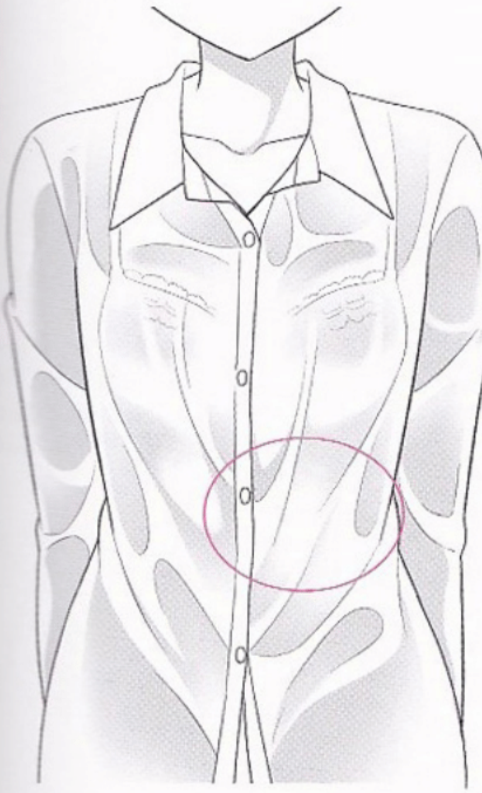
乳袋では逆にウエストのシワを描かずに、パンパンに張った感じを表現します。横のラインにもちろん強調して描きます。

水に濡れた服

漫画などでよく見かける、水濡れの描き方です。なかなか難易度は高いように見えますが、布に密着している部分は色を付け、布から離れている部分は白くすることで張り付き感を表現することができます。

濡れた服を着た状態

服の中

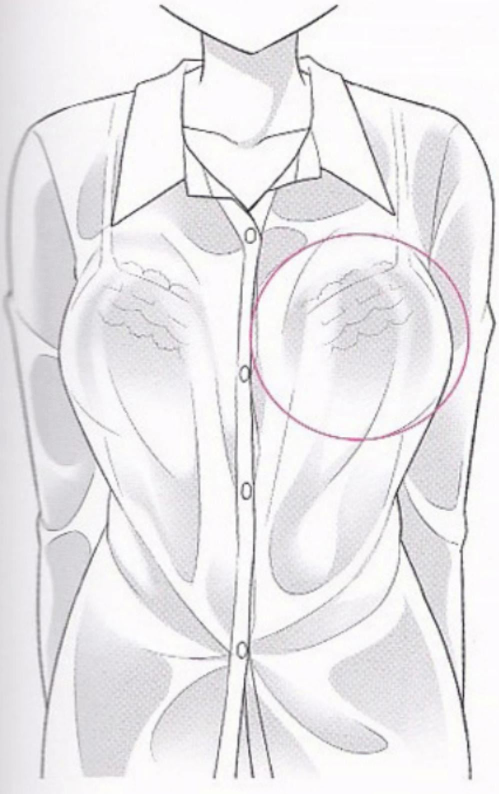






微乳の場合

おっぱいが小さくなればなるほど、布はおっぱいに張り付きます。また、トップとアンダーの差が小さい微乳は、胴体の部分の布の変化が少なくなるので、比較的まっすぐな縦ジワを描き、肌から離れてる部分(＝白く残す部分)の面積を少なくするようにしましょう。







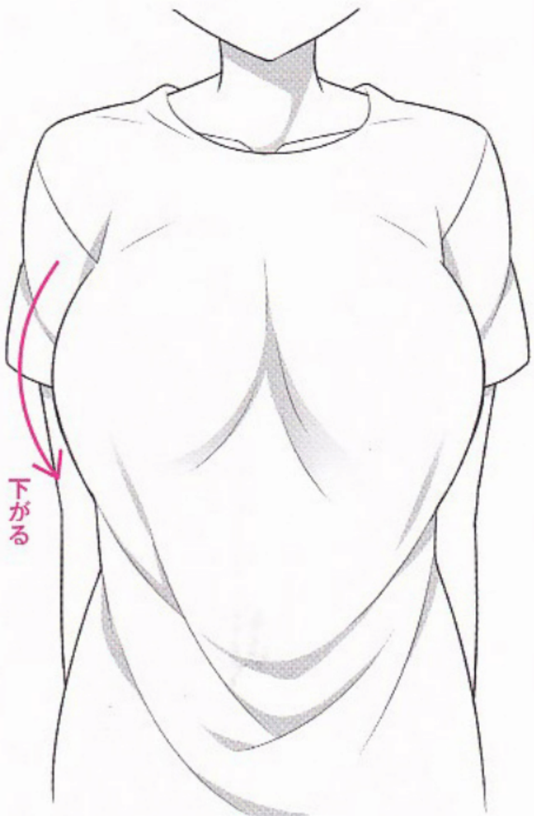
巨乳の場合

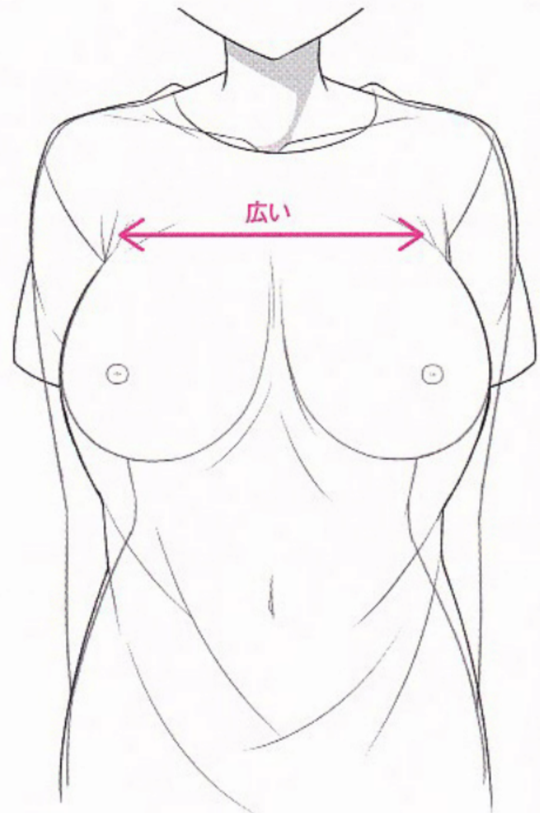
逆におっぱいが大きくなるほど、布と体の間に空間が増えます。そのため、おっぱいの上部〜トップはブラが布に密着し、それ以降は肌から離れている部分の面積が大きくなるのが特徴です。また、巨乳の場合は布のトップとアンダーの差が激しいので、縦ジワが胸の形にそってカーブするようにして描くといいでしょう。

ブラなしの着衣

お風呂上がりや、寝起きのシーンに使えるノーブラの表現です。おっぱいの高さと幅の差で、布の下に隠されたおっぱいの状態を表現することができます。

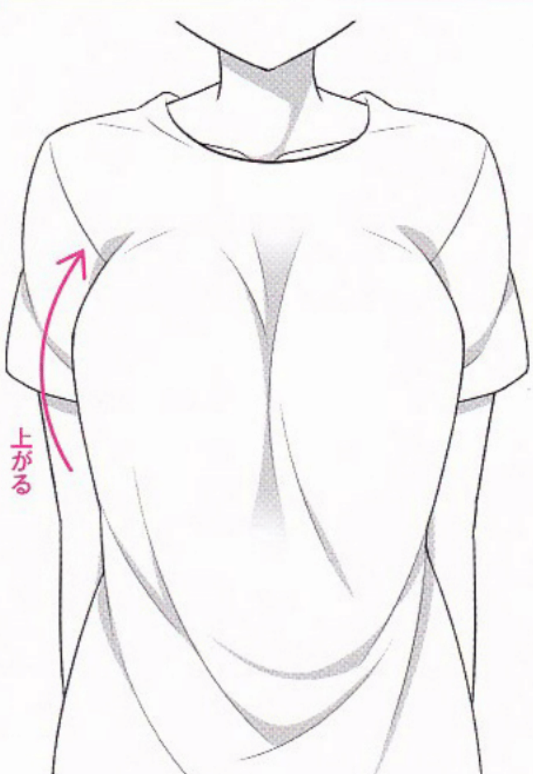
ブラなしの状態

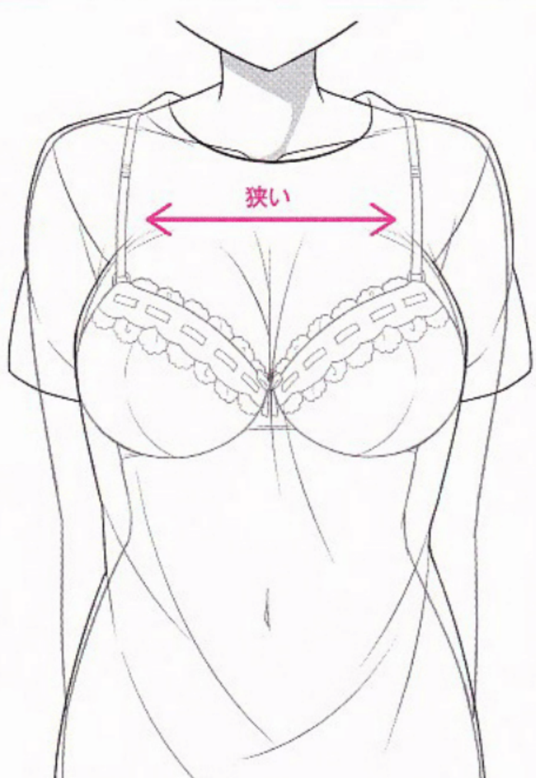




ブラがないので、おっぱいは自重で下に下がります。その際に左右に広がるので間隔も広くなります。

ブラをつけた状態





ブラをつけているとおっぱいは上に上がります。さらにおっぱい同士は寄せられるので間隔が狭くなります。

ブラ透け、乳首透け

最後に下着や乳首が透けて出る服の作画ポイントをまとめておきます。
いずれもラインがどう出るかに注意します。

ブラ透け

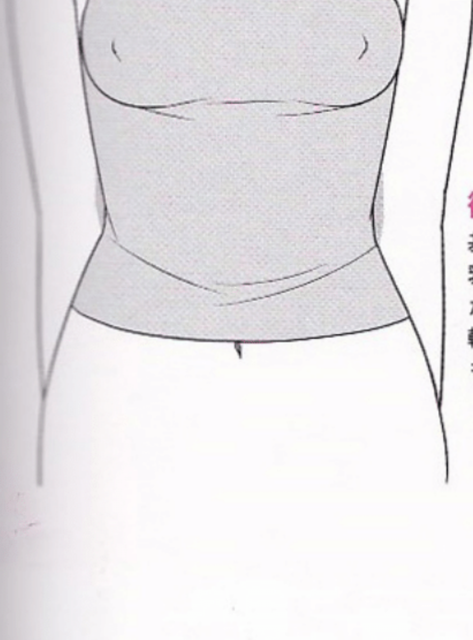


微乳の場合
ブラの模様のみが下に透けて出ます。ラインなどに変化はありません。

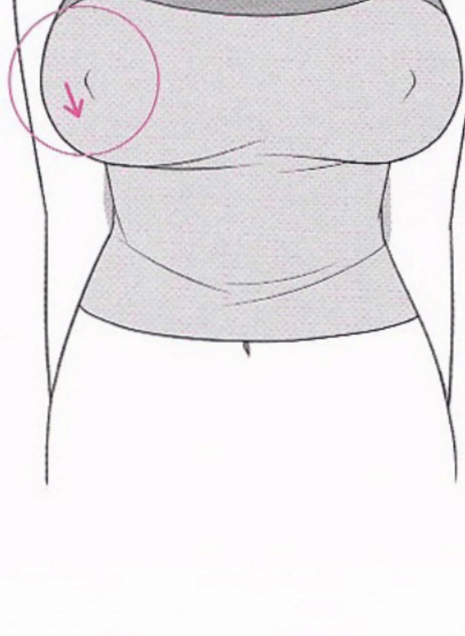


巨乳の場合
おっぱいのラインを描きつつ、押し出されるブラの模様をより鮮明に描き込みましょう。

乳首透け

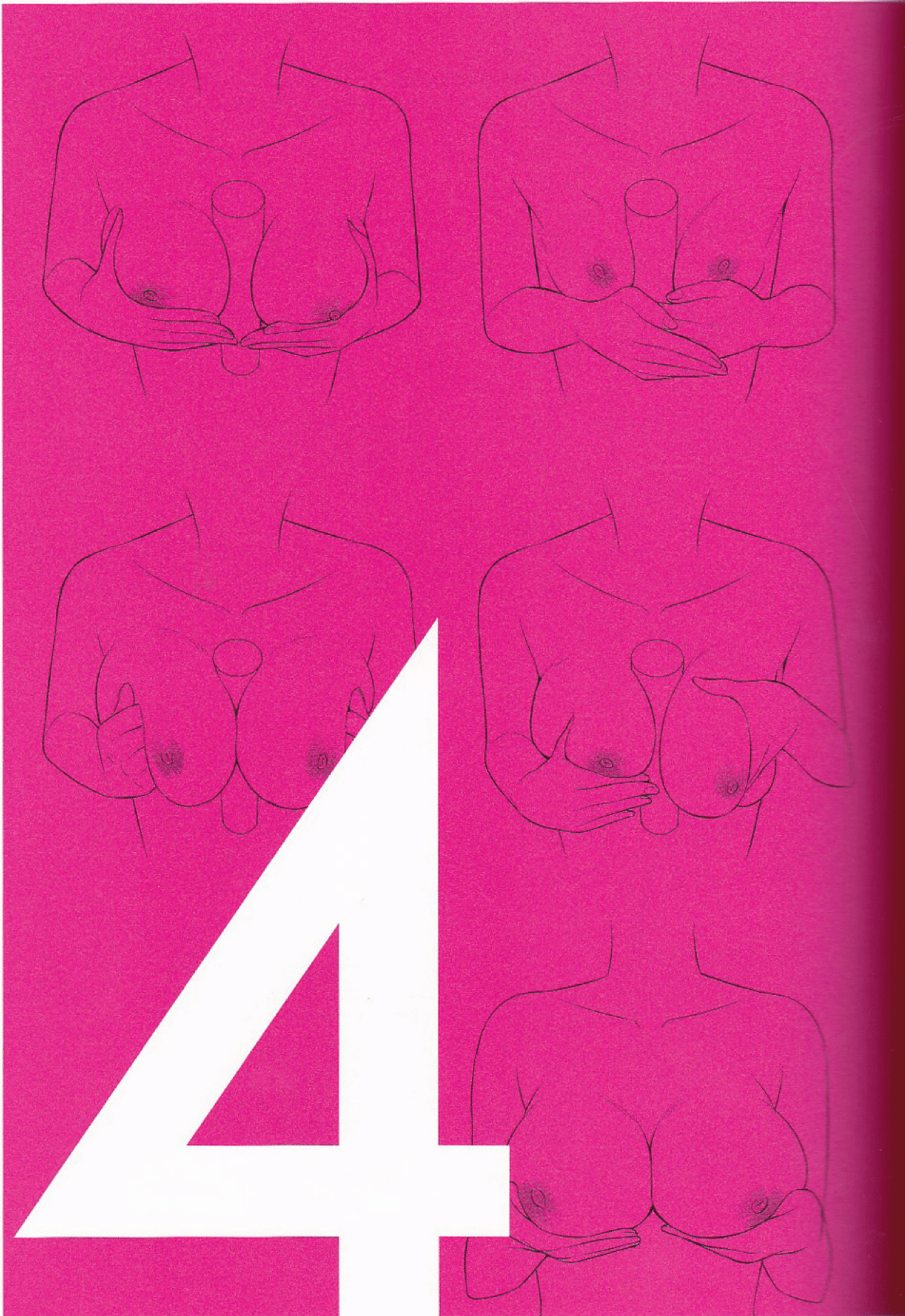


微乳の場合
基本的には服の上に乳首の影を描き足すだけで表現します。乳輪が透け見える場合も。



巨乳の場合
こちらは乳首をポチッと描いたあとに布の線を少し描き足します。

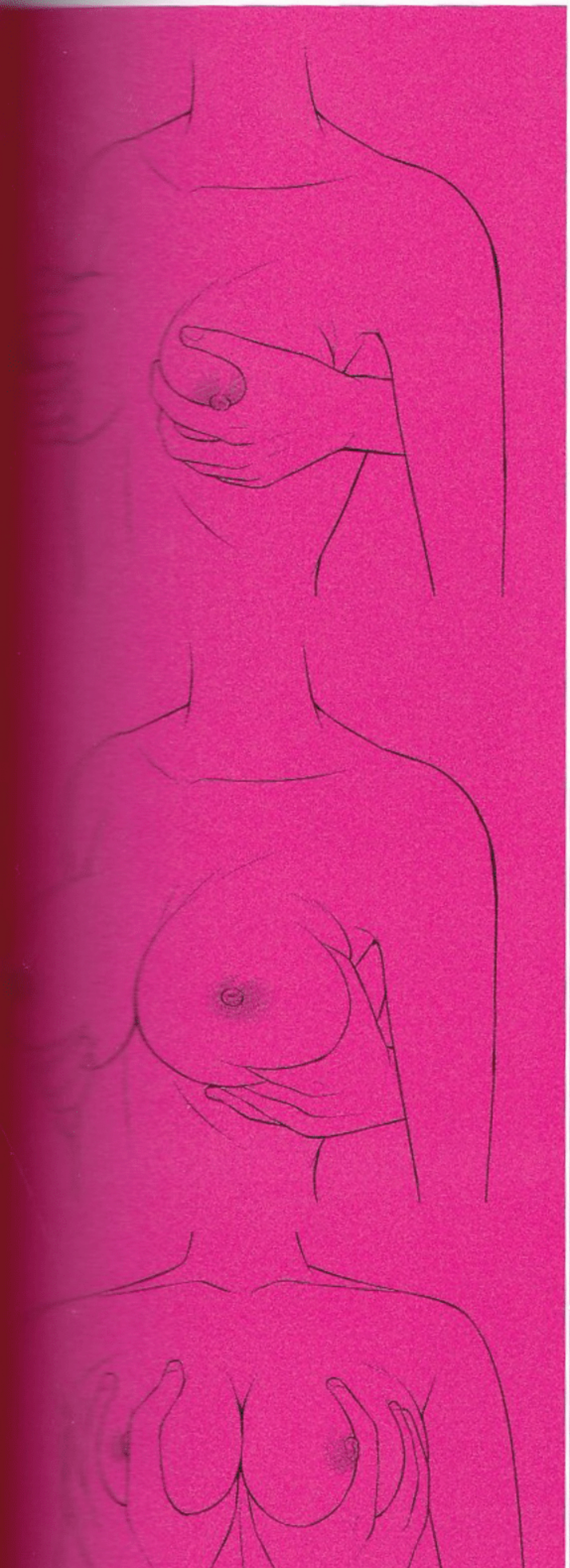
4

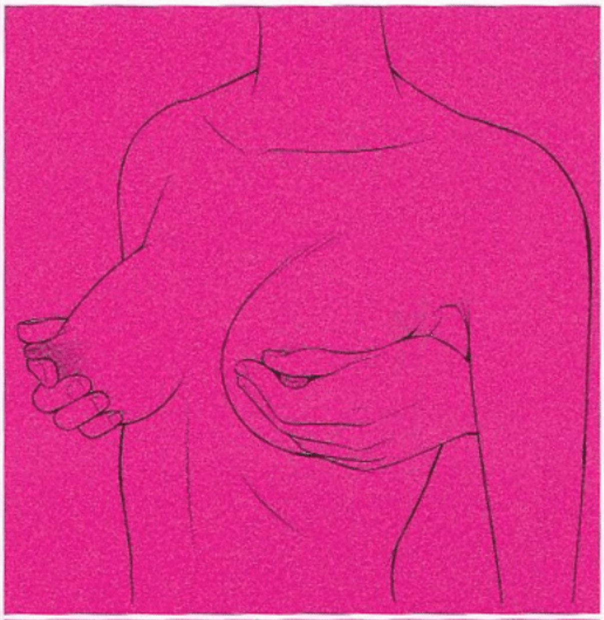


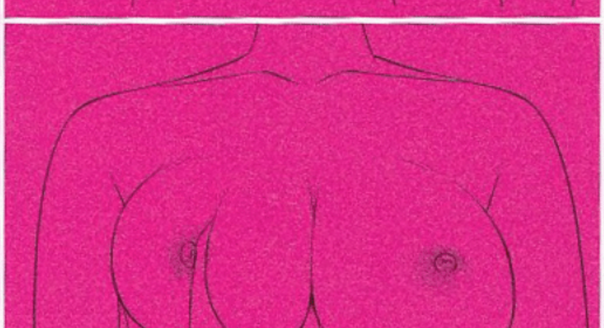
Part_4

おっぱいの動き方とポージング

さぁ、ここからはいよいよ実践編です。立体物であるおっぱいが様々なシーン、シチュエーション、アクション時に「どう変化するか？」「どう描くか？」という部分にスポットして解説していきます。動きやすく変化しやすいおっぱいの形に挑みましょう。



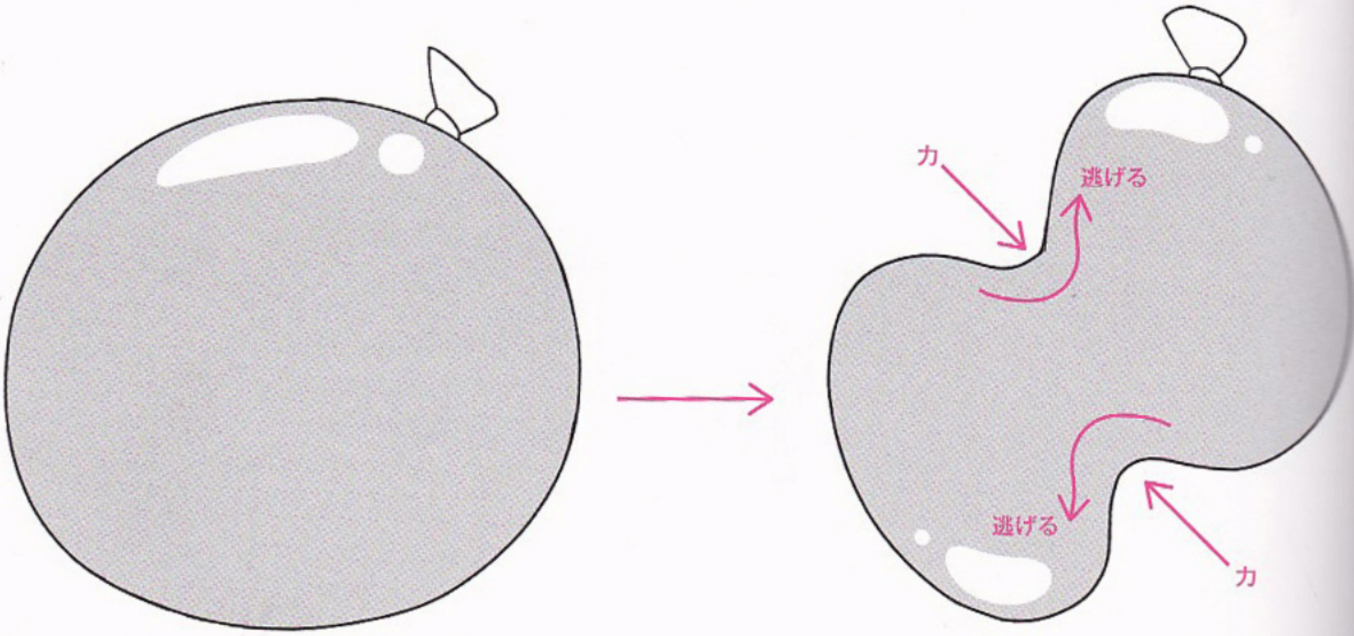




おっぱいを揉む

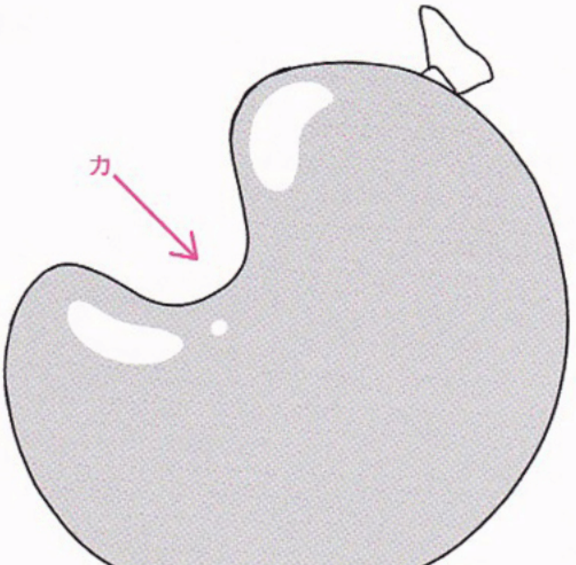
まず手でおっぱいを揉むシチュエーションです。脂肪の塊であるおっぱいは手で揉むことにより変化します。不自然な形にならないよう、概念をよく理解して描くようにしましょう。

おっぱいとは水の入った風船のようなもの



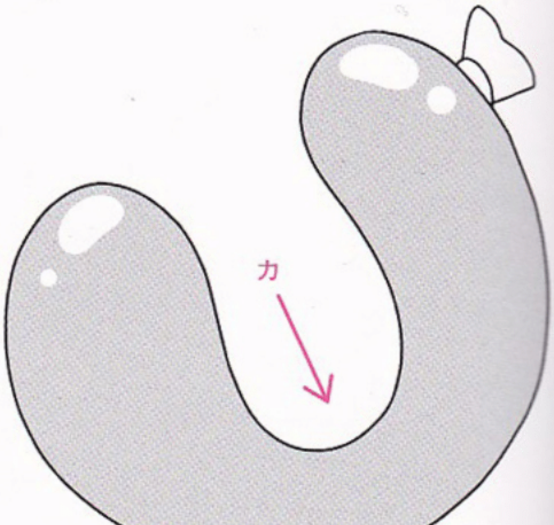
おっぱいの皮は硬い入れ物でなく、伸縮性のあるゴムのようなイメージです。力をかけると、中の柔らかい部分は逃げます。

NGなおっぱい



×低反発おっぱい

低反発枕のように力が加わったところだけ凹んでいると硬く見えてしまうので注意です。



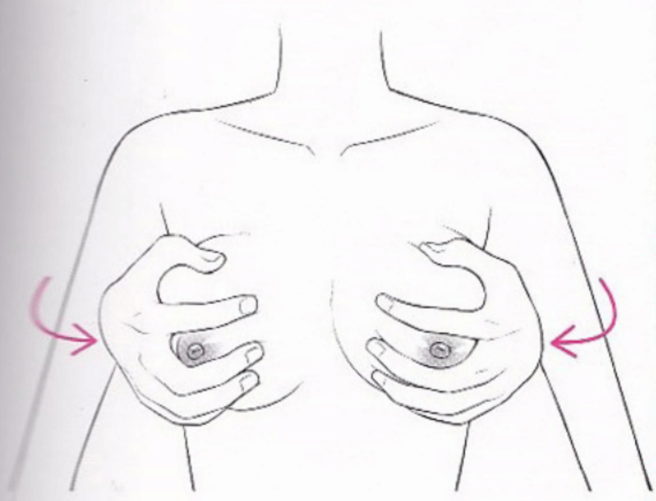
×ぐんにゃりおっぱい

凹んだ部分がえぐれたように描いてしまうと更に硬そうに見えてしまいます。

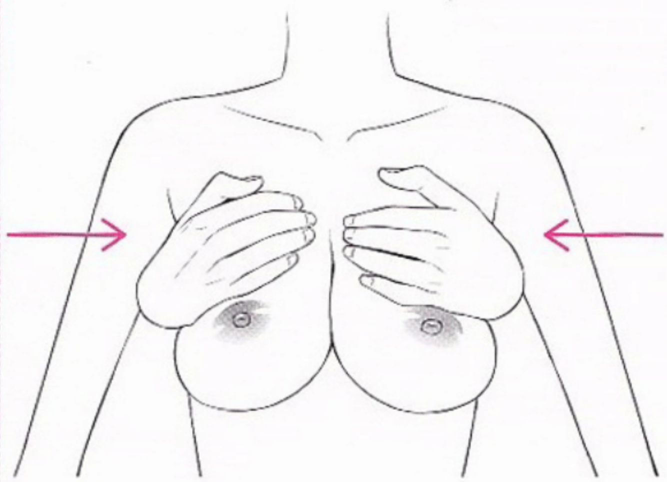
次のページからは中が流動体のイメージを踏まえて描いていきます➡

おっぱいを揉む・触る(他人の手の場合)

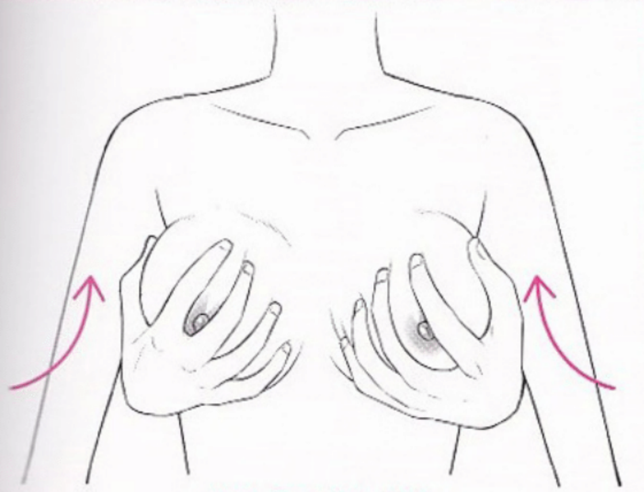
指の間の乳首の見せ方、おっぱいの位置の変化(寄せる、離れる)、シルエットの変化に気をつけましょう。
乳首をつまんで引く際は乳輪にシワを描くと感じが出ます。



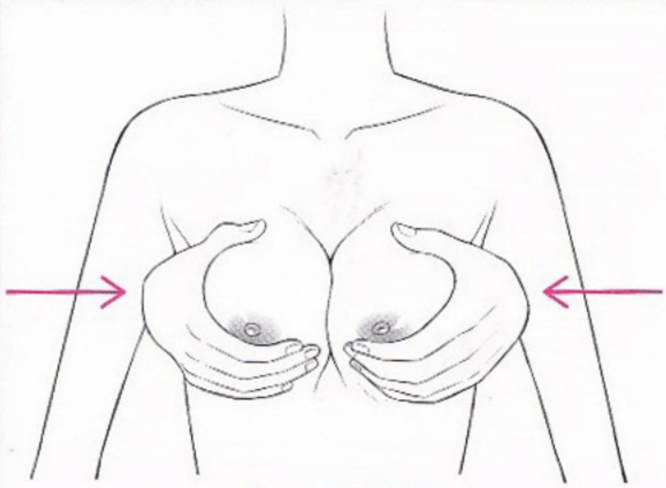
後ろから触る



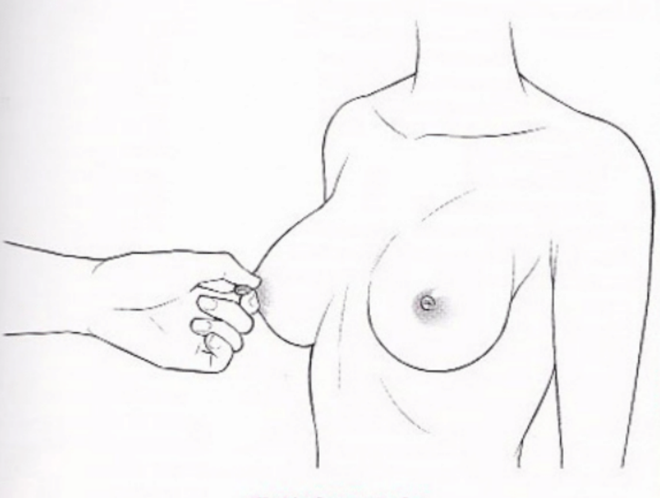
ぎゅっと寄せ



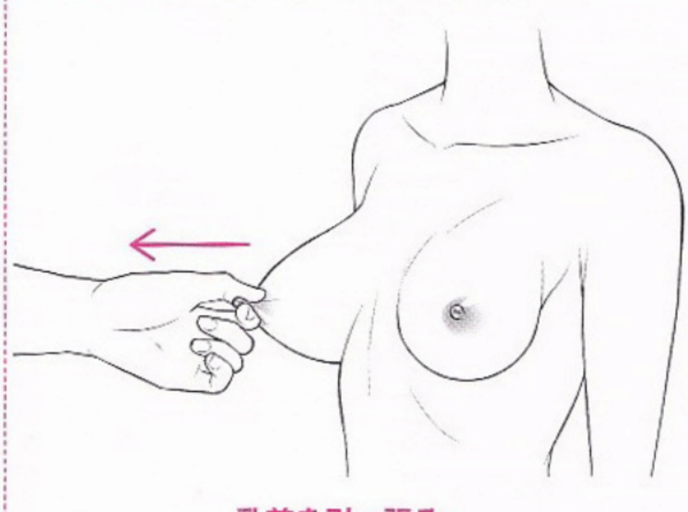
後ろからわし掴み



ぎゅっと寄せ 2



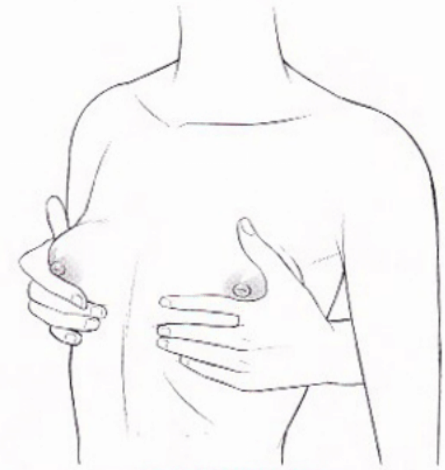
乳首をつまむ



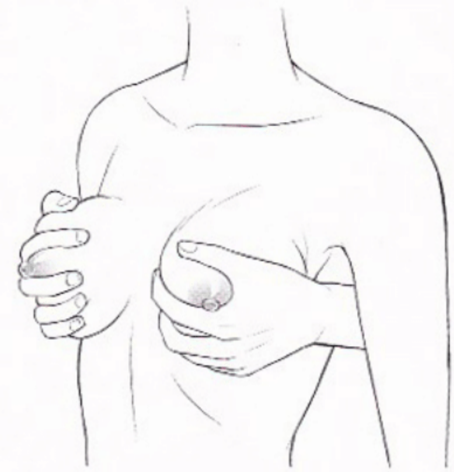
乳首を引っ張る

おっぱいを揉む・触る(他人の手の場合)2

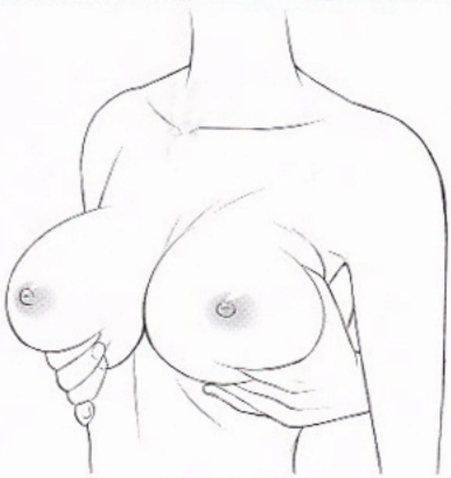
普乳なら手の形はボールを掴む感じでまるく。小は手の形が平べったく。大ならおっぱいの下に手が入る感じです。



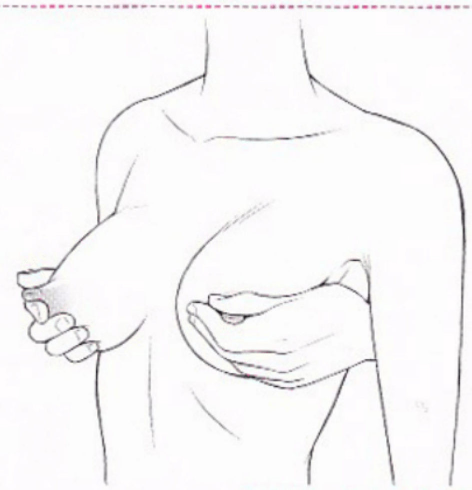
モミモミ微乳



モミモミ普乳



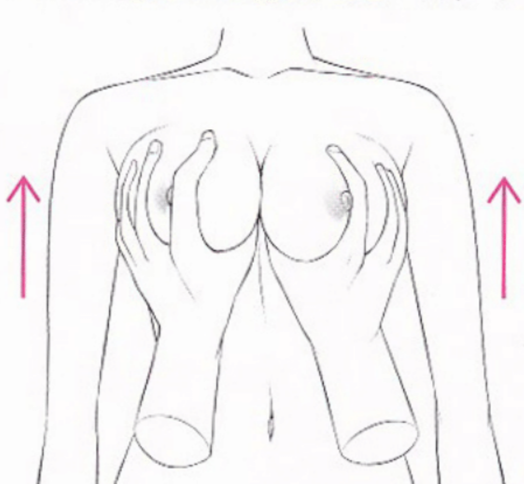
モミモミ巨乳



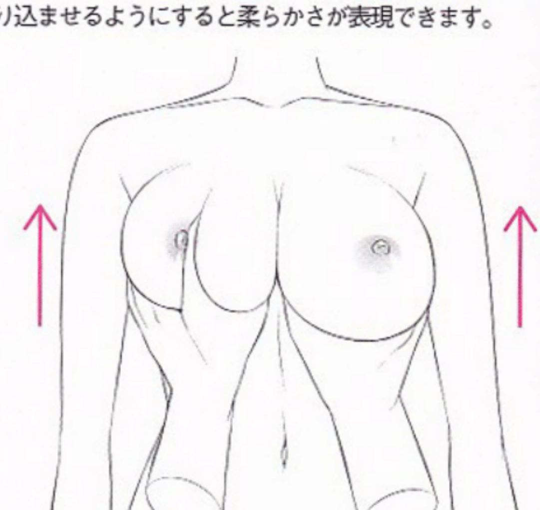
バリエーション　乳首つまみモミモミ

おっぱいを持ち上げる(他人の手の場合)

おっぱいを下から持ち上げるシチュエーションです。いくつかの指先をめり込ませるようにすると柔らかさが表現できます。



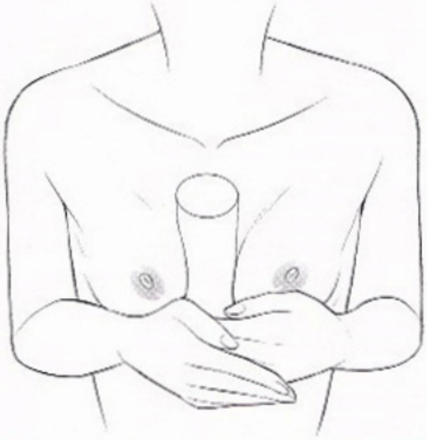
普乳



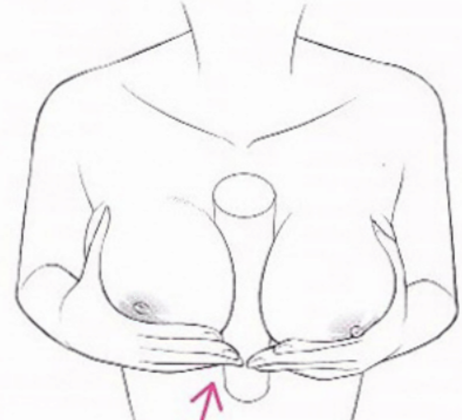
巨乳

おっぱいで挟む

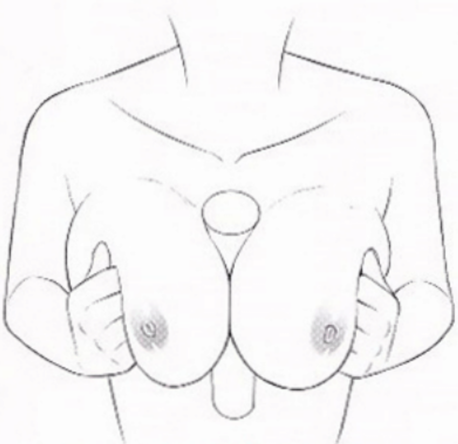
サイズで手の位置と挟む物の埋もれ方が変化します。手とおっぱいの位置に注意。小さい場合は手で押さえます。



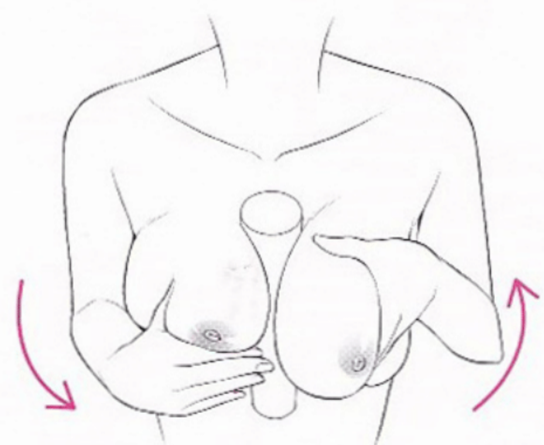
微乳 挟むおっぱいがないので、手で支える



普乳 やや指先で支える



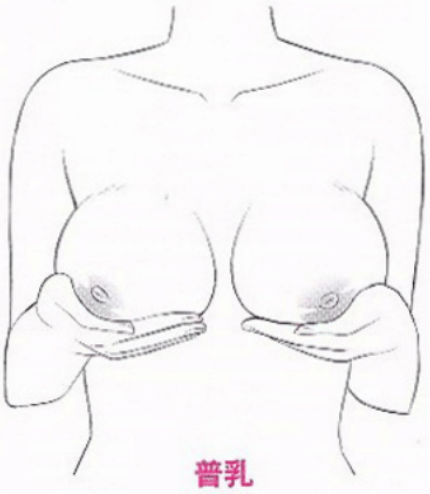
巨乳 余裕で挟むことができる



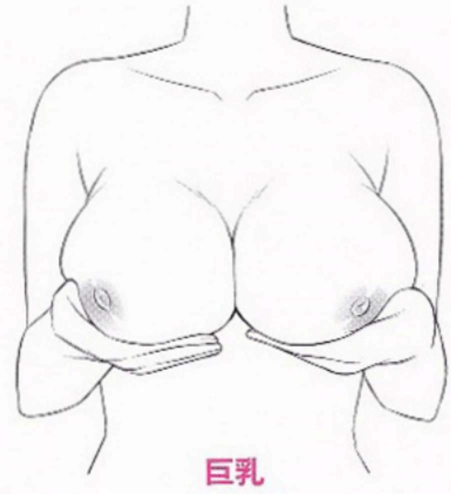
バリエーション 挟んで動かす

おっぱいを持ち上げる

自分で持ち上げる場合です。普乳だと指の食い込みが浅く、また乳を持ち上げるので少し円気味に。
巨乳の場合はさらにまるくし、指の食い込みを深くします。



普乳



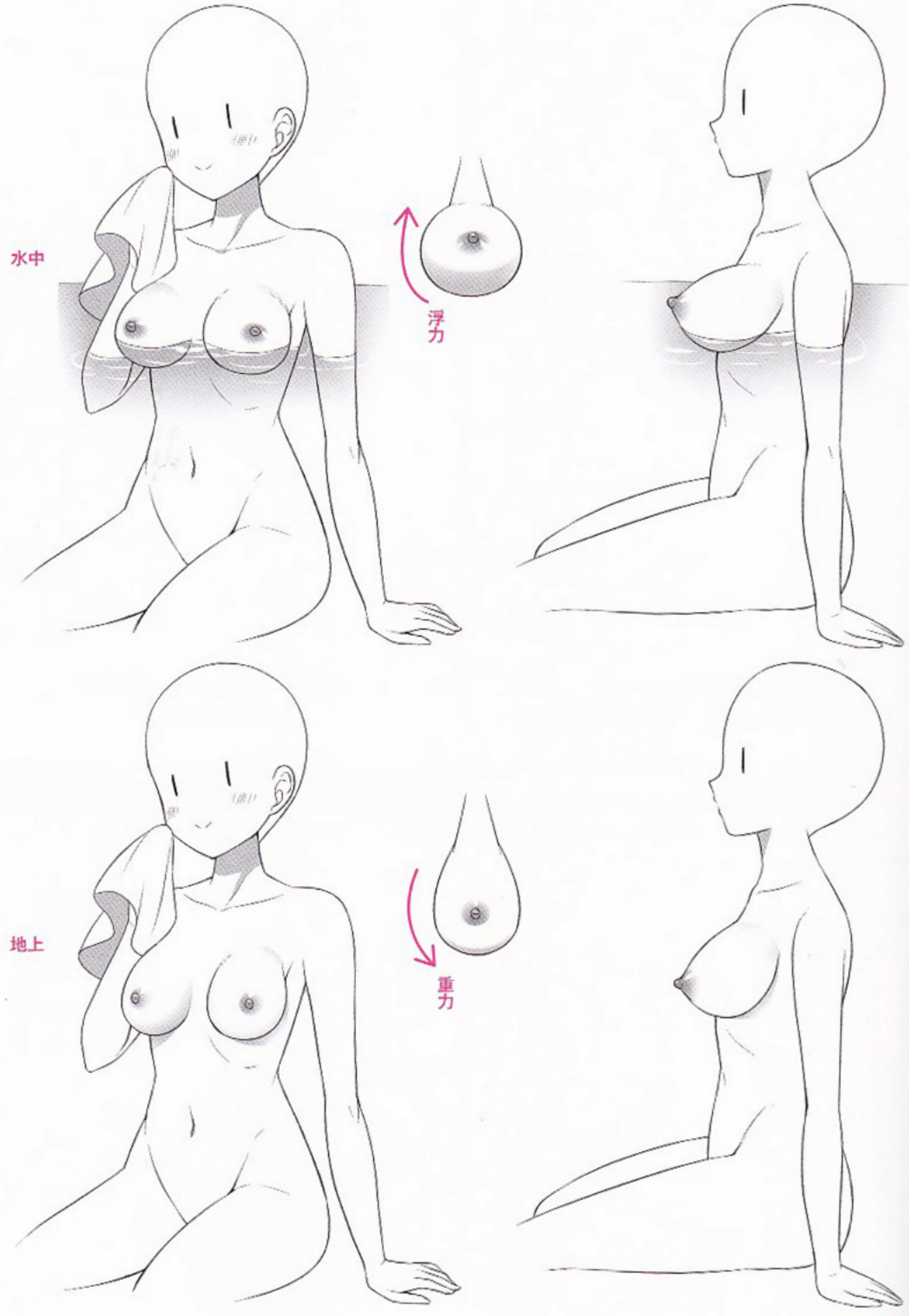
巨乳

水中でのおっぱい

**脂肪は浮力があるのでおっぱいも水中では少し浮きます。
おっぱいを円ととらえて形をイメージするとわかりやすくなります。**

普乳

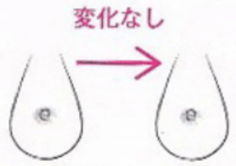
普乳はある程度のサイズがあると重力に逆らえず下に下がって楕円になります。しかし水中では浮力があるので、正円に近い形に。



微乳

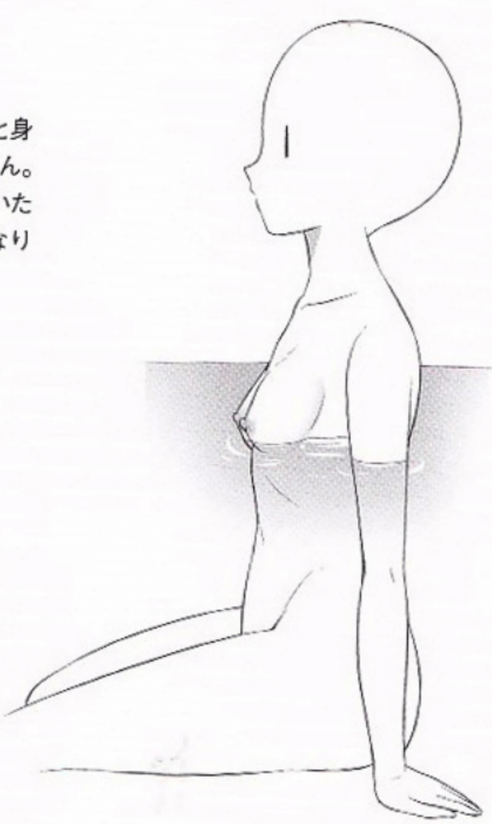
微乳は脂肪の量が少なく、ホールド力も高いので浮くことはありません。基本変化なしと**考え**ましょう。





普乳と比較するとおっぱいと身体との隙間があまり出ません。おっぱいが身体から離れないため、形の変化がつきにくくなります。



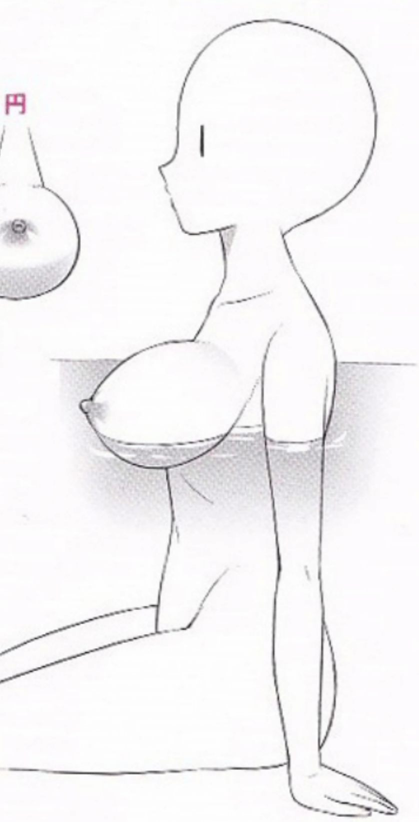


巨乳

普乳と同じく、重力の**影響**が軽減されるため、楕円から円へと変化します。つまり地上よりもボリュームがあるように見えます。







おっぱいの動き（走る）

走るときに動くのは手足だけではありません。おっぱいも動きます。スポーツブラなどでホールドしている場合は別ですが、ビキニ、ノーブラ、全裸などで走らせるときはこの動きも計算して作画するようにしましょう。

普乳の場合

おっぱいは運動に対して斜めに動きます。乳首と乳房の位置を上下に配置すると躍動感が出ますが、やりすぎに注意します。



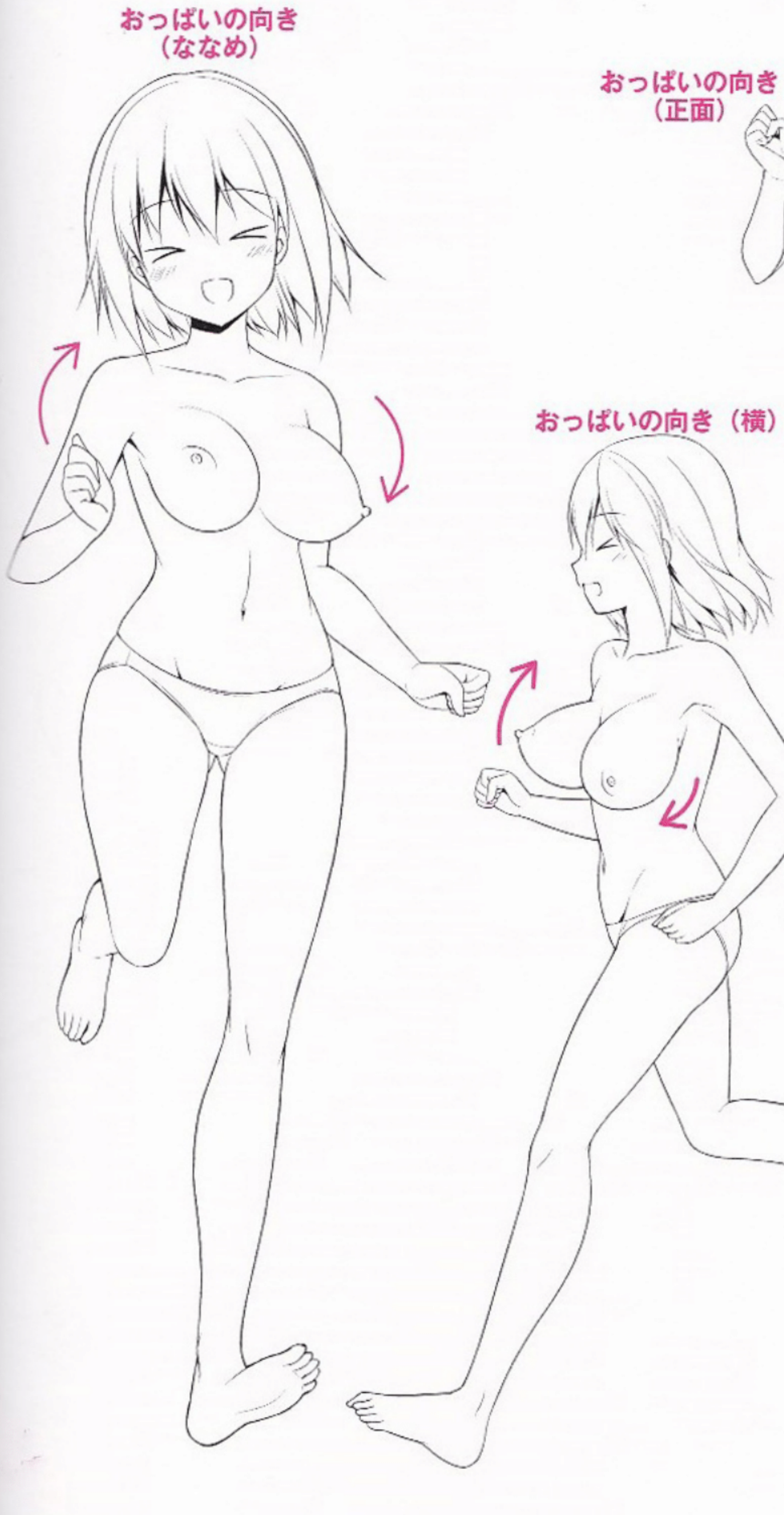




巨乳の場合

より顕著に変化が出ます。特に上下に振れたときの差が大きいので、意識して描くようにしましょう。



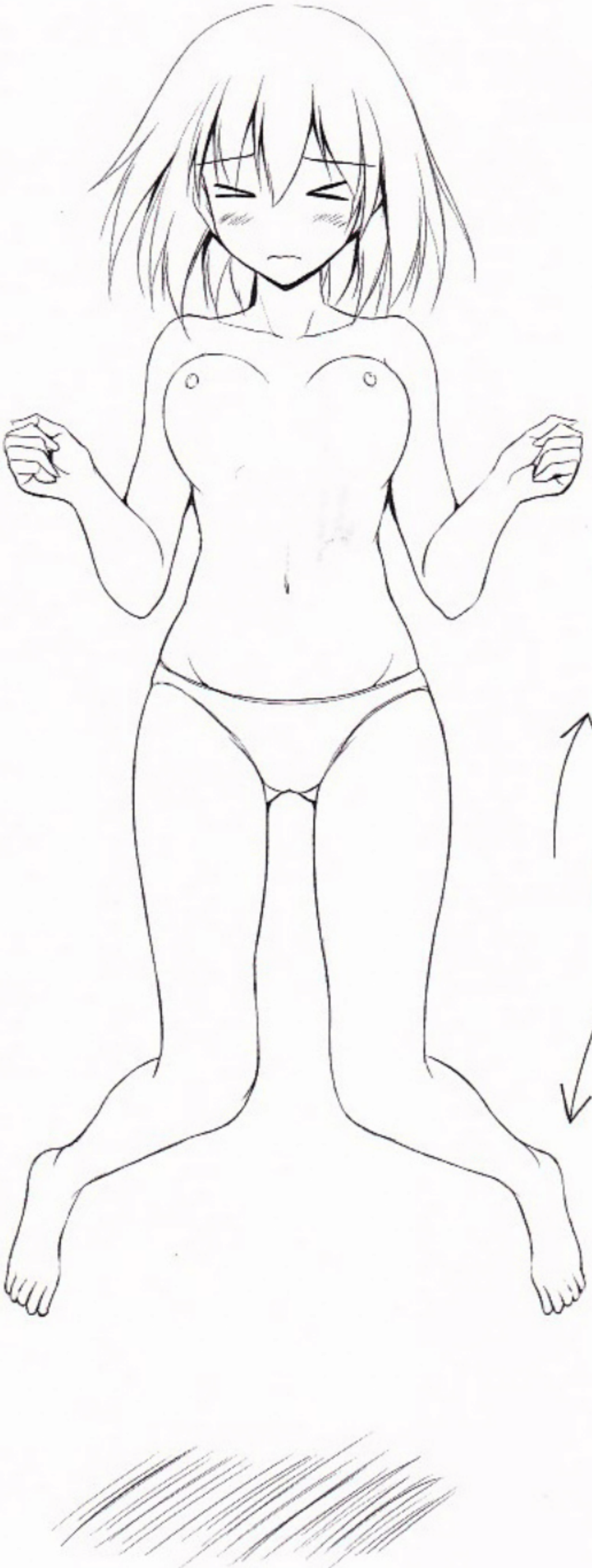


おっぱいの動き（ジャンプ）

キャラクターがジャンプして、落下する際のおっぱいの動きです。全体的におっぱいは身体の動きから ワンテンポ遅れるイメージで作画するようにしましょう。

普乳の場合

動きのある部分がそんなに大きくはないので、向きが変わる程度の感覚で描きましょう。





1 ジャンプした直後は慣性が働き、おっぱいは下へ寄せられます。



2 ジャンプの頂点から下がるときはおっぱいは上向きの状態です。



3 着地した少しあとに、おっぱいはまた下に寄せられます。



巨乳の場合

巨乳は大きさを出すため、動きをより大きくします。乳首の位置によって、
ジャンプのスピード感をうまく表現しましょう。

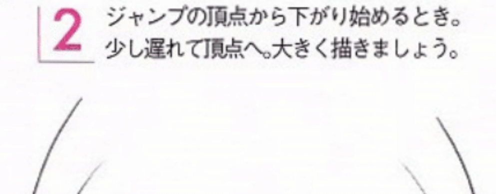




1 ジャンプした直後の状態。慣性でおっぱいは普乳より下へ寄せられます。



2 ジャンプの頂点から下がり始めるとき。少し遅れて頂点へ。大きく描きましょう。



3 着地した少しあとに、おっぱいは大きく下に寄せられます。重さで伸びるイメージ。



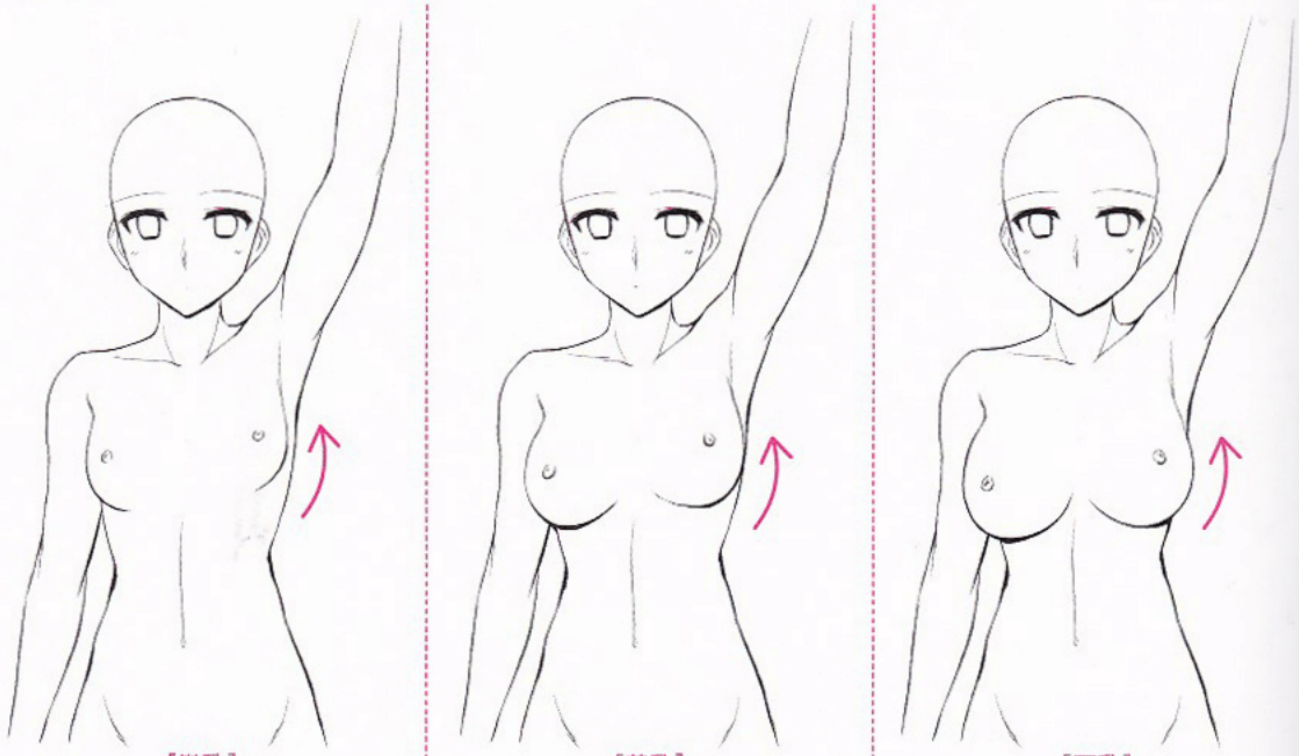
腕とおっぱいの動き

**おっぱいは大胸筋の上についているので、腕の動きの影響を大きく受けます。
逆に腕の動かし方に合わせて作画することで、リアリティを出すことができます。**

1 腕を上げる

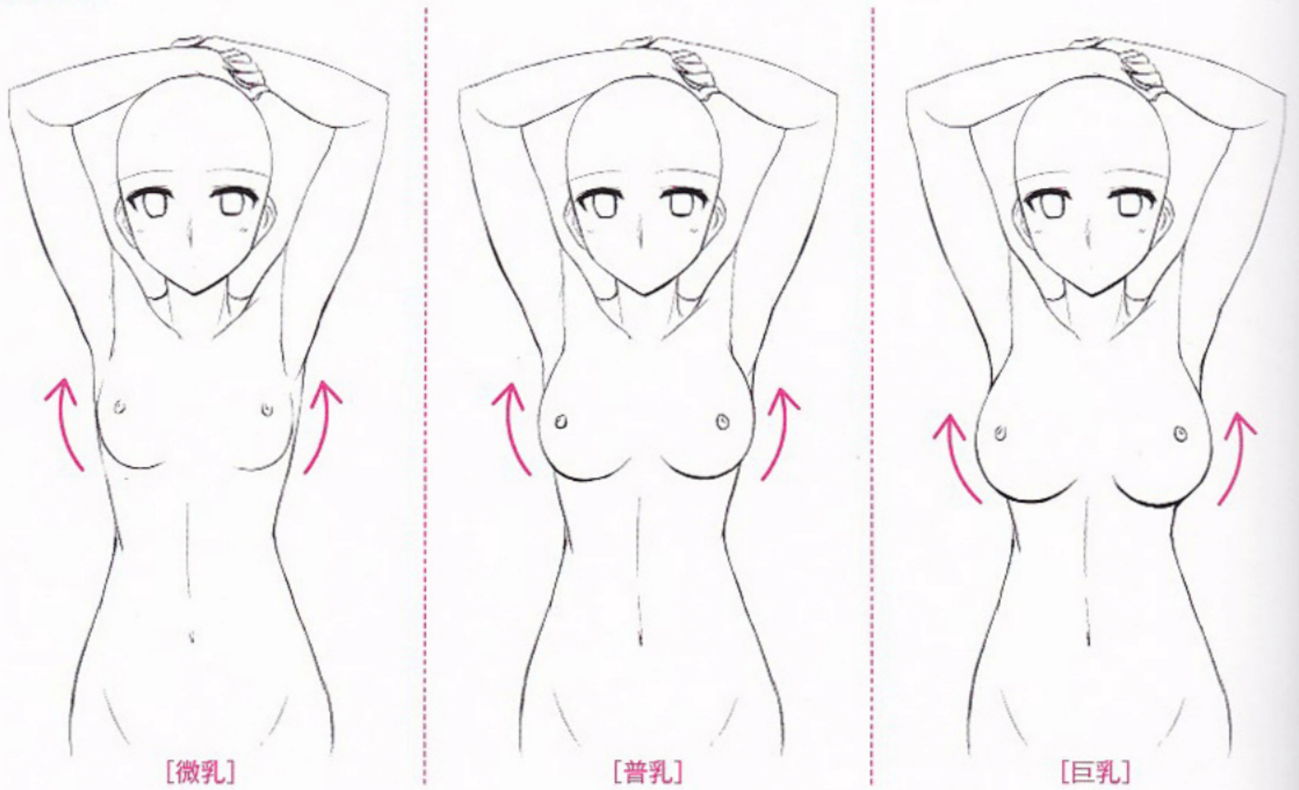
片腕上げの場合は腕を上げている側のおっぱいも合わせて上げるのがポイントです。両腕の場合は乳首と乳房のラインを上に上げましょう。微乳はウエストのラインからあまり乳房の線をはみ出させないほうがいいでしょう。

片手上げ



[微乳] [普乳] [巨乳]

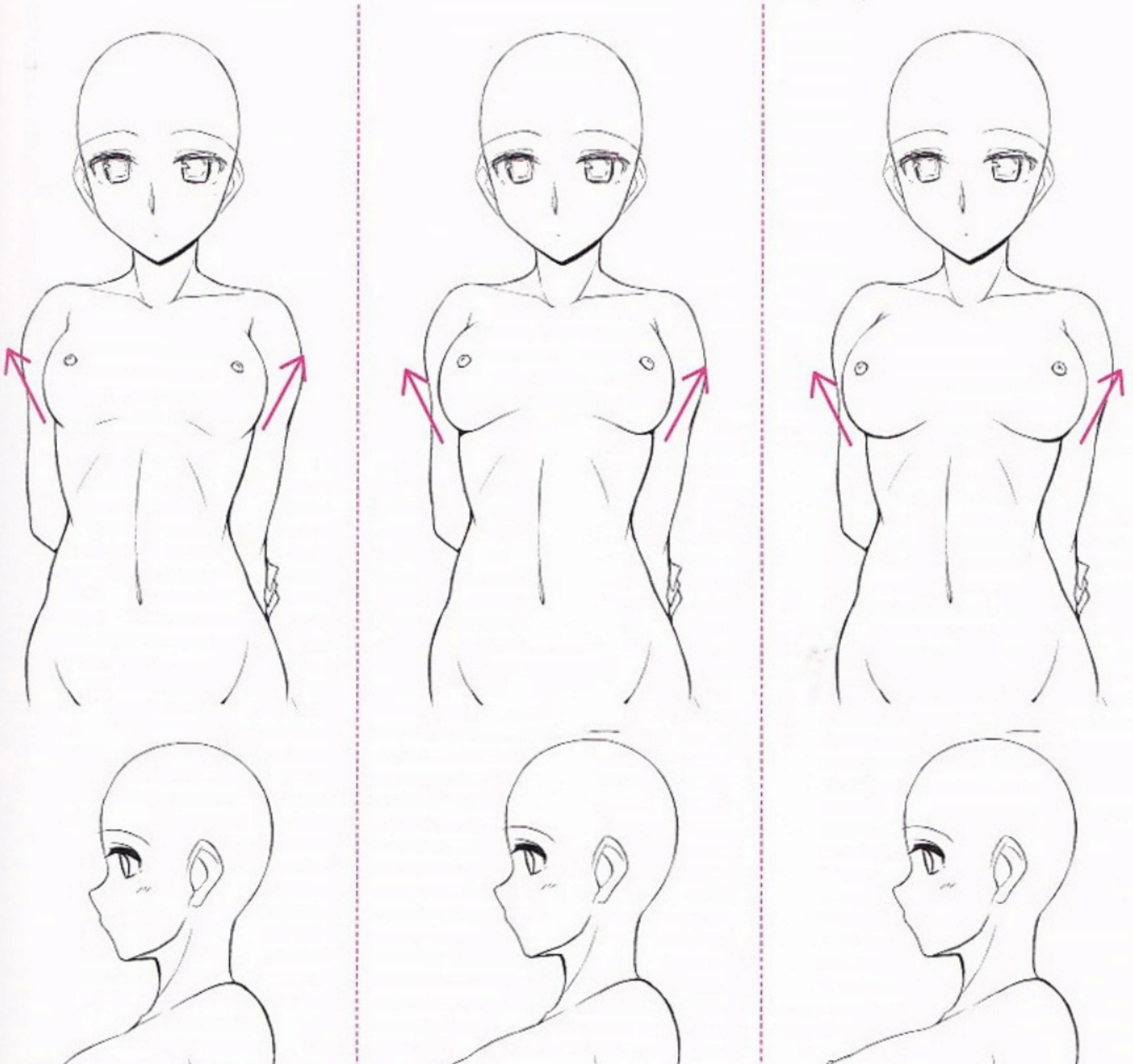
両手上げ



[微乳] [普乳] [巨乳]

2 後ろ手におっぱいを突き出す

腕を後ろに下げているので、突き出したおっぱいの下ラインがウエストラインに影響されます。肋骨からウエストの形状に合わせるようなイメージ(側面も同様)。普乳、巨乳は若干「胴からこぼれ落ちる」ことを意識しましょう。

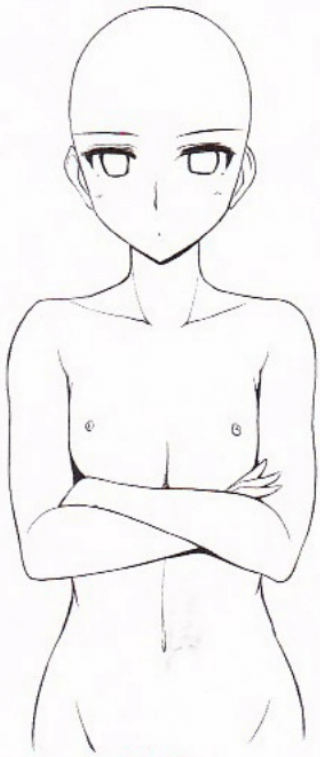


[微乳] [普乳] [巨乳]

3 腕を組む・腕で挟む

微乳は腕からはみ出ることはほぼありませんが、おっぱいがやや中心に寄せられます。普乳は腕に収まりきらず、腕よりも前に線を描きます。巨乳は大きさを強調するため、腕に乗せるように描きましょう。

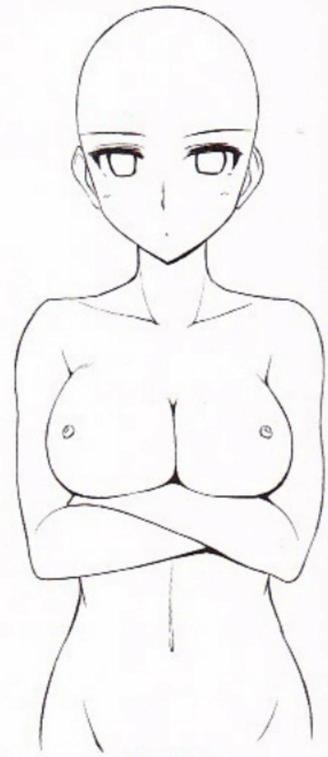
腕を組む



［微乳］



［普乳］

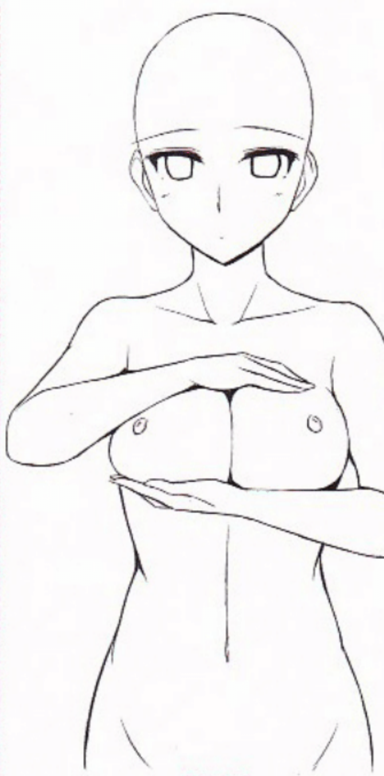


［巨乳］

腕で挟む



［微乳］



［普乳］



［巨乳］

4 手で挟む、手を添える

おっぱいを寄せることで谷間が発生します。巨乳に関しては谷間の圧迫度が増す感じです。
手を添える際は添える＋持つイメージで描きます。巨乳は手からこぼれ落ちるような感じにしましょう。

両脇から手で挟む



[微乳]



[普乳]



[巨乳]

下乳に手を添える



[微乳]



[普乳]



[巨乳]

5 仰向けになる

仰向けになると、おっぱいはつきたての餅のように均等に重力を受けて広がります。立ってるときと同じおっぱいにするとリアリティが失われるので要注意です。また、大きさを表すため、身体の外側にこぼれるイメージで描きましょう。



［微乳］



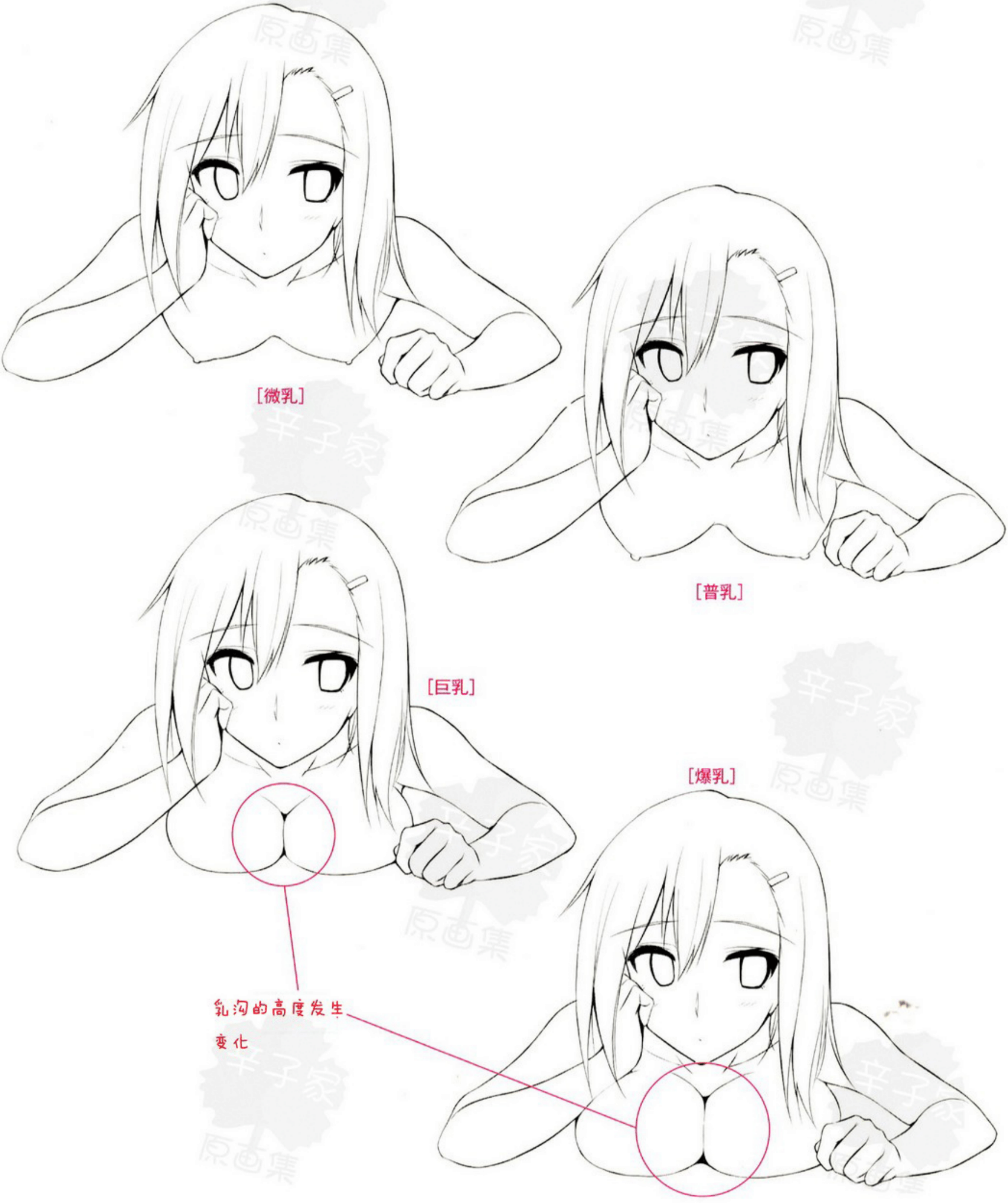
［普乳］



［巨乳］

6 うつぶせになる

趴着的时候要注意正下方的重力进行作画。胸部碰到地板、坐垫以及其他人的身体时，胸部会被自己的身体以及下面的物体所夹着，请配合不同胸部来进行反应吧。



おっぱいとポーズ

腕とおっぱいの関係が理解できたところで、全体のポーズについても紹介します。

1 よつんばい(前)

形状の変化、重力の影響などはうつぶせのときと同様です。原則、何かに当たることはないので、
大きさに合わせて下に伸びます。



[微乳]



[普乳]



[巨乳]

2 よつんばい(後ろ)

背面から見たポーズになります。胴との境目のラインを薄く入れるとわかりやすくなります。



[微乳]



[普乳]



[巨乳]

3 その他のポーズ集

最後に作画時や撮影時などによく用いられるポーズのポイントを解説します。汎用性の高い部分なので、これをもとに応用ポーズを作っていきましょう。



半脱ぎ(または着衣)の衣服から半分はみ出したおっぱい。衣服によるつぶれ具合と境界線を意識して描きましょう。



半身をひねったポーズ。おっぱいと胴体の境界線がポイントです。女性らしく反った身体のラインでおっぱいを強調しましょう。



乳合わせと呼ばれるポーズです。お互いのおっぱいをくっつけるパターンと双方のおっぱいを互い違いに組み合わせるパターンがあります。リアリティよりも多少オーバー気味に。



俯瞰のポーズ。難しいですが、おっぱいを大きく強調できる構図です。パースをきつめにするとより効果的になります。

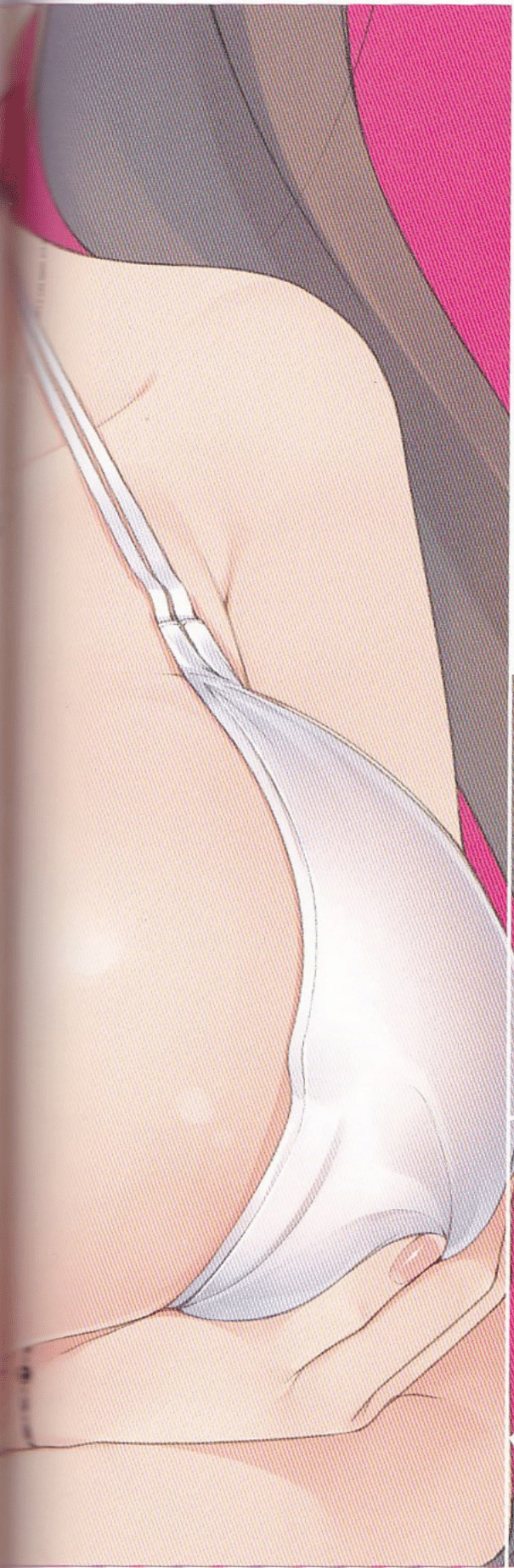


おっぱいを寄せるポーズ。谷間をより強調した、よく見かけるが魅力的な構図です。おっぱいを寄せる腕の位置に注意です。



寝そべるポーズ。向かって右は重力で垂れる、左は地面でつぶれているというように、左右のおっぱいに変化をつけて柔らかさを表現しましょう。





Part_5

表紙イラストメイキング

ここまでは個別のおっぱいの作画方法について解説してきましたが、最後にまとめとしてカラーも含めた一連の描き方を説明していきます。ねこうめ先生によるメイキングと解説も必見です。ぐっとテクニカルになるので、しっかり身につけていきましょう。

5

表紙イラストメイキング

おっぱいの形にもイラストにも正解はありません。自分の中のイメージを固めて、嗜好を思考し、試行を重ねて至高のおっぱいに指向する。どれだけイメージに近づけるかが重要です。ここではより魅力的におっぱいを見せるポイントを解説します。



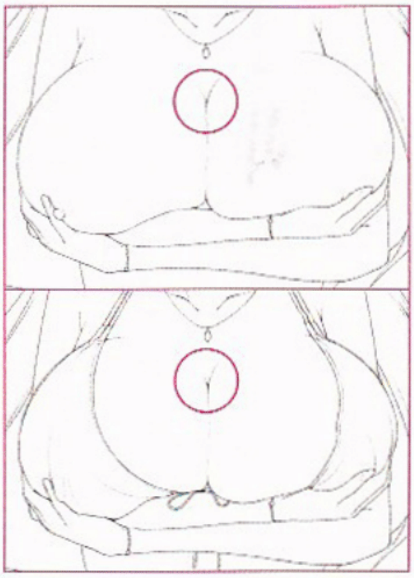
1

ラフを描きます。おっぱいをよりよく見せることを第一に、整って美しいおっぱいなのか、柔らかそうに変形するおっぱいなのか考えます。今回は後者です。



2

水着の下を想像してペン入れをしていきます。バストトップの位置を割り出すために球体をイメージしてガイドを入れます。



3

今回は差分を描きます。レイヤーを上に乗せるだけではなく、マスクを利用して裸の線を非表示にする部分を作り、食い込みや水着によって持ち上げられたり、変化する線を新規レイヤーに描き足していきます。



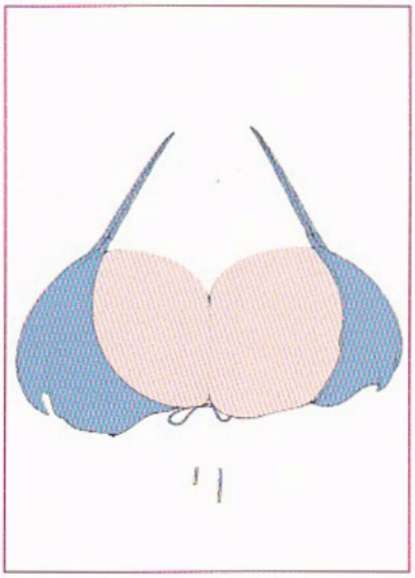
4

表情の差分も作ります。表情がおっぱいの魅力を100倍にも200倍にも引き上げてくれます。海産物は山から海に運ばれてきた栄養でより美味しく育ちます。そう、表情は山なのです。



5

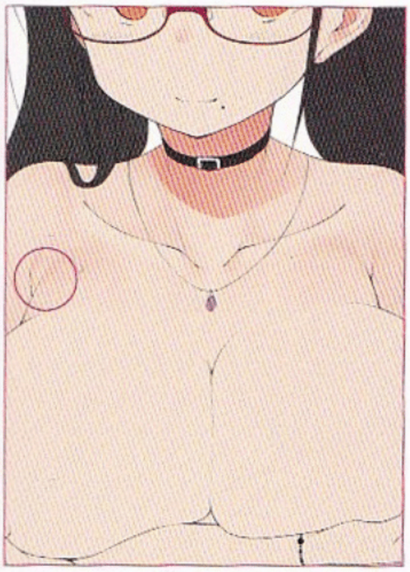
下塗りをします。ここまででよりおっぱいを見やすくするために、取捨選択の結果、線画はラフと異なっています。アクセやメガネといった硬質な素材はおっぱいの柔らかさを強調することができます。



6

差分も同様にレイヤーを分けて下塗りをします。着衣の圧力で変化する部分の肌も別レイヤーにしておきましょう。

いよいよ彩色実践編です。おっぱいの彩色はまさに十人十色です。アニメ風、ギャルゲー風、イラスト風、漫画風と自由に選べます。ただし、絵全体のテイストは統一しておきましょう。



7

肌を塗っていきます。おっぱいの前に腋や鎖骨、胸腺乳突筋、デコルテなど、首から胸にかけて丁寧に塗りましょう。鎖骨は細くなりすぎないように。美しいおっぱいは美しいデコルテからです。



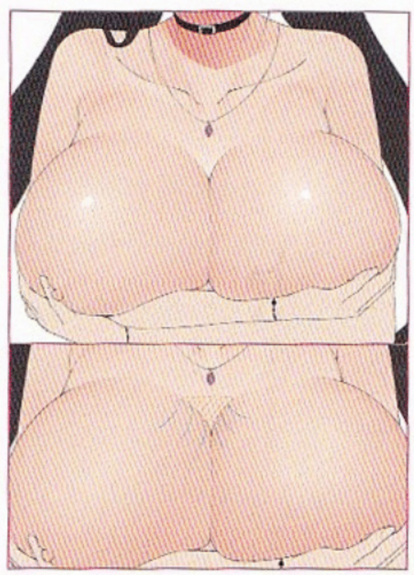
8

おっぱいを塗る前に、光線の位置、光の当たり方、影のつき方などのあたりをつけておくと作業がしやすいです。調整は後でもできるので、大まかで大丈夫です。



9

おっぱいに影をつけていきます。おっぱいだけテイストが変わったり、浮いたりしないよう調整しながら塗り進めていきます。今回はより柔らかくふわふわした感じを意識して明るめにしています。



10

ハイライトや照り返しを描き込んでいきます。縁が暗くなり、平面部は明るく見えます。谷間には影だけでなく、光を入れることで美しく見えることもあります。



11

ペン入れで使ったガイドをもとに乳輪を描きます。おっぱいの大きさに合わせて好みの乳輪サイズを割りだしましょう。ここでハイライト、照り返し、影なども調整します。塗る、削る、描き込むを繰り返して、納得のできるおっぱいを模索します。



12

肌をすべて塗った状態です。胸から腕に落ちる影は差分によって影のつき方が変わるのでレイヤーを分けておきます。表情の影は差分があるので後回しに。

表紙イラストメイキング

最後の仕上げとして差分や色味の調整をしていきます。おっぱい部分以外にも力を入れることで、おっぱいもより魅力的になっていきます。ここでは技術的な部分よりも、こだわりやフェチの積み重ねが絵全体の魅力へとつながっていきます。



13

マスクを切り替えて差分を塗っていきます。影のつき方、ハイライトの入れ方などを意識しましょう。差分の肌ともとの肌の境界線は色が馴染むように丁寧に色調を整えます。



14

水着、アクセ類に色を塗ります。水着は肌の球面と光の当たり方が、ちぐはぐにならないように確認しながら塗り進めましょう。



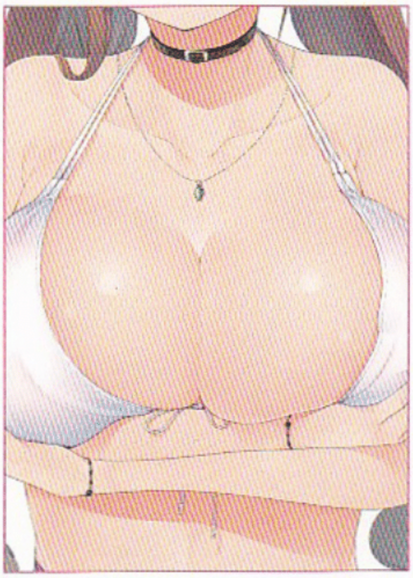
15

髪、パレオなど、その他の部分をおっぱいに馴染むテイストで塗ります。今回はギャルゲーテイストで色味を整えます。暖色がベースなので、アクセントカラーとしてネックレスを青緑にしました。胸元のアクセで視線集中効果が期待できます。



16

表情を塗ります。アクセントカラーとして、ネックレスの延長線上にある瞳を青に変更します。胸に視線が行くように視線が一直線になるようにします。



17

線画の色トレスをします。線画に新規レイヤーをクリッピングマスクし、色が馴染むように乗せていきます。



18

色味などを調整して完成です。



完成！

最後のまとめ

これでおっぱいの描き方もいよいよ終わりになりますが、最後に他の項で触れなかったポイントを解説しておきます。

ぽっちゃり娘のおっぱい



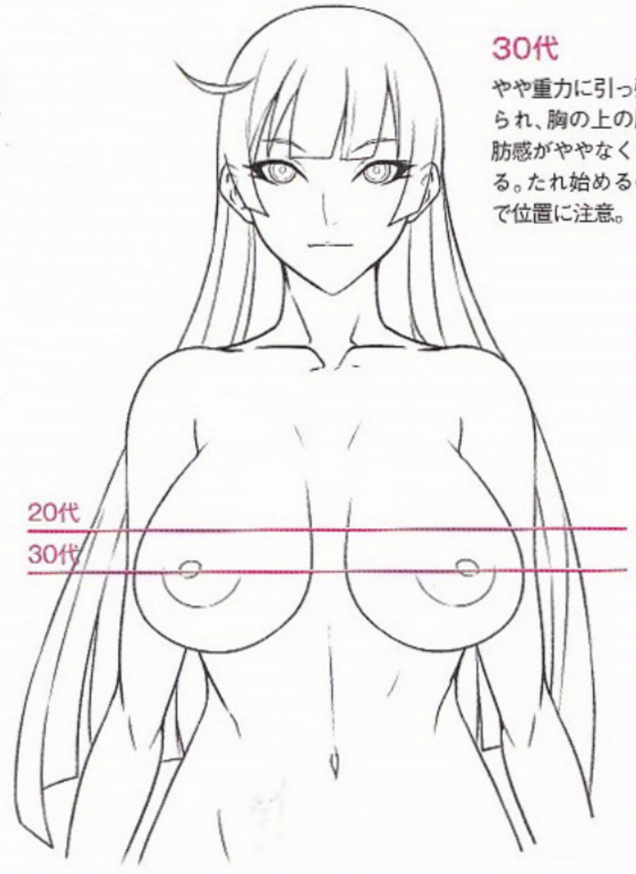
おっぱいだけではなく身体全体が太めの女性の場合、体の筋肉と骨の存在感がなくなり、ボディ全体が丸くなります。肩、二の腕、腹、尻、太ももなど脂肪の蓄積しやすいポイントの肉感を強調。あくまでぽっちゃりなので、腹の横幅は尻より突出しないようにしましょう。

加齢によるおっぱいの変化



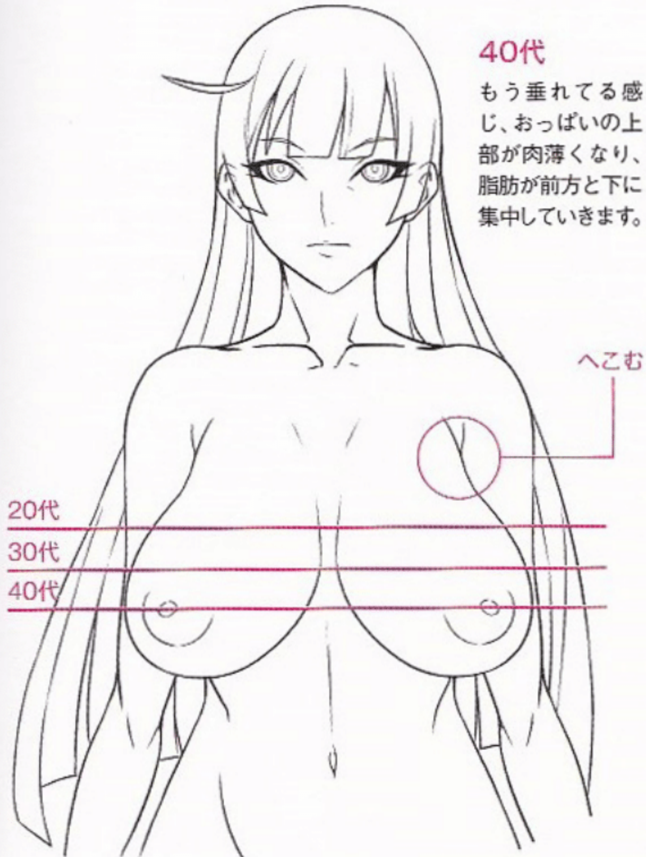
~20代

張りがあって、ボリュームがおっぱい全体にしっかり集中しています。



30代

やや重力に引っ張られ、胸の上の脂肪感がややなくなる。たれ始めるので位置に注意。



40代

もう垂れてる感じ、おっぱいの上部が肉薄くなり、脂肪が前方と下に集中していきます。

おわりに

やや駆け足気味に紹介していきましたが、作画のポイントは掴めたでしょうか？　形や大きさなどの項でも述べましたが、おっぱいはキャラクター性や作者の好みによって自由に描くことができます。何度も練習して、自分で美しい、可愛いと思うおっぱいを目指してください。

おっぱいの描き方

2016年5月5日 初版発行
2016年7月11日 第2刷発行

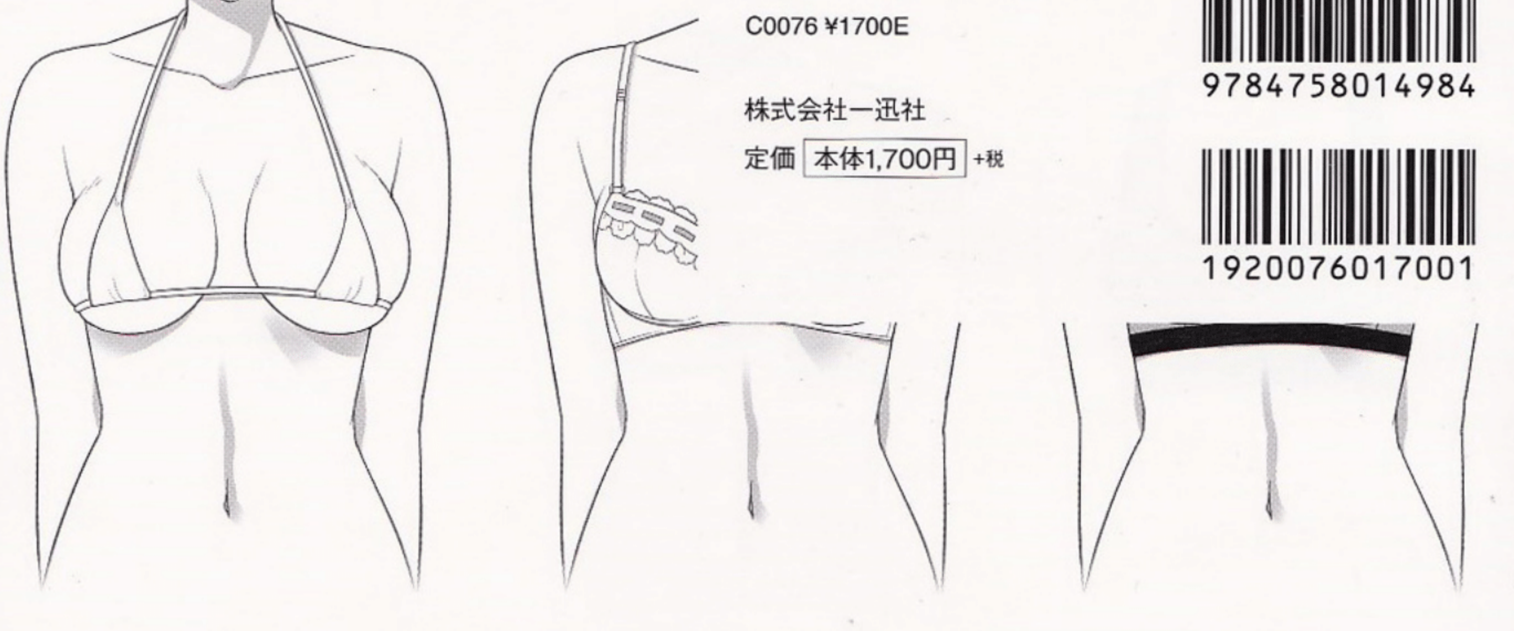
デザイン●サトウセーイチ
執筆●平井太郎
カバーイラスト●ねこうめ
作画●ぱん！
りんご水
五月猫
絶巨主
ねこうめ
本文編集●(有)小倉綾子
編集●前田絵莉香
発行人●原田 修
編集人●串田 誠
発行所●株式会社一迅社
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-5-10 成信ビル8F
03-5312-6132(編集部)
03-5312-6150(販売部)
印刷・製本●大日本印刷株式会社

ISBN 978-4-7580-1498-4
Printed in JAPAN

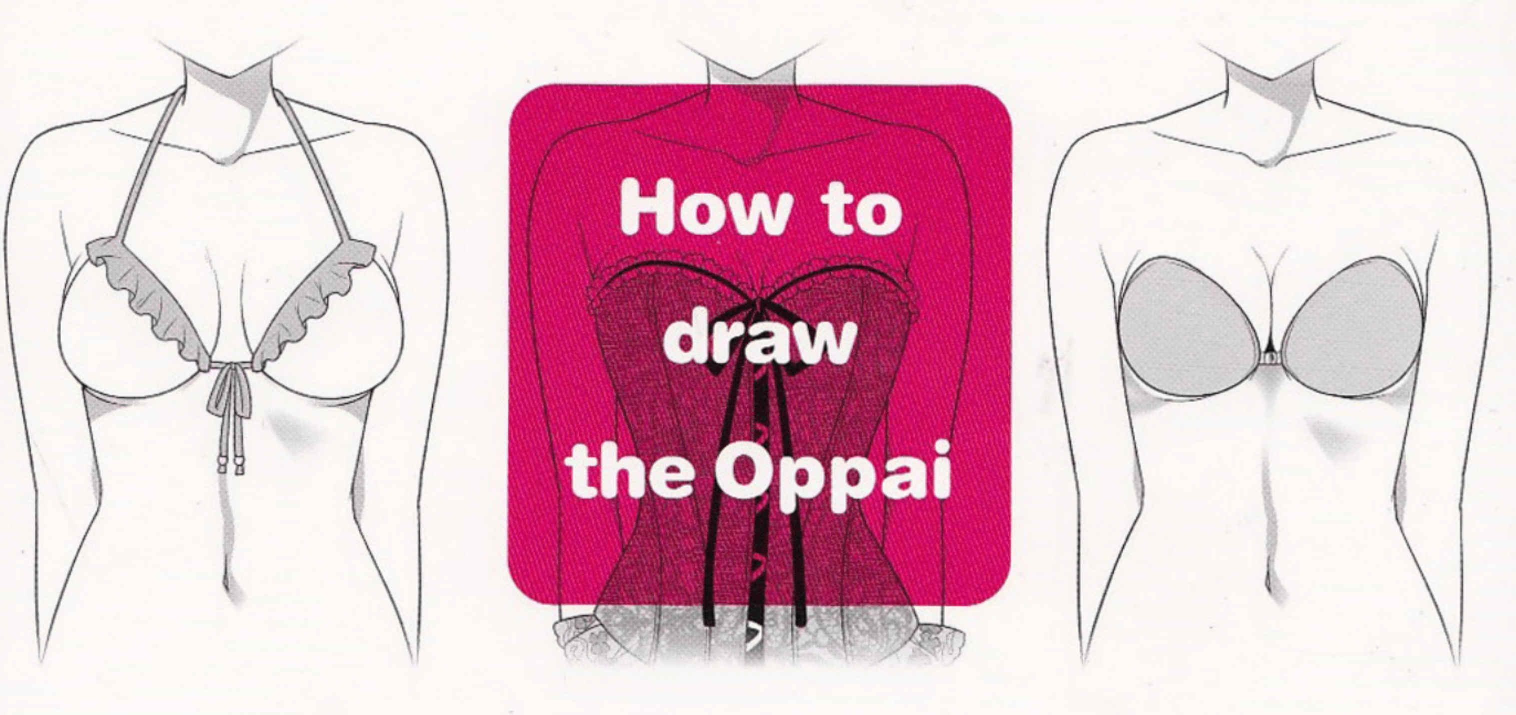
ISBN978-4-7580-1498-4
C0076 ¥1700E

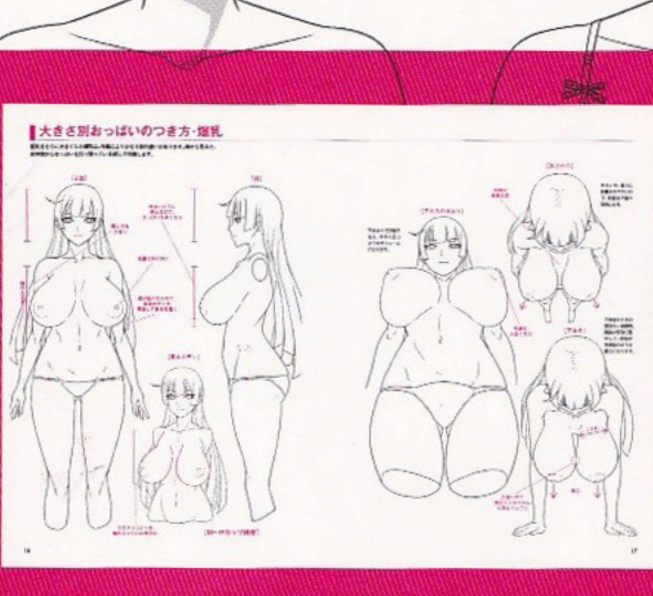
株式会社一迅社
定価 本体1,700円 +税

9784758014984
1920076017001



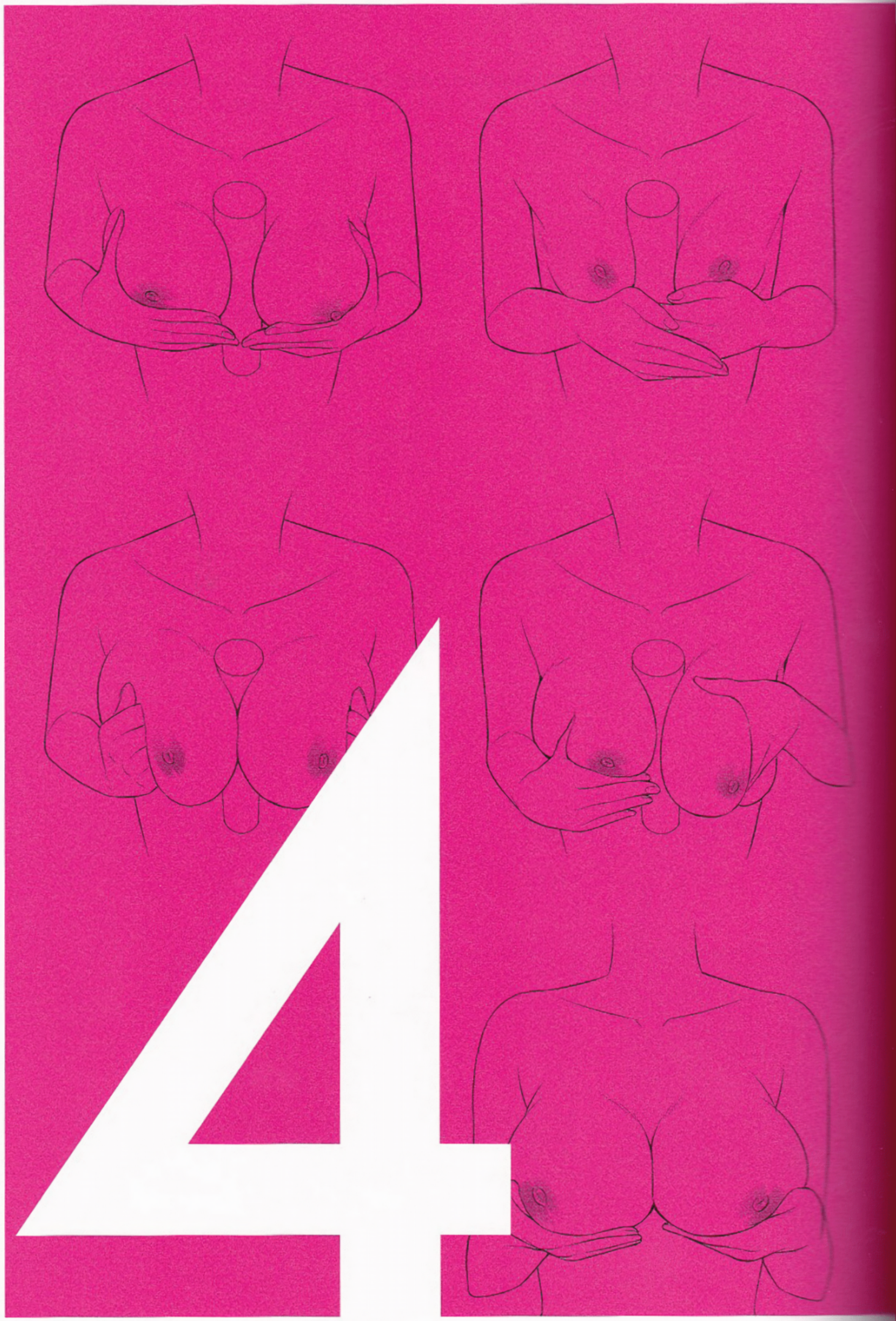
How to draw the Oppai

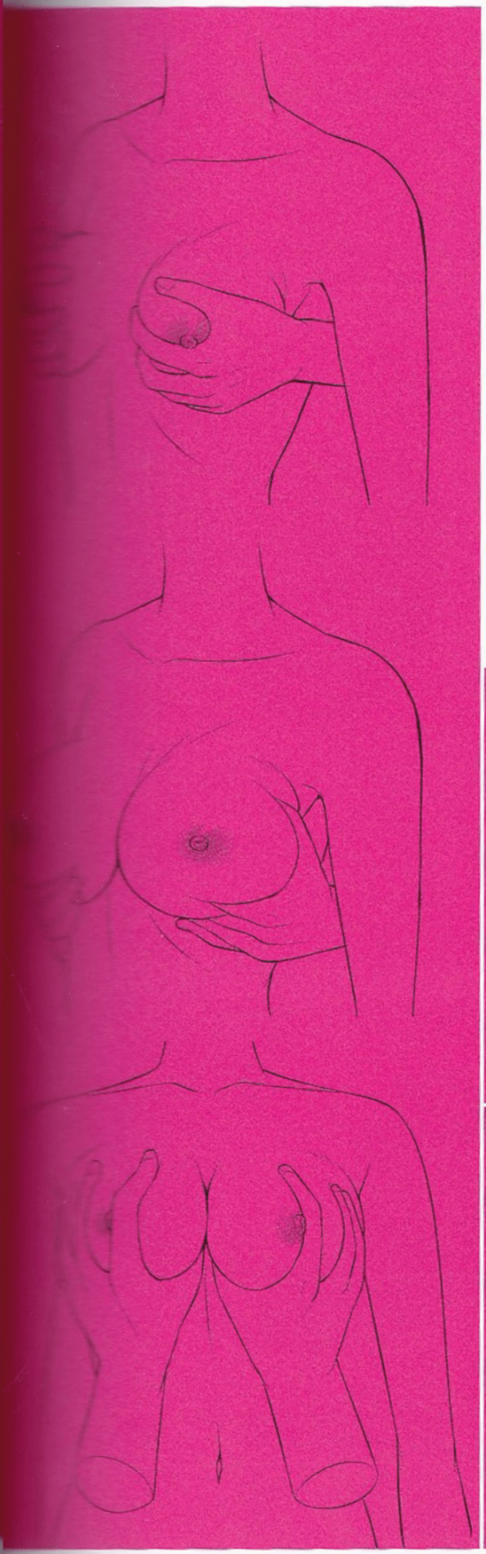




収録内容

- 大きさ別おっぱいのつき方
- 乳輪の大きさ
- 乳首の形
- おっぱいの形
- おっぱいと服
- おっぱいと動き
- おっぱいとポーズ
- おっぱいのカラーリング　ほか





Part_4

おっぱいの動き方とポージング

さぁ、ここからはいよいよ実践編です。立体物であるおっぱいが様々なシーン、シチュエーション、アクション時に「どう変化するか？」「どう描くか？」という部分にスポットして解説していきます。動きやすく変化しやすいおっぱいの形に挑みましょう。

